

第四天使省

# ガラテヤ人への手紙

安息日学校

2017/11/8

## まとめ

1 本物の福音: イエス・キリストの啓示.....	2
2 キリストの信仰による人生 - パート 1 .....	15
3 キリストの信仰による人生 - パート 2 .....	29
4 呪いからの救い - パート 1 .....	40
5 呪いからの救い - パート 2 .....	53
6 呪いからの救い - パート 3 .....	69
7 採用 - パート 1.....	83
8 採用 - パート 2.....	91
9 採用 - パート 3.....	101
10 御霊は救いを容易にする .....	108
11 真実に従う.....	120
12 十字架のメッセージ.....	134
13 十字架の栄光 .....	148

# 1本物の福音 : イエス・キリストの啓示

---

黄金聖句: 「しかし、たとえ私たち自身、または天からの天使が、私たちがあなたがたに宣べ伝えたものとは別の福音をあなたがたに宣べ伝えたとしても、彼は呪われてください。」 (ガラテヤ 1:8)

## 日曜日

- 1 使徒パウロ (人間からではなく、誰かによってではなく、イエス・キリスト、そして彼を死者の中からよみがえらせた父なる神によって) 、
- 2 ガラテヤの諸教会の、わたしと一緒にいるすべての兄弟たち。
- 3 父なる神と私たちの主イエス・キリストからの恵みと平安、
- 4 わたしたちの父なる神のご意志に従って、この悪の時代からわたしたちを救うために、わたしたちの罪のためにご自身をささげられた方は、
- 5 誰に栄光が世々限りなくありますように。アーメン！

最初の 5 節は挨拶を構成し、挨拶のすべてが含まれています。

福音。他に書き込みがなければ、ここで十分です。

世界の救い。もし私たちがこの短縮されたセクションをこれほどの熱心さと熱意を持って研究したとしたら

あたかもそれが入手可能な唯一の聖典であるかのように、私たちの信仰、希望、そして愛は無限に強化される。聖句を読みながら、ガラテヤ人への手紙を忘れるように努めましょう。

この言葉を、私たちに直接、個人的に語りかける神の声として考えてみましょう。

使徒の真ん中。

使徒職- 「使徒」とは、遣わされた人を意味します。パールの自信

それはそれを送った神の権威に比例しており、その信頼に依存していた。

この権威と権力の中に位置します。「神から遣わされた者は次のような言葉を語るからです」

神よ」(ヨハネ 3:34)。パウロは権威をもって語りました、そしてその言葉は主からの「命令」でした

(1コリント14:37)。したがって、この手紙や聖書の他の手紙を読むとき、私たちは著者の個人的な特殊性や状況について考えるべきではありません。確かにどの作家もそうですが、

神はさまざまな人々を選ぶので、独自の個性を保持します。

さまざまな仕事をする。しかし、それは常に、そしてどの場合においても、神の言葉です。

神からの使命-使徒たちだけでなく、教会のすべての人に対するものでした。

神の言葉に従って語る使命を定めました（1ペテロ4:11）。

イエス・キリストのうちにある人は皆、新しい被造物であり、神と和解しています。

この同じイエスを通して。そして和解したすべての人はその言葉を受け取り、

彼らはあたかも神であるかのように、キリストの大使となるよう、和解の奉仕を行うのです。

キリストの御名において、神と和解するよう人々に求めてください（2コリント5:17-20）。

神のメッセージを伝える人にとって、これは強力な安全策です

うつ病や恐怖に対して。地上の王国の大使には権威がある

それは彼らが代表する王や支配者の権力に比例しており、クリスチャンはその代表者です。

王の中の王、そして主の中の主。

父と子-「イエス・キリストと、彼を死者の中からよみがえらせた父なる神について」。

ここでは父と子が平等の観点から団結しているように見えます。「私と父は一つです」

（ヨハネ 10:30）。二人とも王座に座ります（ヘブライ人への手紙 1:3; 黙示録 3:21）。平和評議会

それは両者の間にあるでしょう（ゼカエル 6:12 と 13）。イエスは生涯を通じて神の子であり、

肉によればダビデの子孫。しかしそれは死者の復活のためであり、

聖性の御霊によると、御子としての彼の性質が実証されたのです（ロマ 4:13）。

1:3 および 4)。この手紙はパウロの使徒職と同じ権威を持っています。

死者の中から蘇った者から、死者を復活させる力を持っています。

1) ガラテヤ人への手紙は誰の権限に基づいていますか? (ガラテヤ 1:3)

A: \_\_\_\_\_

## 月曜日

ガラテヤの教会-ガラテヤは小アジアの都市で、その名は以下のとおりです。

現在フランスとして知られている地域から来た雄鶏が住んでいます。

彼らは紀元前 3 世紀にそこに定住し、この地域にその名前 (ガラティア) が与えられました。クリア

彼らは異教徒であり、宗教はイギリスのドルイド僧とよく似ていると考えられていました。

パウロは彼らにキリストを宣べ伝えた最初の人物でした（使徒 16:6; 18:23）。ガラテヤの国

パウロとバルナバが旅行中に訪れたイコニウム、リストラ、デルベの都市も含まれます。

最初の伝道旅行（使徒言行録 14 章）。

「私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安があなたにありますように」

私たちは目の前に神の言葉を見出します。それは神の言葉よりもはるかに多くの意味を持っています。

男。主は決して空虚な賛美を表現されません。あなたの言葉は創造的です、そしてここに私たちは見つけます  
神の言葉を通して信じるために神によって拡張された命令形。

神は「光あれ」と言われました。そして光がありました。そして今、あなたが次のフレーズを言うとき、「恵みと平和」  
あなたに』では、こんなことが起こります。神は恵みと平和を送り、正義と救いをもたらしました。  
男性全員。それはあなたにとっても、あなたが誰であろうとも、そして私にとっても。これを読むと  
この詩を、決して礼儀や単純な言葉として受け取ってはなりません。

挨拶ではありますが、平和のすべての祝福を個人的にもたらず創造的な言葉として  
神様のもの。それはイエスが語られたのと同じ言葉を私たちに表しています。

その女性に「あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。」（ルカ 7:48 と 50）。

この恵みと平和は、「私たちの罪のためにご自身をささげた」キリストからもたらされます。「あ  
恵みはキリストの賜物の大きさに応じて私たち一人一人に定められています。」

（エフェソス 4:7）。したがって、私たちはキリストご自身が各人に与えられたと確信できます。

人間が生きているという事実は、キリストが与えられた証拠であり、

キリストは「命」であり、この「命」は人の光です。この光と命が「全体を照らす」

この世に来る人です」（ヨハネ 14:6; 1:4 および 9）。「すべてのものは神の中にある」

（コロサイ 1:17）。なぜなら、「神はご自分の御子を惜しまなかったが、すべてのために御子を捨てられたのです」

私たちに、神はご自分とともにすべてのものを惜しみなく私たちに与えてくださるはずがありません。」（ロマ 8:32）。

「神の神聖な力は、私たちに人生と人生に必要な条件をすべて与えてくれたからです。

敬虔さは、ご自身の栄光によって私たちを呼んでくださった神を知ることによって、

徳」（2ペテロ1:3）。

キリストにあって私たちは宇宙全体を与えられ、キリストの満ち足りたすべてを与えられます。

罪を克服する力。神はそれぞれの魂に多くの価値を与えます

個々の作品だけでなく、彼の作品全体も。キリストは恵みによって死を味わいました。

その結果、世界中のすべての人が「言葉では言い表せない賜物」を受け取ったのです（ヘブライ 2:9; 2）。

コリント 9:15）。「恵みと賜物がさらに豊かに多くの人々に注がれ、

一人の人、イエス・キリストの恵みによる。」 「多くの」というのは全員を意味します。

「一人の犯罪はすべての人に有罪判決をもたらしたので、同様に、  
ひとりの義、いのちを与える義がすべての人に与えられたのです」(ローマ5:15,18)。

1) 神は誰に御子イエス・キリストを与えましたか? (ヨハネ 3:16)

A: \_\_\_\_\_

キリストはすべての人に与えられています。そのとき、一人一人がキリストの全体性を受け取ります。愛  
神の思いは全世界を包み込むと同時に、一人一人に届きます。

人。母親の愛は、一人一人に分けられても減りません。

子どもたちはその3番目、4番目、または5番目の部分以上を受け取らないようにします。

いいえ;どの子供も母親の愛情の対象です。ましてや神に対してはこうなるだろう、

その愛は、想像できる最高の母親の愛よりも完璧です。(イザヤ 49:15)。キリストは光です

世界の、正義の太陽。しかし、人を照らす光は、決してその人を照らす光を弱めるものではありません。

他の人を啓発します。部屋が完全に照明されている場合、その居住者はそれぞれ明るくなります。

あたかもその場所に存在する唯一の光であるかのように、既存の光の恩恵を受けています。

このようにして、キリストの光は、この世に生まれるすべての人間を照らします。で

信じるすべての人の心の中に、キリストは満ち満ちて生きておられます。種を植える

そうすれば、あなたはさらに多くの種を手に入れることができ、それぞれの種は地球の種と同じくらい多くの命を持つでしょう。

彼らはそれを進めた。真の種であるキリストは、ご自身のいのちの豊かさをすべてに与えてくださいます。

## 火曜日

1) キリストの血によって買い取られたのはどの人々ですか? (コリント第二 5:14,15)

A: \_\_\_\_\_

キリストが私たちを買ってくださいました- このような状況で人々が嘆くのをどれほど頻繁に聞きますか

用語: 「私はとても罪人なので、主は私を受け入れられません。」中には、

彼らは何年もクリスチャンであると公言していますが、悲しいことに自分の願望を表現することができません。

神に受け入れられるという安全を達成します。しかし主は理由を与えません

こうした疑問に対して。私たちの受け入れはすでに永遠に保証されています。キリストを私たちに  
それを購入し、すでに代金を支払いました。

人が店に行って商品を買う理由は何ですか?なぜならこれは  
彼に興味がある。料金が支払われている場合は、内容を確認した上で、お客様が承知しているものとします。  
購入した商品について、売り手は買い手が商品を受け取らないのではないかと心配するでしょうか?のために  
そうしないと、製品を保留すると、購入者は「なぜそれを私に出来ないのか」と抗議するでしょう。  
それは私のものですか? 『私たちが自分自身をイエスに捧げるかどうかは、イエスにとって違いを生みます。興味がある  
彼は自らの血で買い取ったあらゆる魂に対する無限の欲望を抱いていた。「の息子  
人は失われたものを探し求め、救うために来たのです」(ルカ19:10)。「神は私たちを選んだ  
世界が創造される前に、私たちが愛のうちに神の御前で聖く、罪のない者となるために...  
その輝かしい恵みを讃美するためである」(エペソ1:4,6)。

なぜキリストは私たちの罪のためにご自身をささげられたのでしょうか? 「自分自身を〜から解放するためには、  
現在の悪の世紀。」

私たちはどこへ行くにも、世界(「この現在の邪悪な時代」)を連れて行きます。私たちは  
私たちは心の中に、重くて抑圧的な荷のように抱えています。私たちが望んでいるのに  
善を行うと、「悪が私の中にある」ことに気づきます(ロマ7:21)。いつもそこにある「これ」  
「今の邪悪な時代」、私たちは絶望に打ちひしがれてこう叫びます。  
誰が私をこの死の体から解放してくれるでしょうか?」(24節)。

解放は私たちのものです。キリストは盲人の目を開き、牢獄から解放するために遣わされた  
囚人に、そして牢獄から暗闇の中にある人たちに。(イザヤ書42:7)これに合わせて、  
「捕虜には自由、囚人には自由」を宣言しています(イザヤ書61:1)。  
彼は囚人全員に「出てきなさい」と言います(イザヤ書49:9)。「主よ、主よ、」と言えるのは誰にとっても特権です。  
わたしはあなたのしもべ、あなたのしもべ、あなたのはしための子です、あなたはわたしの絆を打ち砕きました」(詩116:16)。

私たちが信じるか信じないかは別として、これが現実です。私たちは主の僕であるにもかかわらず、  
神に仕えることを頑なに拒否しましょう。キリストは私たちを買い取ってくださいました。そして私たちを買ってくれたので、  
彼は私たちが主に仕えることを妨げるあらゆる包帯を打ち砕きました。私たちが本当に信じているなら、  
私たちは世に勝つ勝利を持っています(ヨハネ第一5:4; ヨハネ16:33)。私たちへのメッセージは、  
私たちの「戦争は終わった」、私たちの「罪は赦された」(イザヤ書40:2)。

あなたは私が道に迷って非難されているのを見ました、

そしてカルバリ以来、あなたは私に許しを与えてくださいました。

主よ、あなたは私のためにとげを引き受けてくださいました。

だからこそ私は賛美歌であなたに愛を捧げます。

1) 神は最も大きな罪人さえも受け入れましたか? (ローマ人への手紙 5:8 と 10、コリント人への第二の手紙 5:19)

A: \_\_\_\_\_

## 水曜日

神の御心- この救出は「私たちの神であり父の御心に従って」行われます。あ

神の御心は私たちの聖化です(1テサロニケ4:3)。彼の意志は、すべての人が

救われて真理を知るようになります(1テモテ2:4)。彼は「何でもやってくれる」

御心の目的に従って」(エペソ1:11)。「誰かが尋ねるでしょう「私たちは探していますか？」

普遍的な救いを教えますか? 私たちは神の言葉が教えていることを示すよう努めます

単に「救いをもたらす神の恵みがすべての人に現れた」ということです。

「人々」(テトス 2:11)。「神はすべての人に救いをもたらし、すべての人に救いを与えました。

それらの中の一つ;しかし、残念ながら大多数がそれを拒否しています。判決は、あらゆる人にとって、

人間には完全な救いが与えられ、また、失われたすべての人は拒絶によって失われました。

意図的に所有物として決定された生得権。

したがって、神のご意志は享受すべきものであり、耐えるべきものではありません。それまで

たとえそれが苦しみを伴うものであっても、それは私たちのためになるものであり、私たちの中に働かなければなりません。

それは、どんな比較にも勝る永遠の栄光の重さです(ローマ 8:28; IIコリント 4:17)。我々ができる

キリストとともにこう言いなさい、「わが神よ、私は喜んであなたのご意志を行います。あなたの律法は私の中にあります。」

心」(詩 40:8)。

これは神の御心を知るためのアドバイスです。それはリリースすることで構成されます

私たちの罪の奴隷状態。そうすれば、私たちは最大限の自信を持って祈ることができます。

心から感謝します。なぜなら、「これは私たちが神に対して抱いている信頼であり、私たちが何かを求めるなら、

神の御心に従って、神は私たちが求めることは何でも聞いてくださる、私たちは知っています

私たちが神に求めるものは、必ず与えられるのです」(第一ヨハネ 5:14,15)。

この解放に神に栄光あれ！栄光はすべて彼のものだ、その男を認めよ

か否か。神に栄光を帰すということは、何かを与えるのではなく、むしろその事実を認識することです。私たちは与えます-

すべての力は神のものであることを認識して、神に栄光を帰しましょう。「あなたは主が神であることを認識しています。

神が私たちが造られたのではなく、私たち自身を造られたのです」(詩 100:3)。

主の模範的な祈りに見られるように、力と栄光には関連性があります。

イエスがその力で水をワインに変えたとき、彼は私たちに次のように言いました。

奇跡は「神の栄光を明らかにした」(ヨハネ2:11)。したがって、私たちが「主にあってください」と言うとき、

「栄光」、私たちはすべての力が神から来ていることを認識します。私たちは自分自身を救うのではなく、

私たちは「弱い」からです。すべての栄光は神のものであると私たちが告白するなら、私たちはそうではありません

私たちは傲慢と誇示の精神に屈してしまいます。

その時を告げる「永遠の福音」の最後の宣言。

裁きは次のように表現されます：「神を畏れ、神に栄光を帰せよ」(黙示録14:7)。それで、

ガラテヤ人への手紙は、すべての栄光を神に帰し、永遠の福音の確立を構成します。ここ数日間にメッセージが設定されています。私たちが勉強して、

このことに留意すれば、「地球が生まれ変わる」時代の加速に貢献できるでしょう。

水が海を覆うように、エホバの栄光の知識が満ちている」(ハブ 2:14)。

## 木曜日

6 あなたが、キリストの恵みによってあなたを召してくださった方から、すぐに別の福音に転じたことに私は驚きます。

7 それは別のことではありませんが、あなたがたを悩ませ、キリストの福音をひっくり返そうとする人たちがいます。

8 しかし、たとえ私たち自身が、あるいは天から来た天使が、私たちがあなたがたに宣べ伝えた福音以外の福音をあなたがたに宣べ伝えたとしても、彼は呪われてください。

9 前にも話したように、今、あなたがたに言います。もし誰かが、あなたがすでに受け取った福音以外の福音をあなたに宣べ伝えるなら、その人は呪われてください。

誰が男性に「電話をかけた」のでしょうか？「神は忠実な方であり、御子との交わりにあなたを招いておられます。私たちの主イエス・キリスト」(1コリント1:9)。「そして、私たちを招いてくださったあらゆる恵みの神は、イエス・キリストにおける永遠の栄光…」(1ペテロ5:10)。「約束はあなたに、あなたに、子供たち、そして遠く離れたすべての人たち、そして私たちの神、主なるすべての人たちに炎」。(使徒 2:39)。近くの人にとっても、遠くにいる人にとっても、これには次のことが含まれます。世界のすべての住民。したがって、神はすべての人を呼びます(ただし、すべての人ではありません)彼が来る！)。

神から離れる - ガラテヤの兄弟たちはどのようにして神から離れていたのか  
誰が彼らと呼んだのか、そして慈悲深く人間を呼ぶのは神であるのですから、  
彼らが主を見捨てているのは明らかでした。

多くの人は、自分たちが単に「正規化された組織のメンバー」であれば、と考えているようです。  
この教会やその教会で「状況」が変わっても、彼らは安全になれるのです。しかし、唯一の考慮事項は  
決定的な問題は、私は主と結ばれているのか、そして主の真理の中を歩んでいるのかということです。バルナバがいた頃  
アンティオキアでは兄弟たちに「堅い心を持ち、主と一つであり続ける」よう勧めた。  
(使徒 11:22 および 23)。必要なのはそれだけでした。そうすればたくさん見つかるよ  
早い段階で神の所有物である都市。

主を捨てていた人々は確かに「この世に神がいなかった」のです。  
それは彼らが神から離れていたのと同じくらいでした。しかし、このような状況にある人たちは、  
彼らは異邦人、あるいは異教徒です(エペソ2:11,12)。ガラテヤの兄弟たちはこうでした  
異教への回帰。それ以外のことはあり得ません。クリスチャンが主のもとに行かなくなるたびに、救われていた古い生活に  
逆戻りしてしまうからです。それは不可能だ  
この世界で「神がない」状況よりも絶望的な状況を想像してみてください。

「もう一つの福音」 - 「もう一つの福音」はどのようにして道を開くのでしょうか？  
福音は「信じる者すべてに救いをもたらす神の力である」(ローマ1:16)。神ご自身  
それは力であり、彼を捨てることはキリストの福音を捨てることを意味します。

何かが「福音」として伝わるためには、それが救いを約束しなければなりません。そうでない場合  
それは死以上のものを提供しますが、それを「福音」と同一視することはできません。  
「良い知らせ」とか「嬉しい知らせ」とか。死の約束は決してこれに当てはまらない  
コンセプト。したがって、偽りの教義が福音として伝わるためには、次のことを求めなければなりません。

生き方になる。そうでなければ誰もだますことはできません。ガラテヤ人たちは、神から背を向け、命と救いを約束してくれるものへと向かうよう誘惑されているが、神から来る力とは別の力によって。その他の福音はそうではありませんでした。人間の福音以上のもの。偽りのものとは、次のようなものの出現です。事実は存在しない。マスクは人間ではありません。このようにして、他のガラテヤの人々が誘惑された福音は、単なる福音にすぎませんでした。倒錯した福音：偽造、欺瞞。それは何の関係もありませんでした。本物の福音。

別の福音を説く人は非難に値するのでしょうか？それが運転方法です。他の人は非難され、救いのために誤ったものを信頼するようになります。一方ガラテヤの人々は自分たちを神から遠ざけ、救われるという確信を神から遠ざけていました。人間が持っていると言われる力。しかし、人は誰も他の人を救うことはできません（詩篇 4）。49:7 と 8)。そして、「人間を信頼し、肉に頼る者は呪われる。心は永遠から遠ざかってしまうのです」（エレミヤ 17:5）。呪いをもたらすものは必ずそうなる。くそー。

「盲人を道から導く者は呪われる」（申命記27:18）。もしそれが逸脱しているなら、物理的に視力を奪われた者は、他人を永遠の破滅に導く者は、なおさら確実であることでしょう。偽りの救いで人々を欺く。もっと悪いことがあるだろうか？誘導してよ。他人が底なしの深淵に家を建ててもいい。

天からの天使- しかし、「天からの天使」が別のことを説教する可能性はおそらくあります。真の福音以外に何かあるのでしょうか？確かに、天使じゃないけど。最近天から降りてきた者です。「そして、それは驚くことではありません、なぜなら同じサタンだからです」光の天使を装う。したがって、大臣も義の奉仕者を装いなさい」（IIコリント11:14,15）。登場するものを指します。彼らは死者の霊であると主張し、向こうからメッセージを届けようとしていると主張しています。これら、彼らはいつも、イエス・キリストの福音とは異なる「別の福音」を説きます。自分自身の安全を確保してください。彼らからは。「愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、それが神から出たものであるかどうかを試してみてください。」（ヨハネ第一 4:1）。「法と証言に彼らがそれに応じて話さなければ、それは彼らが見ることができないからです。夜明け」（イザヤ書 8:20）。神の言葉を持っている人は誰も騙される必要はありません。実際、みことばをしっかりと握っている限り、そのようになるのは不可能です。

1) 福音についての真実を見つける唯一の場所はどこですか? (ヨハネ 17:17)

A: \_\_\_\_\_

金曜日

10 さしあたって、私は人間を説得するのか、それとも神を説得するのか。それとも男性を喜ばせようとしませんか？もし彼がまだ人々を喜ばせているなら、彼はキリストの僕ではないでしょう。

最初の3世紀、教会は異教によってパン種化されました。

改革は進んでいますが、その多くはまだ残っています。それは「男性を喜ばせよう」とした結果でした。

司教たちは、宗教を減らすことで異教徒の間で影響力を獲得できると考えた。

いくつかの福音の原則を高い基準で満たし、それを実行しました。結果は、教会の腐敗。

男性を喜ばせようとする努力の根底には常に自己愛があります。司教たち

彼らは（おそらくしばしば無意識のうちに）自分の周りに弟子たちを引きつけたいと思っていました。

（使徒 20:30）。彼らは人々の好意を得るために、真実を妥協し、歪曲しました。

ガラテヤではこのようなことが起こりました。人間は福音を歪曲していました。

しかし、パウロは人を喜ばせるのではなく、神を喜ばせようとしませんでした。彼は神の僕であり、

彼だけが喜ばなければなりません。この原則は、あらゆるサービス分野で有効です。あなた

男性を喜ばせようとする労働者は決して良い労働者ではありません。

自分の仕事が見える場合にのみうまく機能し、すべての仕事で最小限に抑えられます

それは評価の対象でなければなりません。パウロはこうした状況において次のように勧めています。

すべては地上の主人に向けられており、彼らを喜ばせたい者として見られることはありません。

しかし、神への敬意から、誠実な心を持って。そして、あなたが行うすべてのことは、

人に対してではなく、主に対して行うように、心から行いなさい」（コロサイ3:22-24）。

他人の好意を失わないように、真実のエッジを和らげる傾向があります。

権力のある人、または影響力のある人。失うことを恐れて自分の信念を押し殺した人がどれだけいるか  
お金か地位か！みんなに思い出してもらいましょう。

私はキリストの僕になるでしょう。」しかしだからといって、失礼な態度や無礼な態度をとるべきだという意味ではありません。

誰かを不必要に不快にさせなければならないという意味ではありません。神様は優しいですね

恩知らずな者たちと不信者たちとともに。私たちは魂の勝者でなければなりません。  
勝利のムードを表現しなければなりません。私たちは征服者を実証しなければなりません  
すべての愛である方、十字架につけられた方の特質。

1) 神を辱めずに人々に警告するにはどうすればよいでしょうか? (テモテ第二 4:2、テモテ第一  
5:1 と 2)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 土曜日

11 しかし、兄弟たち、あなたがたに言うておきますが、私が宣べ伝えた福音は、人によるものではありません。

12 というのは、私はそれを受け取ったのでも、誰からも学んだのではなく、神の啓示によって得たのです。  
イエス・キリスト。

福音は人間的なものではなく、神的なものです。最初の節で使徒は、そうではなかったと言っています。  
人々によって遣わされた者であり、キリスト以外に人々を喜ばせたいという願いはないのです。は明らかです  
彼がもたらしたメッセージは完全に天から来たものでした。生まれと教育により、彼は  
福音に反し、彼が回心したとき、天から声が聞こえました。 •  
主ご自身が、人々に対して脅威と死を吹き込みながら、その道に現れました。  
神の聖人たち（使徒 9:1-22）。

変換体験が同じ人は 2 人もいません。しかし  
一般原則は常に同じです。パウロと同じように、彼らも回心しなければなりません。少し  
彼らは彼のような驚くべき経験をするでしょう。でもそれが本物なら、それは啓示となるだろう  
パウロの場合と同じように確実に天国の場合もそうでした。「あなたの子供たち全員が教えるのは、  
永遠です」（イザヤ 54:13）。「誰もが神から教えられるでしょう。こうして、聞いてくださる皆さん、そして、  
父から学びなさい、わたしのもとに来なさい」（ヨハネ 6:45）。「あなたが神から受けた油注ぎは、あなたの中に留まりなさい。」  
だれにも教えてもらう必要はありません」（1ヨハネ 2:27）。

しかし、福音の伝達にはあまりにも多くのことが含まれているとは思えないでください。  
人間のエージェント。神は使徒、預言者、教師などを教会に配置しました(1コリント12:28)。それらすべての中で働  
くのは神の御霊です。誰を通じてでも構いません  
その人は初めて真実を聞いたので、それが直接来たものとして受け取らなければなりません  
空から。聖霊は、神のご意志を行おうとする人々に資格を与え、  
彼らは真実を見たり聞いたりするとすぐにそれを認識します。そして彼らはそれを受け入れるか受け入れないか  
それを提示した人の権威に依存するが、神の権威に依存するだろう  
本当に。

私たちは真実を確信しており、それがどのように起こるのかを教えてください。  
使徒パウロ。

しかし、誰かが尊敬する学者の名前を口にするとき、  
ある信念を正当化したり、他の人や説得しようとする人々の前でその信念をさらに重視したり、  
自分が公言している真実を知らないのは間違いありません。それは本当かもしれないが、そうではない  
彼はそれが真実であることを自分で知っています。しかし、彼女を知ることは誰にとっても特権です (ジョアン  
8:31と32) 。人が神から直接来た真理を持っているとき、  
1万の偉大な名声が彼女に好意を寄せても、羽根一枚の重さに満たないでしょう。  
彼の権威。もし彼女がそこにいたとしても、私は彼女を少しも貶めたりはしないだろうから  
地球上のすべての偉人たちに対する反対です。

イエス・キリストの啓示- パウロのメッセージはそうではないことに注意してください。  
単なるイエス・キリストからの啓示ではなく、むしろ「イエスの啓示」  
キリスト”。それは単にキリストがパウロに何かを伝えたということではなく、むしろ、  
神は使徒にご自身を現されたと。福音の奥義は信じる者の中にあるキリストであり、  
栄光の希望 (コロサイ1:25-27) 。このようにしてのみ神の真実が得られます  
知られる、知られるようになる。キリストは遠く離れておらず、言葉を発することが限られている  
私たちが神に従うというある意味の原則ではありますが、神ご自身が私たちに影響を与えるだけで十分です。  
私たちが神に服従し、神の命を体現するとき、私たちが所有するのです。  
私たちの死すべき肉体。神の臨在の香りがなければ、次のことを説教することはできません。  
福音。イエスはパウロにおいて異教徒の間で宣べ伝えることができるような形で現されました。  
私はキリストについてではなく、キリストご自身について説教したいと思います。「自分自身を説教してみませんか。  
ただし、主イエス・キリストにです」(2コリント4:5) 。

しかし、多くの人々において、キリストは非常に「抑圧」されているため、キリストを認識するのは困難です。事実  
彼らが生きていることは、キリストが彼らを救いたいと願っておられるが、救われるまで辛抱強く待たなければならないことの証拠である。  
彼らが御言葉を受け取る瞬間、それによってキリストの完全な命が現されるのです

それらの上に。

これは、今、それを望む人に、どのようにしても起こる可能性があります  
それは墮落した罪深いものです。神にそうしてもらいましょう。そうすればすべての抵抗はやむでしょう。

1) パウロは神から福音を宣べ伝える使命を受けたとき、相談しました。  
男性たちは彼の使命を確認するために？ (ガラテヤ 1:15-17)

R. \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

## 2キリストの信仰による人生-パート1

---

黄金聖句: 「したがって、私たちは、人は律法の行いとは別に信仰によって義とされると結論づけます。」

(ローマ人への手紙 3:28)。

### 日曜日

1) パウロは自分が無駄に走らないようにするために何をしましたか。あなたは何ですか

例は私たちに教えてくれますか? (ガラテヤ 2:2)

1 十四年後、私はバルナバとともにテトス連れて再びエルサレムに上りました。

2 そして、わたしは啓示によって上って行き、異邦人の間で、特に尊敬されている人々に宣べ伝えている福音を彼らに説明した。だから決して無駄に走ったのかどうか。

3 しかし、私と一緒にいたテトスはギリシア人であったが、まだそうではなかった。

自分自身に割礼を施さない。

「あれから14年。」物語の自然な流れに従うと、それは 14 を意味します。

ガラテヤ 1:18 の訪問から数年後、それはさらに 3 年後に起こりました。

パウロの回心。ですから、その訪問は彼の17年後に起こりました。

改宗、またはお好みであれば、西暦 51 年の、その公会議と一致する日付

使徒 15 章で言及されているエルサレム。ガラテヤ人への手紙第 2 章ではそれについて語られています。

評議会、そこで議論された議題、そしてそこから派生したもの。

最初の章では、兄弟たちの邪魔をしている者たちがいることを知らされます。

キリストの福音の倒錯によって、偽りの福音の導入によって

真実であるかのように見せかけようとした福音。使徒 15:1 には、彼らがどこから来たのかが書かれています。

ユダヤ人の中には、兄弟たちに「儀式に従って割礼をしなければ」と教えた人もいた

モーセの言うとおり、あなたは救われません。」これは彼らの「もう一つの福音」で構成されていました。

本当の兄弟ではなく、兄弟に説教しようとしているのですが、実際にはそれは他のことではありませんでした。

一つしかないということ。

パウロとバルナバは決してこの新しい説教を支持するつもりはありませんでした。

「福音の真理があなたがたの間に残るように」抵抗しました (ガラテヤ 4:3) 。

2:5) 。使徒たちは偽兄弟たちと「激しい議論と論争をした」

(使徒 15:2) 。その論争は本物の福音とその偽物の間で行われた。

真実の福音と偽の福音を比較する

1) 偽兄弟たちは何と言いましたか? (使徒 15:1)

A: \_\_\_\_\_

---

---

2) 真の福音によれば、私たちはどのような方法で救われるのでしょうか? (エペソ人への手紙 2:8)

A: \_\_\_\_\_

---

---

## 月曜日

キリストの否定- アンティオキア教会の経験を振り返る

その新しい福音の侵入に苦しむことは、それが最も大きな意味を持っていたことを示すだろう  
キリストの救いの力についての断固たる宣言。

福音はディアスポラから来た兄弟たちによって最初に受け入れられました。

ステパノの殉教から始まった迫害が続いた。この兄弟たちは「ここに来た」

アンティオキアで彼らはギリシャ人に語りかけ、主イエスの福音を彼らに宣べ伝えました。手  
主が彼らと共におられたのです。そして、多くの者が信じて主に立ち返った」(使徒言行録)

11:20と21) 。その教会には預言者や教師たちがいて、彼らは主を宣べ伝えていました。

そして断食すると、聖霊が彼らを動かして、バルナバとサウロを引き離すようになった。

神が彼らに召された仕事 (使徒13:1-3) 。したがって、疑いの余地はありません。

教会は神の事柄について深い経験を持っていたということです。彼らは

彼らは主と聖霊の声を知るようになりました。

そして今、すべてのことが起こった後、これらの兄弟たちが到着してこう言いました。  
モーセの儀式に従って割礼を受けていれば救われることはありません。」これも同じでした  
こう言いなさい、「キリストに対するあなたのすべての信仰と御霊のすべての証しは、そのしるしがあれば何の役にも立たない」  
割礼。彼らは、信仰のない割礼のしるしを、信仰のないキリストへの信仰よりも称賛するつもりでした。  
外部の標識。この「もう一つの福音」は、福音の規則全体に対する攻撃でした。  
本物であり、キリストの明確な否定です。

パウロがこのように教える人々を「偽兄弟」と呼んだのは驚くべきことではありません。

4 それは、キリスト・イエスにおいて私たちが持っている自由を偵察し、私たちが奴隷にしようとして密かに  
侵入した偽兄弟たちのせいです。

5 私たちは、福音の真理があなたがたの間に残るように、一時間たりとも彼に服従しませんでした。

パウロは第一章で、偽兄弟たちが「彼らを混乱させ、  
彼らはキリストの福音を歪めようとしているのです」（7節）。から送られた手紙の中で、  
教会の使徒や長老たちは、彼らについてこう言いました。  
許可を得るために、私たちが離れ、私たちが妨害し、彼らの精神を曇らせた人もいます。  
言葉」（使徒15:24）。

そのクラスはさらに多くありました。とてもネガティブでした  
彼の仕事に身を捧げた者は誰でも、使徒は次のように述べています。  
罪に定められています」（ガラテヤ 1:8 および 9 参照）。これらの説教者たちは、ある意味、次のようなことを観察していました。  
意図的にキリストの福音を損ない、それによって信者を滅ぼします。

偽兄弟たちは、「儀式に従って割礼を受けていない限り、  
モーセよ、あなたは救われません」（直訳すると、あなたには救われる力がありません）。  
彼らは救いを単に人間的なもの、力に依存するもののレベルにまで貶めました。  
人間。彼らは、割礼が実際にどのようなものであるかを知りませんでした。  
割礼は外面的なものであり、割礼も外面的な肉体的なものではありませんが、ユダヤ人は  
内にあるもの、そして割礼は、心に従うものではなく、御霊によるものです。  
その手紙、そしてその賞賛は人間からではなく神から来るのです。 」(ロマ 2:28 と 29) 。

1) 人間の救いには誰の力が働くのでしょうか? (フィリピ 2:13)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 火曜日

アブラハムは神を信頼した後、ある時サラの声に耳を傾けました。  
主の言うことを聞く代わりに、力によって神の約束を果たそうとしました。  
自分自身の肉体から（創世記 16 章）。結果は失敗でした。後継者を得る代わりに、  
奴隷を手に入れた。そこで神は再び彼に現れて、次のように勧めました。  
彼は正しい心で主の前を歩き、主との契約を繰り返しました。するために  
アブラハムは失敗と「肉には何の利益もない」という事実を思い出し、印章を受け取りました  
割礼、つまり肉の一部を取り除くこと。これは次のことを示します。  
「肉体には何の善も宿らない」ので、神の約束は肉体において果たされることができます。  
私たちが御霊を通して「自分の罪を取り除く」(コロサイ2:11)ときの現実です。  
「わたしたちは真の割礼者であり、聖霊に従って礼拝するわたしたちです。」  
神よ、わたしたちは肉を信頼しません」(ピリピ 3:3)。

ですから、アブラハムが神への信仰によって御霊を受けたとき、彼は本当にそうでした。  
割礼を受けた。「そして彼らは、信仰による義のしるし、印章として割礼を受けました。  
割礼を受けていないときに持っていたのです」(ロマ4:11)。外部割礼は決して他のものではなかった  
それは、心の真の割礼の単なる外面的なしるしではありません。後者が欠落している場合は、  
信号は詐欺だった。しかし、もし本物の割礼が現実であるならば、それは  
外部信号を感知します。アブラハムは「信者ではないが、信じるすべての人の父」です。  
割礼を受けています」(ロマ4:11)。偽りの兄弟たちは現実を置き換えようとしていた  
空の記号で。彼らにとって、殻をむいたナッツよりもナッツの殻の方が重要でした。

イエスはこう言われました。「命を与えるのは霊であり、肉は何の益も与えません。という言葉が  
わたしがあなたがたに話したのは、霊と命です」(ヨハネ6:63)。アンティオキアとガラテヤの兄弟  
彼らは救いのためにキリストを信頼していました。今では、彼らを信頼させようとする人もいます  
生きている。彼らは彼らに、罪を犯す自由とは言わなかった、そうではない、と彼らは言いました  
彼らは法律を守らなければならないと言いました！しかし、彼らはそれを自分たちで保管しなければなりません。

彼らはイエス・キリストなしでは自らを義と認めなければならないでしょう。割礼の意味  
法律を守ります。しかし、本物の割礼とは、御霊によって心に書かれた律法であり、  
偽りの兄弟たちは、信者たちに、外面的な割礼を信頼するよう求めました。  
御霊の働き の 代わりとして、のしるしとして提供されていたもの  
信仰によってもたらされる義は独善のしるしとなっています。偽りのふり  
兄弟たちは義とされ救われるために割礼を受けることになっていました。しかし、「心を込めて」  
「人は義と認められると信じるのです」（ローマ10:10）そして「信仰から生じないものはすべて罪です」  
（ロマ 14:23）。したがって、神の律法を守ろうとする人間の努力は、  
どんなに熱心で誠実であっても、彼らは自分の力で、  
結果はただ不完全、罪だけです。

この質問がエルサレムで提起されたとき、ペテロはそのつもりだった人々にこう言いました。  
人間は信仰によってではなく、自分の行いによって自分を正当化すべきだということ。  
キリスト：「それでは、なぜあなたは神を試みるのですか？  
両親も私たちも耐えられない軛でしょうか？」（使徒15:10）。

偽兄弟たちに対するパウロの言葉が示すように、それは奴隷制のくびきでした。  
誰が「私たちがキリスト・イエスにあって持っている自由を密かに偵察して、  
私たちを奴隷に落とし込んでください」（ガラテヤ 2:4）。キリストは罪から解放されます。あなたの人生は「完璧な法則」です  
- 自由の。」 「律法によって罪は認識されます」（ロマ 3:20）が、そうではありません。  
罪からの解放（解放）。「律法は聖であり、戒めも聖であり、正しく、善いものである。」  
（ローマ 7:12）それは罪についての知識を与え、それを罪に定めているからです。それはまるで  
インジケーターは正しい住所を示しますが、その場所に連れて行くわけではありません。あなたはできる  
私たちが正しい道を歩いていないことを知らせてください。しかし、イエス・キリストはそれを知らせることしかできません。  
主が道なので、主の道を歩みましょう。罪は奴隷制です。を守っている方のみ、  
神の戒めは自由であり（詩 119:45）、戒めを守ることが可能です。  
キリストへの信仰による戒め（ローマ 8:3 および 4）。

したがって、人々がキリスト抜きで義として律法を信頼するよう仕向けるのは、  
彼らにくびきを課し、奴隷として投獄します。有罪判決を受けたとき  
法律によれば、彼は投獄されているが、彼を有罪判決したのと同じ法律によって刑務所から釈放されることはできない。  
しかし、これは法律に不完全性があることを意味するものではありません。まさにそれです  
それは有罪者を無罪と宣言しない公正な法律だからである。

使徒は、ガラテヤの兄弟たちを「福音の真理が彼らに残るように」導くために、現在ガラテヤの兄弟たちを迷わしている偽りの教えに直面したと報告しています。それがすべてです。ガラテヤ人への手紙には福音が最も純粋な表現で含まれていることは明らかです。多くの人は誤解していて、何の利益も得られていない、と思っています。

「法律に関する論争と議論」への単なる追加の貢献  
(テトス 3:9)これに対してパウロ自身が警告しました。

1) 真の福音によれば、人は律法に従順になるので、  
正義を実践しますか？ (ローマ人への手紙 1:17)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 水曜日

6 そして、何かのように見えた人々については（彼らが別の時代にいたのかどうか、私は知りません。神は人間の外見を受け入れません）、私にとって何かのように見えた人々は、私には何も伝えなかったと私は言います。自分;

7 それどころか、彼らは、割礼の福音がペテロに託されたのと同じように、無割礼の福音もわたしに託されたのを見て、

使徒言行録によれば、アンティオキアでパウロ、バルナバが次のような決定を下した。議論されたテーマに関して、エルサレムに行く人もいます。でもポールそれは「啓示による」(ガラテヤ2:2)と述べています。の推薦によるだけでなく、兄弟たち、しかし同じ御霊が彼を、パウロと彼らをこのように動かしたのです。わざとじゃなかった真実を学ぶため、しかしそれを守るためです。それは何を見つけることではなかったそれは福音で構成されていましたが、彼が異教徒の間で説教していた福音を伝えることでした。その集会で重要だと思われた人たちは、集会に何も加えませんでした。ポール誰からも福音を受け取っておらず、証言も必要ありませんでした。誰でもその信憑性を確信できるでしょう。それが神であるときと言うと、男性の側で確認を求めることは生意気なことになります。・主はエルサレムの兄弟たちがパウロの証言を聞くように取り計らわれ、

最近回心した人は、神が遣わした人たちがいることを知っていました。  
彼らは神の言葉を話したので、彼らは皆同じことを話しました。お先にどうぞ  
唯一の神に仕えるために「多くのいわゆる神」に背を向けるには、  
真理は一つであり、すべての人にとって一つの福音であるという確信。

福音は迷信ではありません- この世界には恵みと恵みを与えることができるものは何ともありません。  
人間には正義があり、救いをもたらすために人間にできることは何ともありません。 •  
福音は救いをもたらす神の力であり、人間の力ではありません。いかなる教えも  
それが絵画のイメージであれ、他のものであれ、人間に対象物を信頼するように誘導します。  
何か他のもの、あるいは何らかの努力、救いのための働き自体を信頼することさえあります。  
たとえそのような努力が最も賞賛に値する目標に向けられたとしても、それは福音の真理の倒錯です。それは偽りの  
福音です。キリスト教会には秘跡はありません  
それは、ある魔法の働きによって、それを受け取った者に特別な恵みを与えるというもの。  
しかし、主イエス・キリストを信じる者、そしてそれ故に行われる業もあるでしょう。  
彼は義とされ、救われることを信仰の表現として行うでしょう。「恵みによってあなたは救われました、  
信仰を通して。そして、これはあなたから与えられたものではなく、神からの贈り物です。作品によるものではないので、  
誰も自慢することはできません。なぜなら、私たちは神の作品であり、善行のためにキリスト・イエスにあって創造されたからです。  
それは私たちがその中を歩めるように、神があらかじめ用意してくださったものです」(エペソ2:8-10)。これがパウ  
ロが擁護した「福音の真理」です。それはいつの時代にも通じる福音です。

1) 福音のメッセージは永遠でしょうか、それともある時点で変化しますか?

(黙示録 14:6)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2) ペテロが宣べ伝えた福音はパウロが宣べ伝えた福音とは違いましたか?

(ガラテヤ 1:9)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

外見は人を欺くことがあります。神は人間の外見ではなく、人間の本質を見ます。・  
それがどのように見えるかは、それを見る目によって大きく異なります。何  
まさにそのとおりであり、それは彼の内にある神の力と知恵の尺度を示しています。神ではない  
公式の立場に頭を下げます。権限を与えるのは立場ではなく、  
本物の立場を与える権威。地位のない謙虚な男性も少なくありません  
この地球上で、彼らは公式の承認をまったく受けずに、本当に占領していた  
地球上のすべての王よりも優れており、より大きな権威を持っています。権威が来る  
魂の中に神の臨在があり、制限から解放されています。

## 木曜日

8 (なぜなら、ペテロにおいて割礼の使徒職のために有効に働いた彼は、異邦人に対しても私の中で有効に働いたからです)。

神の言葉は生きており、有効です (ヘブライ人への手紙 4:12) 。仕事でのどんな活動であっても福音によれば、行われることはすべて神から来ています。イエスが「善いことを行おうとした」のは、「神は彼とともにおられた」(使徒10:38) 。彼自身はこう言いました。  
「しなさい」(ヨハネ5:30)、「わたしのうちに住んでおられる父が御業をなさる」(ヨハネ14:10) 。これからしたがって、ペテロはイエスを「奇跡と奇跡を持ってあなたがたの間で認められた人」と呼びました。神がご自分を通して行ってくださったしるしです」(使徒2:22) 。弟子は彼より偉大ではないのかお客様。そこでパウロとバルナバはエルサレムの議会でこう言いました。  
神が異邦人の間で彼らを通して行われた不思議としるしである」(使徒15:12) 。  
パウロは、「あらゆる人に完全な態度を示す」よう努力したと述べています。  
「キリスト」、「私の内に力強く働いてくださるキリストの力と闘っています」(コロサイ1:28と29) 。最も謙虚な信者も同じ力を持つことができます。  
神はあなたの内に働いて、ご自分の御心にかなった意志と行いをしてくださるのです。」  
2:13) 。イエスの名前はインマヌエル、「神が私たちと共におられる」という意味です。神は彼とともに彼を造った良いことをしていきました。しかし、神は不変です。それで、私たちが本当に持っているのであれば、イエス、神は私たちと共におられますが、私たちも善いことを行っていきます。

9 そして、柱とみなされたヤコブ、ケファ、ヨハネは、私に与えられた恵みを知っていて、私と交わり、また私たちと交わって、彼らの右手を私たちに与えてくれました。  
バルナバ、私たちが異邦人のところに行き、彼らが割礼を受けられるように。

10 貧しい人々のことを忘れないことだけを私たちに勧め、私も熱心にそうしようとしました。

エルサレムの兄弟たちは神との交わりを確認し、「恵み」を見ました。

それはパウロに与えられたものでした。神の御霊に導かれる者は常に他の人の中の聖霊の働きを認識する準備ができています。最も安全な証拠誰かが聖霊について個人的に何も知らないということは、それができないということです自分の仕事を認識してください。他の使徒たちは聖霊を持っていて、その方法を理解していました。神は異教徒の間で特別な働きをするためにパウロを選んだのです。そしてあなたの働き方が彼らとは違っていた、神は彼に特別な贈り物を与えたこの特別な仕事のために、彼らはためらいなく右手を彼に差し出し、合図として交友関係については、ただ同胞の中の貧しい人々のことを忘れないようにと彼に求めただけだ。「私もそれに従うつもりでした。」

完全な一致-使徒間に意見の相違がなかったことに注意してください。

教会においても、福音が何であるかという点に関しても。偽りの兄弟がいたのは本当です。しかしそれらは偽りなので、真理であるキリストの体である教会の一部ではありませんでした。多くの自称クリスチャン、誠実な人々は、それが以下のものに相当すると考えています。教会には違いが必要です。「誰もが外から物事を見ることはできません」同じように」というコメントがよくあります。彼らはエペソ人への手紙 4章13節を誤解しており、次のように推測しています。「私たち全員が信仰の一致に達するまで、神は私たちに贈り物を与えてくださったということです。しかし、その教えは御言葉の重要な点は、「信仰の一致と神の子についての認識において」、私たちは「次の地点に到達する」ということです。キリストの満ち足りた身の丈にある、完全な状態である。」あるのは「ただ一つの信仰」(5節)だけです。イエスの信仰。主もお一人おられるので、この信仰を持たない者も必然的にキリストが欠けてしまいます。

神の言葉は真理であり光です。盲人だけがその価値を理解できないはずがない光の素晴らしさ。人はそれ以外の種類の光を知らなかったとしてもランプから来るものを除いて、人工の光はすぐにそれを認識します。それは彼に初めて見せられた電灯を発します。あることは明らかです知識の程度は異なりますが、知識の程度の間には論争はありません。知識。真実全体は一つです。

1) 神がイエスを遣わし、私たちを愛してくださったことを、いつ世界は信じるのでしょうか? (ヨハネ 17:21-23)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 金曜日

11 そして、ペテロがアンティオキアに来たとき、私は彼に面と向かって抵抗しました。

12 というのは、ヤコブから何人かが来る前に、彼は異邦人と一緒に食事をしたからです。しかし、彼らが到着すると、割礼を受けた者たちを恐れて、彼は身を引いて彼らから離れた。

13 また、他のユダヤ人たちも彼に似せなかったので、バルナバさえも彼らの似せに夢中になった。

ペテロや他の人の間違いにこだわる必要はありません。

敬虔な。これでは何の利益もありません。しかし、私たちはこの証拠に注意を払う必要があります

ペテロが決して「使徒の長」とはみなされていなかったことを示す反駁できない証拠。

彼は決して教皇ではなかったし、教皇でもなかった。司祭、司教、枢機卿にあえて抵抗する者はいない

公の集会の前に、教皇と直接「対面」するのです！

しかし、ペテロは間違いを犯しました、そして彼は重要な事柄に関してそれをしました、その理由はそれは確実ではありませんでした。彼はパウロからの叱責を柔和に受け入れました。

彼は彼女を誠実で謙虚なクリスチャンとして受け入れました。物語から見て、もしそうだとしたら

目に見える（人間の）教会の首長のようなものが存在する、この栄誉はそうあるべきである

それは明らかにパウロに対応しており、ペテロに対応しているわけではありません。パウロは異教徒たちのところに送られ、

ペテロはユダヤ人たちに。しかし、これらの後者は教会のごく一部を構成していました。あなた

異邦人改宗者の数はすぐに彼らを上回ったので、

ユダヤ系の信者はほとんど注目されませんでした。すべてのクリスチャンは元気でした

他の弟子たちよりも自然とパウロの働き成果を測ることができた。だからこそパウロはそれが重荷になったと言えるのである

「すべての教会に対する日々の配慮」（IIコリント11:28）。しかし、無謬性

それは人間の一部分ではないし、パウロもそれを求めなかった。教会の中で最大のもの

キリストは最も弱い者を支配することはありません。イエスは言われました、「ひとりがあなたの主人であり、すべてはあなたがたは兄弟です」(マタイ 23:8)。そしてペテロは「皆が互いに従順である」ようにと勧めています。

(ペテロ第一 5:5)。

ペテロがエルサレム議会にいたとき、彼は次のように述べました。

異教徒たちは彼の説教を通して福音を受け入れました。

彼らの心も、私たちと同様に聖霊を与えることによって彼らを認識しました。なし

わたしたちと彼らとの間に違いが生じたのは、イエスが信仰によって彼らの心を清めたからです」(使徒15:8,9)。

なぜ?なぜなら、心を知っている彼らは、「すべての人は罪を犯しており、

「神の栄光を剥奪された」のであれば、彼らは「自由に義と認められるのは、

キリスト・イエスによって成し遂げられた贖いを通して、恵みが与えられるのです」(ローマ 3:23,24)。それでも、

主がペテロの目の前で彼の証拠を示された後、この後

異教徒たちに説教し、御霊の賜物が与えられるのを目撃した後、

ユダヤ人だけでなく異邦人の信者にとっても聖なる。彼らと一緒に食事をした後、

彼らを忠実に擁護したこと。議会で確固たる証言をした後

ユダヤ人と異邦人の区別を設けなかった神について。そしてその後も

自分自身の変化をもたらしたわけではない - ペドロ、「何人かが来た」とすぐに突然

彼はそのような自由を認めないだろうと思っていましたが、変化を起こし始めました。「彼は撤退し、

彼は割礼を受けた人々を恐れて立ち去ったのです。」先ほども言いましたが、これは「偽善」であり、「偽善」でした。

パウロは、自分自身が悪かっただけでなく、弟子たちを混乱させ、誤解させました。ペドロ

当時彼は信仰ではなく恐怖に支配されていました。

福音の真実とは裏腹に、恐怖の波は私たちにも届いたようです。

ユダヤ人の信者たちは、「他のユダヤ人の信者も彼らの偽装に参加していたので、

バルナバさえも彼らの偽善に騙されたほどだった。」確かに、「彼らは歩きませんでした」

まさに福音の真理に従っているのです」(14節)。しかし、その単純な行為は

偽装は福音の真理に対するすべての違反ではありませんでした。その中で

この文脈は、他の場面と同じように、キリストを公に否定することを意味していました。

ペテロが突然の恐怖の圧力を受けて誘惑に陥ったときのことです。我々は持っています

しばしば子供たちと同じ過ちに陥ったが、裁判官として立ち直り、

しかし、私たちはその事実とその結果を警告として観察することができます。

14 しかし、彼らが福音の真理に従って正しく歩いていないのを見たとき、私は彼ら全員の前でペテロに言った、

「ユダヤ人であるあなたが、ユダヤ人のようではなく、異邦人のように生きているのなら、なぜそうするので  
すか?あなたは異邦人にユダヤ人のように生きることを強制しますか?」

ピーターと彼に同行した人々の行動がいかに仮想的なものであったかに注目してください。  
意図的ではない - キリストの否定。割礼をめぐる論争が勃発した  
たった今の場所。それは正当化と救いの問題だった。人はただ救われるだけだ  
キリストへの信仰によるのか、それとも外的な形によるのか？証言はある意味で明白だった  
救いは信仰のみによるものであるということ。そして今、論争はまだ続いています、  
まだ「偽の兄弟たち」が自分たちの間違いを広めているのに、これらの忠実な兄弟たちはやり始めました。  
異邦人の信者が割礼を受けていないことを理由に不利益をもたらす差別。で  
実際、彼らはこう言ったのです。「モーセの儀式に従って割礼をしなければ、  
あなたは救われません。彼の行動様式には次のように書かれている。「私たちはまた、  
キリストへの信仰だけが人を救うことができます。私たちは救いを心から信じています  
それは割礼と律法の働きによって決まります。キリストを信じるのは良いことですが、そうする必要があります  
他に何か。彼女自身では十分ではありません。パウロはそのような否定には同意できませんでした。  
福音の真実を明らかにし、問題の根源に率直に迫りました。

1) 私たちは今日行方によって、あるいは信仰のみによって義とされ、救われます。

キリスト・イエスにおいては？（ローマ人への手紙 3:28、エペソ人への手紙 2:8）

A: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

土曜日

15 私たちは生来ユダヤ人であり、異邦人の中で罪人ではありません。

16 人は律法の行ないによってではなく、キリスト・イエスへの信仰によって義とされると知っている、私たちもキリスト・イエスを信じました。それは、律法の行ないによってではなく、キリストへの信仰によって義とされるためです。なぜなら、律法の行ないによっては、いかなる肉体も義とされないからである。

パウロは、彼らはユダヤ人だから罪人ではない、と言いたかったのでしょうか？無理だから  
彼らはイエス・キリストが義とされると信じていました。彼らは単純に  
異邦人の罪人ではなく、ユダヤ人の罪人です。彼らが何を自慢しようとも、

ユダヤ人は、キリストのためにそれを損失とみなさなければなりません。できることは何もなかった  
キリストへの信仰を除いては価値があります。そうすると、明らかに罪人は、  
異邦人もキリストを信じる信仰によって直接救われる可能性があります。  
ユダヤ人にとって役に立たなかった空虚な手続きに従い、  
多くの点で彼らの不信仰のゆえに与えられました。

「キリスト・イエスがこの世に来られたということは、すべての人に受け入れられるに値する忠実な言葉です。  
罪人を救ってください。私がお先頭です」(1テモテ1:15)。すべての人は罪を犯しており、また罪を犯している  
神の前では同罪です。しかし、人種や階級を問わず、誰もがそれを行うことができます。

「罪人を受け入れて、一緒に食事をしなさい」(ルカ15:2)という真理を受け入れてください。罪人  
割礼を受けた人も割礼を受けていない人よりも優れているわけではありません。教会の会員である罪人  
そうでないものよりも優れているわけではありません。洗礼という形を受けた罪人はそうではありません。

宗教を告白したことのない罪人よりも優れています。罪は罪であり、  
教会の内外を問わず、罪人は罪人です。しかし、神に感謝します、キリストこそが  
私たちの罪と全世界の罪のために犠牲を払ってください(ヨハネ第一章)

2:2)。宗教を信仰する異教徒にも希望がある。

キリストの名を決して呼ばなかった人。福音は一つしかないので、世界に宣べ伝えられるのと同じ福音が教会でも  
宣べ伝えられなければなりません。どちらにも役立ちます  
教会員だけでなく、世界中の罪人を回心させます。そして同時に、  
真にキリストのうちにある人を新たにします。

「義とされた」という言葉の意味は「義とされた」ということです。ラテン語の *justitia* に由来します。することが  
フェアとは真っ直ぐであること。これに、これもラテン語の語尾「*Ficar*」を追加します。

「すること」。拡大 :大きくします。尊厳を与える: 価値のあるものにするなど。正当化する :正義を行う。

場合によっては、「正当化する」という用語を、ある事実について無実の人に適用することがあります。  
不当に告発された。しかし、それはすでに公平であるため、これを正当化する必要はありません。今、  
「すべての人が罪を犯した」ので、神の前に正しい人、つまり正しい人は一人もいません。それでみんな  
彼らは義とされるか、義とされる必要がある。

神の律法は正義です(ローマ 7:21,9:39 および 31、詩 119:172 参照)。パウロは高く評価した  
律法と、それが要求する義を得るためにキリストを信じた者と、自分自身との両方  
それ自体が次のことを提供することはできません。

肉体を通して病気になる。神はご自分の御子を肉に似せて遣わされました

罪、罪によって肉において罪に定められた罪。法の正義が全うされるようにわたしたちの中には、肉に従ってではなく、御霊に従って歩む者がいるのです」(ローマ8:3と4)。すべての人間を罪人と宣言する律法は、次のことを肯定することによってのみ彼らを正当化できます。罪は罪ではないということ。しかし、それは正当化ではなく、矛盾です。

では、私たちは法律を無効にするのでしょうか？罪を持ち続ける人は喜んでそうするでしょう。彼らを有罪とする法律。しかし、神の律法を廃止することは不可能です。それは神の人生であり、人格なのです。「ですから、律法は聖であり、戒めも聖であり、正しく、良いものなのです。」(ロマ7:12)。成文法を読むと、私たちの義務が明確に規定されていることがわかります。しかし私たちはそれを満たしていません。したがって、私たちは有罪です。

また、その規模の大きさのため、誰も法を守るのに必要な力を持っていません。要件の。律法の働きによっては誰も義とされないことは確かですが、それは法律自体に欠陥があるのではなく、個人に欠陥があるからです。キリストのとき信仰によって心の中に生き、律法の義もそこに生きます。なぜなら、キリストはこう言われたからです。おおわが神よ、私はあなたのご意志を行います。あなたの律法はわたしの心の中にあります」(詩40:8)。悪を善であるかのようにみなさないという理由で律法を捨てる者は、「罪を犯した者を決して無罪としない」(出エジプト記34:7)神を拒絶することになります。しかし神は罪を取り除き、罪人を義人に変えます。つまり、調和を図るということです。法律とともに。かつて彼を有罪と定めた律法は、今では彼の正しさを証明しています(ローマ5:11参照)。3:21)。

## 3キリストの信仰による人生-パート2

---

黄金聖句: 「人は律法の行いによってではなく、キリスト・イエスへの信仰によって義とされると知っているので、私たちもキリスト・イエスを信じました。それは、人の行いによってではなく、キリストの信仰によって義とされるためです。」(ガラテヤ 2:16)

### 日曜日

1) 自分は義とされていると信じている人は、罪を犯し続けるのでしょうか?

(ローマ人への手紙 6:12)

A: \_\_\_\_\_

---

---

聖書をありのままに受け入れなければ、私たちは多くを失います。原文では16節

黙示録 14:12 にあるものと同様の「イエスの信仰」という表現が含まれています。イエス

彼は「信仰の創始者であり完成者」(ヘブライ人への手紙12:2)です。「信仰は聞くことによってもたらされ、聞くことによってもたらされます」

神の言葉」(ロマ10:17)。すべての人へのキリストの賜物の中に、私たちは「神が各人に割り当てた信仰の尺度」(ローマ 12:3)を見出すことができます。すべては神から来ています。それは彼です

悔い改めと罪の許しを与えます。

ですから、信仰が弱いからといって文句を言う人は誰もいません。おそらく彼は受け入れていない賜物は使われますが、「弱い信仰」などというものはありません。ある人は「信仰が弱い」かもしれません。信仰に頼ることを恐れるかもしれません。しかし、その中で信仰は神の言葉と同じくらい堅固です。いいえキリストの信仰とは別の信仰があります。そうであるふりをするその他のものはすべて、改ざん。キリストだけが正義なのです。彼は世界を克服しました、そして彼だけがそれを行う力を持っています。これ。律法は彼の心の中にあるので、彼の中には神の満ち足りたすべてが宿っています。のみ神は律法を完全に守ってきましたし、守ることができます。そうすれば、彼の信仰、つまり信仰によってのみ、生きる、つまり、私たちの内にある神の命があれば、私たちは義とされるかもしれません。

これで十分です。彼は「試された石」です(イザヤ28:16)。私たちに与えてくれる信仰は、試して承認されたあなた自身のもの。いかなる状況でも私たちに裏切ることはありません。いいえたとえ運動しようとするとしても、私たちは主がなさったように努めるよう勧められています。

彼が行使されたのと同じだけの信仰、しかし私たちが彼の信仰を受け入れ、彼にそうすることを許すだけです。

愛のために働き、心を浄化します。彼ならやってくれるよ！

「彼を受け入れたすべての人たち、彼の名を信じた人たちに、彼は力を与えました。

神の子とされなさい」（ヨハネ1:12）。主を受け入れる人は主を信じる人です

名前。神の名を信じることは、神が神の子であると信じることです。そしてこれは、今度は、

それは、神が肉体で、人間の肉体で、私たちの肉体で来られたと信じることを意味します。したがって、そうすべきです

なぜなら、彼の名前は「神は私たちと共におられる」だからです。

キリストを信じている私たちは、キリストがいる限り、キリストの信仰によって義とされます。

私たちの中に個人的に生き、ご自身の信仰を行使されています。すべては彼の手の中にあります

天と地にある力。これを認識して、私たちは単にそれを許可します

神自身の力を、神自身の方法で行使してください。キリストはそれを行う力がある

「私たちが求めたり考えたりするすべてよりも無限に、その力によって、

「わたしたち」（エフェソス 3:20）。

1) キリストの信仰、つまり失敗しない信仰を受けた人の経験は何ですか？

(ローマ人への手紙 6:14、ヨハネの第一の手紙 3:9)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

2) 神から生まれた者は罪を犯しません。そして、もし信仰者が何かに頼ることを恐れているなら、

この信仰において、彼は何をすべきでしょうか？（ヨハネ第一 2:1および2）

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

月曜日

17 というのは、もしキリストによって義とされることを求める私たちが、自分自身が罪人であると判明するとしたら、キリストは罪の奉仕者なのでしょうか。ある意味でなし。

イエス・キリストは聖であり、義なる方です（使徒 3:14）。「キリストは私たちを取り除くために来られました。罪」（ヨハネ第一 3:5）。イエスは「罪を犯さなかった」(1ペテロ2:22)だけでなく、罪を犯しませんでした。罪を知っていました(2コリント5:21)。したがって、いかなる罪も神から来ることは不可能です。キリストは罪を放棄しません。彼の傷ついた側面から、彼の側から流れ出る命の泉の中で、貫かれた心には、汚れの痕跡はありません。彼は大臣ではありません  
罪 : 誰にも罪を教えません。

キリストを通して義を求め、そして見つけた人がいたら、さらに罪を犯してください  
遅くなったのは、流れを妨げて水が停滞したためです。彼らは無料では与えなかった  
彼らが栄光を受けるために、御言葉に向かって進みなさい。そして活動が欠けているところには死が訪れる  
浮き出る。このことに関して本人以外の誰かを責める必要はありません。  
クリスチャンを自称する人は、自分自身の不完全さについて助言を求めて、自分は不完全であるなどと言ってはなりません。  
信者が罪のない人生を送ることは不可能です。真のクリスチャンにとって、  
完全な信仰を持つ者にとって不可能なことは、別の種類の人生を送ることです。  
私たちは罪に対して死んでいるのに、どうすればまだ罪の中で生きられるでしょうか？」（ロマ 6:2）。「全ての  
神から生まれた人は、神のいのちが彼の中にあるので、罪を犯し続けることはありません。いいえ  
彼は神から生まれたのですから、罪を犯し続けることができるのです」（1ヨハネ3:9）。したがって、「残ってください」  
彼の中で”。

18 なぜなら、もし私が破壊したものを再び築き上げるなら、私は自分自身を作るからです。  
違反者。

クリスチャンが自分自身を再構築するために、キリストを通して自分の罪を取り除き、捨てた場合  
その後、彼は再び違反者として構成されます。また行方不明になり、  
キリストが必要です。

使徒がイエスを信じた人々について言及していることを覚えておく必要があります。  
キリストの信仰によって義とされた者たち。パウロはローマ人への手紙 6 章 6 節でこう言います。  
老人は彼と一緒に十字架につけられました、それは罪の体が  
私たちがもはや罪の奴隷ではなくなるように滅ぼされます。」また次のようにも書かれています。  
すべての支配権と権力の頭であるキリストにおいて完全です。あなたも彼の中にいたのです  
人の体を脱ぐとき、手を使わずに行われる割礼によって割礼を受ける。  
キリストによる割礼によって、罪は清められるのです」（コロサイ2:10,11）。

破壊されるのは罪の体であり、それはキリストの命の個人的な存在にすぎません。

それはそれを破壊します。これは、私たちが罪の力から解放し、再び罪に仕える必要がないようにするためです。キリストがそれを廃止したので、それはすべての人にとって破壊されます。

自分の肉体の「敵意」、肉の心。彼のものではありません - なぜなら彼はそれを持ったことがないからです - しかし

私たちの。神は私たちの罪を、私たちの弱さを取り除いてくださいました。彼は全身全霊で勝利を収めた。•

敵は武装解除された。私たちはキリストが勝ち取った勝利を受け入れなければなりません。勝利

すべての罪はすでに現実になっています。これに対する私たちの信念は、私たちにとってそれを現実にします。

信仰を失うと、私たちはこの現実の外側に置かれ、古い罪の体が再び現れます。

信仰が破壊したものは不信仰によって再構築されます。それを覚えておく必要があります

罪の体の破壊は、すべての人のためにキリストによってすでに達成されましたが、

それは、それぞれが個人として、現在に属します。

## 火曜日

1) 生活の中に罪を再び組み込んでしまうと、私たちは本当に危険にさらされます。

キリスト？（ヨハネ第一 3:9,10）

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2) 私たちが再びキリストを生活に受け入れたら、私たちの状態はどうなるでしょうか？

（ローマ人への手紙 8:37）

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

19 なぜなら、律法によって、私は律法に対しては死んでおり、神に対して生きるからです。

多くの人は、「法に死ぬ」という言葉が次のような意味であると考えているようです。

「法律を死なせてください」。それらは全く異なるものです。

法律のせいで命を落とす前に、法律は完全に施行されなければなりません。として  
誰かが「法律のせいで死んでしまう」可能性はあるのでしょうか？彼のペナルティの全額を受け取ることは、  
死。その人は死んでいるが、彼を有罪とした法律は非常に効果的であり、喜んで  
最初の犯罪者と同じように、別の犯罪者に死刑を宣告する。ここで次のように仮定してみましょう  
重大な犯罪を犯し、何らかの奇跡的な方法で処刑された最初の人物。  
生き返ることができる。彼女は法律に従えば死んでしまうのではないだろうか？確かに。法律はそうではありません  
そうすれば、彼の過去の行為を何も非難できなくなりました。でももし彼が犯罪を犯したとしたら  
再び法律に違反すると、法律は彼をまるで別人であるかのように再び処刑するだろう。  
私の罪のために私に律法を課した死から復活し、私は今、  
「命の新しさ」：私は神のために生きています。最初のサウルについても言えることですが、  
数日後、神の御霊が「私を別の人が変えてくださいました」(サムエル上10:6)。そういったものです  
次の聖句が示すように、クリスチャンの経験です。

## 水曜日

20 私はキリストとともに十字架につけられました。そして、生きているのはもはや私ではなく、キリストが私の内に生きておられるのです。そして私が今肉体で生きている人生は、私を愛し、私のためにご自身を与えてくださった神の御子への信仰によって生きています。

私たちが彼とともに十字架につけられない限り、彼の死も復活もありません。  
彼らには何の利益もありません。たとえキリストの十字架が遠くに、私たちの外側に残っているとしても、  
ほんの一瞬、髪の毛ほどの幅でも、私たちにとってはまるで  
私たちは十字架につけられていました。十字架につけられたキリストを見たい人は見てはいけません  
後方または前方、ただし上方へ。十字架の腕が高く掲げられて以来、  
カルバリーは失われた楽園から回復された楽園までの範囲に及び、全世界を網羅します。  
罪の世界。キリストの磔刑は一日限りのものではありません。キリストは、  
「世の初めから屠られた小羊」(黙示録13:8)の不安  
一人の罪や罪人がいる限り、カルバリーは止まらない。今すぐ  
キリストは全世界の罪を取り除いてくださっています。なぜなら、「キリストにおいてすべてが一つに保たれている」からです。  
そして最終的に、悔い改めない悪者たちを火の湖に送り込むことを余儀なくされたとき、  
彼らが受ける苦しみは、彼らが拒絶したキリストが十字架上で受けた苦しみよりも大きいものではないでしょう。

1) キリストとともに十字架につけられた人の態度は何ですか？(ローマ人への手紙 6:11)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

キリストは私たちの罪をその体において木の上で負われました(1ペテロ2:24)。作られた十字架にかけられるとき、私たちは「呪い」を受けます(ガラテヤ 3:13)。十字架上で彼は十字架を背負っただけでなく、人類の病気と罪だけでなく、地球の呪いも。あなた  
いばらは呪いの汚名であり(創世記3:17,18)、キリストはその冠をかぶった。  
とげ。十字架につけられたキリストは、呪いの全重さを背負っています。

私たちがどこで見ても、悲惨な傷跡を抱えて、悲惨な状況に陥っている人間を見ることができます。  
罪があるので、私たちはその罪のために十字架につけられたイエスも見なければなりません。十字架上のキリストはすべてを引き受け、  
その人間の罪も含めて。不信仰のせいで、次のように感じるかもしれません。  
彼の荷物の哀れな重さ。しかし、信じれば、この重荷から解放されることができます。キリストは取り込みます  
十字架、全世界の罪。だから、私たちが罪を見ても、私たちは安全でいられます  
キリストの十字架があるということ。

罪は個人的な問題です。それは人間の心の中にあります。「内側から、心から、  
人間からは邪悪な考え、姦淫、淫行、殺人、強盗が生まれます。  
貪欲、邪悪、欺瞞、悪い習慣、羨望、噂話、傲慢、狂気。全て  
これらの悪は内側から出てきて、人を汚すのです」(マルコ7:21-23)。「欺瞞的なのは、  
心はすべてのものよりも大きく、ひねくれたものである、誰がそれを知ることができますか？(エレ 17:9)。罪  
それは本質的に、私たちの存在のあらゆる繊維にあります。私たちはその中で生まれ、私たちの人生は  
罪なので、命を奪うことなしに罪を根絶することは不可能です  
彼の中で。私に必要なのは、私自身の個人的な罪からの解放です。その罪だけではありません  
私が個人的に犯した罪だけでなく、心の中に生きている罪、  
私の人生のすべてを構成しています。

罪を犯しているのは私であり、私自身の中で罪を犯しており、それを切り離すことはできません。  
自分。それを主に託しましょうか？はい、この通りですが、どうやって？参加してもいいですか  
私の手で彼を私から追い出し、それで彼を捕まえるのは彼ですか？できれば  
たとえほんの少しでも彼を私から引き離すなら、どこで罪を犯しても私は救われるでしょう  
それが私の中にある限り、止まるだろう。その場合は、なくても大丈夫です

キリストよ、もし私が自分の中に罪を見つけられなかったなら、それをどこで見つけたかは問題ではないからです。私は彼から自由になるでしょう。しかし、私が何をしても私を救うことはできません。私のあらゆる努力は、罪から自分を切り離すことは無駄です。

私たちが以前に学んだことは、私の罪を取り除きたい人は誰でも私のいる場所に来なければならないことを明らかにしました。私のところに来なければなりません。これはまさにキリストがなさることです。キリストは言葉であり、そして、自分には仕方がないと主張して言い訳をしようとするすべての罪人に言います。神が彼らに何を求めているかを知ってください。あなたの心を満たしてください」（申命記30:11-14）。それでも「口で言えばあなたはイエスが主であると告白し、心の中では神がイエスを地上からよみがえらせたと信じています。死んでも救われます」（ロマ10:9）。私たちは主イエスについて何を告白しますか？告白する真実を、あなたの口の中、心の中に、神があなたのすぐ近くにおられることを認めて、信じてください。そこにいるのは、死からよみがえった人です。復活した救い主は十字架につけられた救い主です。復活したキリストに関して言えば、十字架につけられたキリストが分かります。それ以外の場合はいいえ誰も希望を持たないだろう。人はキリストが十字架につけられたと信じる事ができる2000年前、今も罪の中で死んでいます。しかし、それを信じる人は、キリストは彼の内に十字架につけられ、復活し、救いを得ました。

人間が救われるためにしなければならないことは、真実を信じることだけです。つまり、行為を認識し、物事をありのままに見て、それを告白することです。彼ら。キリストが十字架につけられ、キリストのうちに復活し、キリストのうちに生きていと信じるすべての人復活の力によって、彼は罪から救われます。あなたが信じる限り救われます。これが唯一のそして真実の信仰告白。

罪が溢れたところには救い主キリストがいるという、何と輝かしい真実でしょう。罪人。神は罪を、すべての罪を、世の罪を取り除きます。

1) イエスはいつ、どこで私の罪を取り除いてくれましたか？ (イザヤ書 53:6 と 7; ペテロ第一 2:24)

A: \_\_\_\_\_

金曜日

キリストは罪人のもとに来て、あらゆる動機と便宜を与えてくださいます。

罪から義へと変わります。神は「道であり、真理であり、命」なのです(ヨハネ14:6)。しかし

キリストはあらゆる人のもとに来られますが、すべての人がその義を明らかにするわけではありません。

なぜなら、「不義によって真理を抑圧する」人たちがいるからです(ロマ1:18)。

パウロの靈感による願望は、私たちが内なる人において強められることです。

御霊は、「信仰によってキリストがあなたの心に住まわれますように。そうすれば、あなたは満たされるでしょう。」

神の満ち満ちたすべてのものである」(エペソ 3:16-19)。

罪人の中に、私たちは十字架につけられたキリストを見ることができます。そこには罪と呪いがあったのですから、キリストが彼らを導いておられます。必要なのは、罪人が十字架につけられることだけです

キリストよ、キリストの死を彼自身の死とし、

イエスは死ぬべき肉体で現われるかもしれません。永遠の力と神性への信仰

すべての被造物の中にご自身を現してくださる神は、この真理をすべての人が利用できるようにしてください。あ

蒔かれた種は、まず「死ななければ」発芽しません(1コリント15:36)。「もし小麦一粒が

彼は地面に落ちて死ぬことはありません、彼は一人です。しかし、死ぬと多くの実を結びます」(ヨハネ12:24)。このような、

キリストと共に十字架につけられた者は誰でも、新しい人として生き始めます。「私はもう生きていない

私ですが、キリストが私の中に生きておられます。」

もしキリストが約二千年前に十字架につけられたとしたら、どうやって自分自身を引き受けることができたでしょうか

今日の私の個人的な罪は？そしてまた、どうやって私が今一緒に十字架につけられるでしょうか？

彼？私たちには理解できないかもしれませんが、だからといって事実が真実であることには変わりありません。

キリストがいのちであることを私たちが思い出すとき、「父とともにあつたいのちは、

」(ヨハネ第一 1:2)という言葉を読めば、私たちはこれ以上のことを理解できます。「命は彼の中にありました、そしてそれは

人生は人間の光だった。」「その言葉は全体を照らす真の光だった」

この世に来た人です」(ヨハネ 1:4 および 9)。

肉と血(目に見えるもの)は「神の子キリスト」を明らかにすることはできません。

なぜなら、「『誰も見たことのないもの、

耳が聞いたこともなければ、人の心に入ったこともない、これらは神が用意したものである

彼を愛する人たちのために。』しかし、神は御霊によってそれを私たちに明らかにしてくださいました」(1コリント2:9,10)。なし

たとえナザレの大工のことをどれほどよく知っていたとしても、

聖霊によるものではないとしても、神を主として認めてください(1コリント12:3)。

聖霊を通して、主ご自身の臨在がすべての人に訪れることができます。

地は空を満たすだけでなく、肉体を持ったイエスにはできなかったことです。それから、主が立ち去って慰め主を遣わしたことが重要でした。「キリストはすべての前から存在したそして万物はキリストのうちに成り立っているのです」(コロサイ1:17)。ナザレのイエスはキリストでした。肉。初めにあった御言葉。すべてがその中で構成されているのは、神のキリスト。キリストの犠牲は、この世界に関する限り、「~から」支配します。世界の創造。」

カルバリーのシーンは、カルバリーの入り口以来起こっていたことの現れでした。

世界の罪、そして最後の罪人が救われるまで何が起こり続けるのか  
なりたい人 :世の罪を取り除くキリスト。今すぐ持って行きましょう。それで十分だったそれは永遠に死と復活の行為である、なぜなら神は永遠の命だからである。したがって、犠牲を繰り返す必要はありません。この人生は世界中のすべての人のためのものです。信仰によってそれを受け入れる人が、犠牲の恩恵を最大限に享受できるようにするためです。キリスト。そして彼は罪から身を清めます。神の命を拒否した者は負ける彼の犠牲の恩恵です。

キリストは父のために生きました(ヨハネ6:57)。神が彼に勧めた言葉に対する彼の信仰

その後、神がそのことを繰り返し強調して明らかにすることができるようになりました。  
イエスは死後、三日目に復活されます。彼はこの信仰のうちにこう言いながら亡くなりました。  
わたしはわたしの霊を手を委ねます」(ルカ23:46)。イエスに死に対する勝利をもたらした信仰は、イエスに罪に対する完全な勝利をもたらしました。生きてても同じことだよ  
なぜなら、「イエス・キリストは昨日も、今日も、そして永遠に変わらない」からです。  
(ヘブル 13:8)。

生きているのは私たちではなく、キリストが私たちの内に、そしてキリストを通して生きておられるのです。

信仰そのものが私たちがサタンから解放します。私たちは何をすべきか?彼に住まわせてください  
主が示してくださった方法で私たちを導いてくださいました。「キリストのうちにあったのと同じ感情をあなたの中に持ちましょう。  
イエス」(フィリピ 2:5)。どうしてこれを許すことができるでしょうか?ただ彼を認識するだけで、  
彼に告白しています。

「私を愛し、私のために身を捧げた人。」なんとも個性的な表現ですね!

私は恋愛の対象です!世界中の誰もがこう言うことができます。「彼は私を愛し、自分自身を捧げてくれました。  
自分」。ポールは亡くなりましたが、彼の言葉は生き続けています。彼らはまさにその時でした  
それは彼に適用されますが、他の人間に適用される場合と同じです。は

私たちが受け入れることに同意した場合、御霊が私たちの唇にかける言葉。あ  
キリストの賜物が満ち溢れているのは、一人ひとりの「私」のためです。キリストは分裂していませんが、  
それぞれの魂は、あたかも世界に他に人間が存在しないかのように、神を完全に受け入れます。  
すべての人は、輝く光のすべてを受け取ります。何百万もあるという事実  
太陽の光を受ける人々、それは私を照らす光を少しも弱めることはありません。分かりました  
それを最大限に活用してください。たとえそこにいるのが私一人だったとしても、それ以上は受け取らないでしょう  
世界中で。このようにして、あたかも私がしたかのように、キリストは私のためにご自身を与えてくださいました。  
彼は地球上に存在した唯一の罪人でした。そして同じことが正しい  
すべての罪人のために。

一粒の小麦を蒔くと、最初よりもずっと多くの小麦が収穫できます。  
それらのそれぞれには、元の種を持っていたものと同じだけの生命が含まれています。  
本物の種であるキリストにも同じことが起こります。私たちのために死ぬことによって、  
私たちが真の種となるように、それぞれに  
彼の人生全体。「言葉では言い表せない賜物を与えてくださった神に感謝します！」（コリント第二 9:15）。

## 土曜日

21 わたしは神の恵みを無効にしません。なぜなら、もし正義が法律から来るのであれば、次のことになるからである。  
キリストは無駄に死んだ。

もし私たちが律法によって自分自身を救うことができたなら、キリストは無駄に死んだことになります。しかし、これは不可能です。そし  
てキリストの死は決して無駄ではありませんでした。したがって、救いは彼のうちにのみ存在します。そして  
神を通して神に近づくすべての人を救うことができます（ヘブル7:25）。誰もいなかったら  
もし彼が救われていたら、無駄に死んでいたでしょう。しかしそうではありません。約束は確かです。  
彼の子孫は彼の寿命を延ばすでしょう。そうすれば主の御心は主の手の中で栄えます。  
彼は自分の魂の働きを見て満足するであろう」（イザヤ53:10、11）。

望む者は誰でも、神の魂の働きの成果の一部となることができます。  
キリストが無駄に死んだわけではないことを考えると、「神の恵み」を無駄に受け取らないでください（2）  
コリント 6:1）。

1) 義と救いは律法によってもたらされますか、それとも神の恵みによってもたらされますか？（ローマ人への手紙 3:24。

エペソ人への手紙 2:8)

答え: \_\_\_\_\_

## 4呪いからの救い-パート1

---

黄金の聖句: 「しかし、義人は信仰によって生きる」(ローマ人への手紙 1:17)。

### 日曜日

ガラテヤ人は福音を受け入れた後、次のように道を踏み外してしまいました。

本物の福音の偽物である「別の福音」を彼らに提示した偽教師たち

そして、いつの時代も、すべての男性にとって他には存在しなかったようなユニークなものです。

福音の改ざんは次のような言葉で表現されました。

モーセの儀式に従って割礼を受けていれば救われることはありません。」私たちの中ではありますが、ただし、割礼の儀式の主題は無関係です。

救いそのもの、人間の業が参加するのか、それともただのことなのかという論争

キリスト、彼女は相変わらず生きています。

使徒はその誤りを攻撃し、強力な議論でそれと戦う代わりに、

議論中のトピックを説明する経験を指します。彼らへの彼のプレゼンテーションの中で

すべての人にとって救いは信仰のみによるものであり、決してそうではないことを示しています。

作品用に。キリストがすべての人、生きているすべての人のために死を味わわれたのと同じように。

救われた人は、キリストの死、復活、命を自分のうちに個人的に経験していなければなりません。

受肉したキリストは、律法ではできなかったことを行いました(ガラテヤ 2:21、ロマ 8:3,4)。しかし

同じ事実が法の正義を証明しています。細部に不足がある場合は、

キリストは彼らの要求を満たさなかつたろう。キリストは律法を成就することによって律法の義を示し、

あるいは、単に私たちのためではなく、私たちの中で法律が求めていることを実行することです。神の恵み

キリストにおいて律法の威厳と神聖さを証言します。私たちは神の恵みを捨てません。

正義は法律によって得られるが、「そのときキリストは無駄に死んだ」のである。

法律は廃止できる、その要求はすぐに満たせるかのように装う

それらを見てもよいという考慮は、キリストが年に死んだと言っているのと同じです。

彼らが行く。繰り返しますが、正義は法律によって得られるのではなく、キリストの信仰によってのみ得られるのです。しかし

法の正義は次のような方法以外では達成できないという事実

私たちの内にあるキリストの十字架、復活、そして命は、無限の偉大さと、  
法の神聖さ

1) 神は信仰によって人間を義とするとき、律法の要求を無効にするのでしょうか？

(ローマ人への手紙 3:31)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 月曜日

1 おお愚かなガラテヤの人々よ。あなたが真理に従わなくなるほどあなたを魅了したのは誰ですか、その目の前ですでに十字架につけられたイエス・キリストが表現されていたのですか？

パウロは文字通り「誰が彼らを魅了したのか」と書いていますか？「従順は犠牲よりも優れています。雄羊の脂肪よりも優れています。反逆は罪のようなものだから魔術と争いは不法行為と偶像崇拝に似ています」（サムエル15:22,23）。ヘブライ語では、文字通り、「反逆の罪は魔術であり、争いは反逆と偶像崇拝である」と書かれています。

なぜ？反逆と争い（間違いを主張する）は神への拒絶だからです。そして神を拒否する者は悪霊の支配下にあります。すべての偶像崇拝は、悪魔崇拝。「異教徒が犠牲にしているものを、彼らは悪霊に犠牲にしているのです」（1コリント4:15 10:20）。中立地はありません。キリストはこう言いました、「わたしと一緒にいない者はわたしに敵対している」（マタイ 12:30）。言い換えれば、主を拒絶する不従順は反キリストの精神です。すでに見たように、ガラテヤの兄弟たちは神から離れていました。必然的に、おそらく気づかないうちに、彼らは偶像礼拝に戻っていったのでしょうか。

心霊主義からの保護- 心霊主義は、古代の魔術または魔術を指す別の方法にすぎません。これは詐欺ですが、多くの人が想像しているような種類の詐欺ではありません。そこには現実がある。目的があるので詐欺です

死者の霊とのコミュニケーションを維持する、霊のみとのコミュニケーションを維持する

「死者は何も知らない」ということを考えると、悪魔のことで、霊媒体質であることは降参することを意味する悪魔の制御。

それから身を守る方法はただ一つ、神の言葉にしがみつ়くことです。誰が神の言葉を軽視し、神との交わりを失いつつあり、サタンの影響下に置かれます。精神主義を非難するような状況でももっと元気になって、神の言葉にしがみつ়くのをやめれば、遅かれ早かれ、あなたは元気になるでしょう。キリストの偽物の強力な誘惑に騙されました。ただしっかりと立っているだけ神の言葉によれば、信者はこれから来る試練の時から守られるのです。全世界です（黙示録 3:10）。「不従順の子供たちの中に今働いている精神」（エペソ 2:2）はサタンの霊、反キリストの霊です。そしてキリストの福音、神の義（ローマ 1:16 と 17）が唯一可能な救いであることを明らかにしています。

私たちの前で十字架につけられたキリスト-パウロがガラテヤ人に説教したとき、彼は次のように述べました。十字架につけられたキリスト。その描写はあまりにも鮮やかだったので、ガラテヤの信徒たちも実際にそうすることができました。あなたの目の前に十字架につけられた彼を見なさい。それは単なる問題ではありませんでした。パウロの側の修辞も、彼らの側の想像力もありません。ポールを次のように使用する道具として、聖霊は彼らに十字架につけられたキリストを見る資格を与えたのです。

この点で、ガラテヤ人への手紙の経験は彼らだけのものではありません。の十字架キリストは現在の事実です。「十字架に行く」という表現は単なる表現ではなく、文字通り達成できる何か。

十字架につけられたキリストを見るまでは、誰も福音の現実を知ることはできません。あなたの目の前で、それぞれの部分に十字架が見えるまで。面白いと思う人もいるかもしれないが、目の見えない人には太陽が見えず、太陽が輝いていることを否定するという事実は、人々を納得させないだろう。その光を見て受け取る人。の言葉を証言できる人はたくさんいます。使徒は、ガラテヤの人々の目の前で十字架につけられたキリストについて言及していますが、それ以上のものです。単純な比喩。これと同じ経験を知っている人もいます。神この手紙の研究が、さらに多くの人々の目を開く手段となりますように。

## 火曜日

2 私はあなたについてこれだけを知りたいのですが、あなたは律法の行いによって、あるいは信仰の宣教によって御霊を受けましたか。

答えはただ一つ、信仰を説くことです。信じる者には御霊が与えられます（ヨハネ 7:38）  
そして39.エフェ。 1:13）。ガラテヤの人々が聖霊を受けていたこともわかります。  
それ以外にクリスチャン生活を始める方法はありません。「『イエス』とは誰も言えない」  
聖霊によらないとしても、主であられるのです」（1コリント12:3）。初めに、神の霊は、  
水面を移動し、創造物に生命と活動を生成します。  
精神には行為はなく、命もありません。「力や暴力によってではなく、  
わたしの霊よ、万軍の主は言われる」（ゼカ4 :6）。神の御霊だけができる  
神の完全な意志を実現してください。人間ができるどんな仕事も、神を魂にもたらすことはできません。死んだ人間  
が自分自身を生み出して復活することも同様に不可能です。  
命の息吹。つまり、この手紙の受信者はキリストが十字架につけられるのを見たということになる。  
そして彼らは御霊によってイエスを受け入れたのです。あなたはイエスを見たことがあるか、そして  
受け入れました - おお、あなたもですか？

3 あなたはあまりにも愚かなので、御霊から始めたのに、今では次で終わるのです。  
肉？

「愚か者」というのは控えめな表現だ。仕事を始める力がない人は、自分には仕事があると信じている  
やり遂げる力！片足をもう一方の足の前に置くことができない人は、自分自身の中で次のように考えています。  
レースに勝つこともできます！

自分自身を生み出す力を持っているのは誰ですか？誰でもない。私たちは私たちを生み出してこの世に生まれたわけではありません  
同じ。私たちは力を持たずに生まれてきます。だから私たちが後で発揮できるすべての強さ  
それは私たちの外に起源があります。それはその全体として私たちに与えられています。生まれたばかりの赤ちゃんは、  
人間の代表。「人間がこの世に生まれてきた」と私たちは言います。そのすべての力  
人間の心の中には、生まれたばかりの赤ちゃんの叫び声よりも大きなものではありません。  
彼の最初の呼吸が始まります。実際、この小さな力さえも彼に与えられました。

精神世界でも同じことが起こります。「主は御意志によって私たちを生み、  
真理の言葉」（ヤコブ 1:18）。私たちは自分の力だけでは正しく生きられない  
私たちが自分自身で生み出すことができる以上の力を与えます。御霊が始めた働きは、  
聖霊によって完全に運ばれます。「わたしたちはキリストにあずかる者となったので、  
私たちが最初の自信を最後まで堅く保つなら」（ヘブライ人への手紙 3:14）"何  
神はあなたがたのうちに良い働きを始められ、イエス・キリストの日までそれを完成させてくださるでしょう」（フィリピ1:6）。  
それができるのは神だけです。

1) 人は神に留まらず、自分の努力によって神に従うことができる。

キリスト？ (ヨハネ 15:5)

A: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

2) それでは、人間はどのようにして戒めを守ることができるのでしょうか？ (フィリピ 4:13)

A: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

## 水曜日

4 あなたがこれまで苦しんできたのは無駄だったのか。どちらかという、それも無駄でした。

5 それでは、あなたがたに御霊を与え、あなたがたの間で奇跡を行われる方は、律法の行いによって行うのでしょうか、それとも信仰の宣教によって行うのでしょうか。

これらの質問は、ガラテヤの兄弟たちの経験がまさにそうであったことを示しています。

キリストを見た人から期待されるように、深くて誠実です

十字架につけられた。彼らは御霊を受け、奇跡が彼らの間で行われ、

御霊の賜物には御霊の賜物が伴うからです。

そして、彼らが生きたこの活気に満ちた福音の結果として、彼らは迫害に苦しみました。

なぜなら、「キリスト・イエスにあって敬虔に生きる者はみな苦しむことになる」からである。

迫害」(IIテモテ3:12)。これにより、状況はさらに深刻になります。持っている

彼らはキリストの苦しみを共有していましたが、今やキリストから背を向けていました。そして、正義がもたらされる

唯一の存在であるキリストからのこの分離は、不従順によって特徴づけられました。

真実の法則。無意識のうちに、しかし必然的に、彼らはそれを違反していました

彼らが救われることを期待していた律法。

6 アブラハムは神を信じたので、それは神にとって義であるとみなされました。

3 節から 5 節に示されている質問は、その答えを暗示しています。

御霊が彼らに与えられ、律法の働きによってではなく、奇跡が起こされました。

そうです、信仰をもって聞くことによってです。それは、信仰の従順によるものです。なぜなら、信仰は、次の言葉を聞くことによってもたらされるからです。

神の言葉（ローマ 10:17）。パウロの働きとガラテヤ人への手紙の経験は、それは、義のために信仰が語られたアブラハムの経験と完全に調和しています。覚えておく価値があるのは、「もう一つの福音」を説いた「偽りの兄弟」、すなわち偽りの兄弟たちである。行いによる義の福音を伝えるユダヤ人は、アブラハムを自分たちの父親だと考えていました。彼らはアブラハムの「息子」であることを誇りに思っており、その証拠として自分たちの割礼を指摘しました。しかし、まさに彼らがアブラハムの子であるという主張を支持した点において、なぜなら、「アブラハムは神を信じていた、そして次のように彼に告げられたからである。」「正義」。アブラハムは割礼を受ける前から信仰の義を持っていました（ローマ 4:11）。「...したがって、信仰を持つ者はアブラハムの子であることを知りなさい」（ガラテヤ 3:7）。アブラハムはそうしなかった彼は行いによって義とされましたが（ローマ 4:2 と 3）、彼の信仰が義に影響を与えました。

1) 神にとって、真のユダヤ人とは誰ですか、真の割礼とは何ですか？

(ローマ人への手紙 2:28 と 29)

A: \_\_\_\_\_

同じ問題は今日でも存在します。記号は実体と混同され、終わり

手段を使って。正義は良い行いの中で実現するので、それは誤って推測される

- 良い行いは正義を生み出すということ。そう思う人たちに、信仰によってもたらされる義を、

「行動」から生まれない良い仕事は、彼らにとって現実的で実用的な意味がないと思われます。

彼らは自分たちを「現実的な」人間だと考えており、何かを成し遂げる唯一の方法であると信じています。

やっつる。しかし、実際のところ、これらの人々は現実的ではありません。誰か

まったく体力が無くて何も出来ない、

起きて、渡された薬を飲みます。そのために彼に与えられたアドバイスは、

そうしようとしても無駄になってしまいます。力と正義は神のうちにのみ存在します（イザヤ書 45:24）。

「あなたの道を主に委ね、主を信頼しなさい。そうすれば主は最も多くのことをしてくださるであろう。」（詩篇37:5）。

アブラハムは義を信じるすべての人の父であり、彼らだけの父です。唯一のもの

本当に現実的なのは、彼がそうしたように、信じることだ。

2) 神の正義は、信仰や行いを通じて、人間の生活にどのように現れますか？

(ローマ人への手紙 1:17)

A: \_\_\_\_\_

7 したがって、信仰を持つ者たちはアブラハムの子であることを知りなさい。

8 さて、神が異邦人を信仰によって義とされることを聖書が予見したとき、神は最初にあブラハムに福音を宣べ伝えて、こう言いました、「すべての国民はあなたによって祝福されるであろう」。

これらの節は注意深く読む価値があります。あなたの理解が私たちを守ります

多くのエラー。そして、彼らを理解することは難しいことではありません。彼らが言うことに注意を払うだけで十分です。

(a)彼らは、福音は少なくとも前と同じ方法で宣べ伝えられたと主張します。

アブラハムの日々。

(b)それを宣べ伝えたのは神ご自身です。したがって、これが真実であり、唯一のもので

福音;

(c)パウロが宣べ伝えたのと同じ福音でした。したがって、他にはありません

アブラハムが持っていた福音とは異なる福音。

(d)今日の福音は、当時存在した福音と何ら特別な違いはありません。

アブラハムの日々。

神は今日も以前と同じことを求めておられますが、それ以上のことは何も求められていません。さらに、アブラハムは異邦人、つまり異教徒であったため、福音は異邦人に宣べ伝えられました。

彼は異教徒としてその呼びかけを受けました。「アブラハムとナホルの父テラは...人々に仕えました神々」(ヨシュア記 24:2)であり、福音が宣べ伝えられるまでは異教徒でした。このようにして、

異教徒に福音を宣べ伝えることは、ペテロの時代には前代未聞の現象ではなかった

そしてポール。ユダヤ民族は異教徒の中から奪われたものであり、それはひとえに次の恩恵によるものである。

イスラエルには存在と救いがあるという福音を異教徒に宣べ伝える(使徒言行録)

15:14-18;ロム。 11:25と26)。イスラエルの民の存在は、異教徒の中から人々を救うという神の目的の証拠であり、今もそうであり続けます。充実中です

イスラエルが存在するのはこの目的のためです。

したがって、使徒が異教徒たちと私たちを原点に連れ戻すことがわかります。

神ご自身が私たち「異邦人」に福音を宣べ伝えてくださいます。異邦人は救われることを望むことができない

別の方法で、あるいはアブラハムが救われた福音とは別の福音によって。

3) ユダヤ人と異邦人の両方が神によって義とされるのは、どのような手段によってでしょうか。(ローマ人への手紙 3:29と30)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 木曜日

9 したがって、信仰を持つ者は、信じるアブラハムによって祝福されます。

10 律法を行う者は皆、呪いの下にある。律法の書に書かれているすべてのことを守り、それを実行しない者は皆呪われる、と書いてあるからである。

これらが以前のもとの密接な関係を維持していることに注意してください。アブラハムは次のように説教されました。

このような状況下で福音を伝えるのです。「あなたを通してすべての国々は祝福されるでしょう。」

「異教徒」、「優しい」、「諸国民」(8節以降)は同じ言葉から翻訳されている

ギリシャ語。この祝福は、使徒行伝に示されているように、キリストによる義の賜物で構成されています。

3:25 と 26: 「あなたがたは預言者の子であり、神が私たちの先祖と結んだ契約の子です。

彼がアブラハムにこう言ったとき、「彼の胤によって、すべての家族が生まれるだろう」

地球'。神が御子をよみがえらせたとき、まず御子をあなたのところに遣わされました。

皆が彼の悪から立ち返るように祝福してください。」神が説教して以来、

アブラハムへの福音書にはこう書かれています。「あなたを通してすべての国々は祝福されるでしょう」

信者は信者アブラハムに恵まれます。人間にとってこれ以上の祝福はない、

それが誰であろうと、アブラハムが受け取ったものを除いて。そして宣べ伝えられた福音は、

地球上のすべての人間に特有のもので、イエスの名による救いがあり、アブラハムは

そして、「他の誰にも救いはありません。天の下に他の名前が与えられていないからです」

わたしたちは彼らによって救われるのです」(使徒言行録4:12)。主のうちに「私たちは主を通して救いを得ます。

血、それは罪の赦しです」(コロサイ1:14)。罪の赦しはすべてをもたらします

祝福を。

1) 私たちが罪を正当化する唯一の名前は何ですか?

(ローマ人への手紙 3:24 と 26)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

コントラスト: 呪いの下- 詩に示されているコントラストに注目してください

9と10: 「信仰によって生きる人は祝福される」一方、「信仰に依存する人は祝福される」  
律法の行いは呪いの下にあるのです。』信仰は祝福をもたらします。律法の働きがもたらすのは、  
呪い; もっとよく言えば、彼らは彼を呪いの下に置き去りにします。呪いが重くのしかかる  
誰もが、「信じない者は、御子の名を信じていないので、すでに罪に定められている」からです。  
神のみから生まれた者です」(ヨハネ 3:18)。信仰はこの呪いを逆転させます。

呪いにかかっているのは誰ですか? 「…律法の働きに依存するすべての人たち。」  
法に従う者は呪いの下にあると書かれていると想像してみてください。  
これは黙示録 22 章 14 節の直接の矛盾になります。  
命の木への権利を持ち、その門を通して入るようという戒め。  
市! "。 「自分の道にとがめない人、律法に従って歩む人は幸いです。  
お客様! " (詩 119:1)。

信仰を持つ人は律法を守る者です。なぜなら、信仰を持つ人は祝福されているからです。  
戒めを守る人も祝福されます。彼らは信仰を通して、  
戒め。しかし、福音は人間の本性に反しています。

---

律法を守る者は、行うことではなく、信じることによってです。もし私たちが正義を獲得するために働いていたら  
私たちは罪深い人間性を行使しているだけであり、決してそんなことはしないでしょう。  
それは私たちに正義をもたらすでしょうが、それは私たちを正義から遠ざけるでしょう。対照的に、「大切なもの」を信じることは、  
「大きな約束」をすると、私たちは最終的には「神の性質にあずかる」こととなります(2ペテロ1:4)。  
したがって、私たちの働きはすべて神において行われます。「異邦人は、  
正義、彼らは正義を達成しましたか? はい、しかし義は信仰から得られます。しかし、イスラエルは、  
彼は正義の法を求めたが、それは得られなかった。なぜ? それは信仰によるものではなく、  
律法の行い : 彼らはつまずきの石につまずいた。こう書いてあるとおりです。  
シオンはつまずきの石であり、スキャンダルのある岩である。そして彼女を信じる者はそうはしないだろう  
混乱するだろう」(ロマ9:30-33)。

1) 神に真に従う唯一の方法は何ですか? (ローマ人への手紙 1:5)

A: \_\_\_\_\_

---

---

金曜日

呪いは何で構成されていますか？ - ガラテヤ人への手紙を注意深く熟考して読む人はいない

3:10 のろいが律法の違反であることを理解できないでしょう。法律違反

「罪は一人の人を通して世界に入り、

そして罪による死です」(ローマ 5:12)。罪には死が含まれます。罪がなければ死

「死のとげは罪である」(1コリント15:56)ので、それは不可能でしょう。「誰でも

律法の働きに依存しているなら、彼らは呪いの下にあるのです。」なぜ？おそらく法律は

呪い？まったくそうではありません。「律法は聖であり、戒めも聖であり、正しく、善いものである」からです。

(ロマ 7:12)。では、なぜ、依存する人々はみな呪いにさらされているのでしょうか。

法の働き？なぜなら、こう書かれているからです。

律法の書に書かれていることを、それを実現するために。」

混乱する必要はありません。彼は法律に従うから呪われるのではなく、従わないから呪われるのです。

それを満たします。したがって、律法の働きに頼ることは、人が次のことを行うという意味ではないことは簡単にわかります。

法律を遵守すること。いいえ！「肉の心は神に対する敵意だからです。

それは神の律法に従うものではないし、実際、そうすることはできない」(ロマ 8:7)。全てです

呪いの下にあり、自分の行いによってその呪いから自由になれると考える人は、その呪いの中に留まり続けます。

「呪い」とは、すべてのものに残らないことであると考え、

律法に書かれていることから、「祝福」とは以下の条件に完全に適合することを意味するものであると容易に推測できます。

法律。

1) なぜ信仰を持たない人は皆、呪いにさらされているのでしょうか。

非難された？(ローマ 3:23; 6:23)

A: \_\_\_\_\_

---

---

祝福と呪い - 「今日、私はあなたの前に祝福と呪いを置きます。祝福があれば、

永遠なるあなたの神が今日あなたに定めた戒めに従いなさい。そしてその

あなたの神、主の戒めに従わないなら呪われよ」(申命記11:26~)

28) 。これは私たち一人ひとりに宛てられた、神の生ける言葉です。 "法律

しかし、神の怒りは不従順な者にのみ起こります (エペソ4:15) 。

5:6) 。私たちが本当に信じているなら、私たちは罪に定められることはありません。

律法、神の命との調和。 「完璧な律法を誠実に見つめる者は誰でも、

自由を求めて、それを貫き通し、耳の聞こえない聞き手ではなく、勤勉に行動する者となるだろう。

彼のすることは幸いです」(ヤコブ 1:25) 。

1) 人はどのようにして自分が真の信仰を持っていることを世界に証明しますか? (ヤコブ 2:18)

A: \_\_\_\_\_

良い行い- 聖書は良い行いを否定しません。それどころか、それは彼らを称賛します。 「忠実なのは、言葉。そして、これをあなたに心から肯定してほしいのです。そうすれば、神を信じる人々が求めることができるようになります。

良い行いに励みます。これらのことは人間にとって良いことであり、利益となるのです」(テトス 3:8) 。あ

未信者に重くのしかかる非難は、彼らが自らの行為によって神を否定しているということである。

「あらゆる良い行いは認められない」(テトス 1:16) 。パウロはテモテに人を遣わすよう勧めた

この世の富める者たちに、「彼らに良いものがありますように、良い行いに富みますように」(1テモテ6:17と

18) 。そして使徒は私たち全員のためにこう祈りました。

主よ、すべてにおいて神を喜ばせ、すべての良い行いで実を結びます」(コロサイ1:10) 。もっと

さらに、それは私たちが「良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られた…」という確信を与えてくれます。

わたしたちがその中を歩むためです」(エペソ2:10) 。

彼ご自身が私たちのためにこれらの作品を準備してくださいました。それらを作成し、誰にでも提供します。

主を信じてください (詩 31:19) 。 「神が遣わされた方をあなたが信じること、これは神の御業である」(ヨハネ

6:29) 。良い仕事が必要ですが、私たちにはそれができません。存在する彼だけが

まあ、神にはそれができるでしょう。私たちの中に最も良くない点があるとすれば、それは次のようなものによるものです。

神の仕業です。神が行うことは何一つ軽蔑に値しません。 「平和の神は、

永遠の契約の血が私たちの主イエス・キリストを死者の中からよみがえらせた、

偉大な羊飼いや、あらゆる善い業において彼らを完璧にし、主の業をなしなさい。

イエス・キリストを通して神の目に喜ばれるものをあなたの内に働かせてくださるでしょう。

栄光が永遠に何とありますように。アーメン」(ヘブライ人への手紙13:20と21)。

黙想する - ヨハネ 6:28 と 29

## 土曜日

11 そして、義人は信仰によって生きるので、律法によっては誰も神の前に義とされないことは明らかです。

12 さて、律法は信仰によるものではありません。しかし、これらのことを行う人は、それらによって生きていくでしょう。

正義の人とは誰ですか？ - 「義人は信仰によって生きる」という言葉を読むと、それは次のとおりです。

「公正」という用語が何を意味するのかを明確に理解することが重要です。することが信仰によって義とされるのは、信仰によって義とされることです。「すべての不義は罪です」(ヨハネ第一 5:17)。「罪は律法を犯すことです」(1ヨハネ3:4)。したがって、すべての不正は違反です。

法;そしてもちろん、すべての正義は法律に従うことです。そのとき私たちは、正しいもの、つまり正しいものは次のようなものであることがわかります。

律法に従う者、そして義とされるためには律法の守護者とされるのです。

正義になる方法- 望ましい目的は善の実践であり、規範は法則です。

神。「律法は怒りを生む」「すべての人が罪を犯したので」「このために神の怒りが来る」

不従順な者たちに対して。」どうすれば私たちは法の実行者となり、それによって逃れることができるのでしょうか

怒りか呪いか?答えは「義人は信仰によって生きる」です。行いではなく信仰によって、

私たちは法の実行者になります! 「人は心から義を信じます」(ロマ10:10)。あれですか

誰も律法によって神の前に義とされないことは明らかです。なぜ?なぜなら

義人は信仰によって生きるのです。」義が行いによってもたらされるのであれば、それは信仰によってもたらされないでしょう。

恵みはもはや行いによるものではありません。そうでなければ、恵みはもはや恵みではなくなります。」(ロマ 11:6)。「何のために

働いた場合、給料は好意としてカウントされず、借金としてカウントされます。一方、

働かずに不敬虔な者を義とされる方を信じる者には、信仰が次のようにみなされる。

正義」(ローマ 4:4 と 5)。

例外はありません。中間パスはありません。の一部とは言えません。

義人は信仰によって生きるだろうし、信仰と行いによって生きるわけでもない。しかし単純に:

「義人は信仰によって生きる。」これは、正義が自分自身から来る行いによって得られるものではないことを証明しています

同じ。すべての義人は信仰によって義とされ、義に保たれます。

これは、人の手の及ばない、法の崇高な神聖さによるものです。力だけは

神はそれを実現することができます。このようにして、私たちは信仰によって主イエスを受け入れ、主イエスは生涯を生きられます。

私たちの中にある完璧な法則。

法律は信仰から来るものではありません- それは書かれた法律です - 本であろうと石板であろうと -  
本文中で言及されている。法律は単に「こうしなさい」と言うだけです。「そんなことはしないでください」。「それが何をするのか  
これらのものは彼らのために生きています。』法律はこの条件下でのみ命を与えます。工事、  
ただ機能する、それが法律で認められているのです。彼らがどこから来たかは関係ありません。  
存在しています。しかし、誰も法律の要件を遵守しなかったので、  
法律を遵守します。つまり、今の人生が人生そのものである人は存在しないのです。  
完全な服従の記録。

「これらのことを行う人は、それらによって生きています。」しかし、それができるためには人は生きていなければなりません  
それらをする !死んだ人は何もすることができず、「罪と罪」を犯して死んだ人は何もできません。  
(エフェソス 2:1)彼は正義を行うことができません。キリストはいのちが存在する唯一のお方です。なぜなら、キリ  
ストは命であり、律法の義を成就し、成就できる唯一のお方だからです。いつ  
否定したり拒否したりするのではなく、認識し受け入れ、彼の人生のすべてが生きています。  
それは、もはや私たちではなく、私たちの中に生きておられるキリストなのです。それで、あなたの  
私たちの従順は私たちを義にします。私たちの信仰は、単に義によって私たちに数えられます。  
なぜなら、その信仰は生けるキリストを独り占めするからです。信仰によって、私たちは自分の体を次のように服従させます。  
神の神殿。生きた石であるキリストが心に宿り、そのようにして心は変容します。  
神の玉座。このようにして、キリストにあって、生きた律法が私たちの命となります。  
[心から]命が発せられる」(箴言 4:23)。

## 5呪いからの救い-パート2

---

黄金の聖句: 「信仰を持つ者は、信者アブラハムによって祝福される」(ガラテヤ 3:9)

### 日曜日

13 キリストは律法の呪いから私たちを救い出し、私たちにとって呪いとなりました。というのは、こう書かれているからだ。「木にぶら下がっている者は皆呪われている。

14 それは、アブラハムの祝福がイエス・キリストを通して異邦人に伝わり、私たちが信仰を通して御霊の約束を受けるためです。

中心テーマへの取り組み- この書簡では、

法律に従うべきかどうかに関する法律。それが廃止されたか、変更されたか、またはその効力を失ったかどうか。あ

書簡にはそのことを示す記述はまったくありません。解決すべき問題は、

法律は守るべきですが、どうやって守るのか。決定されているのは、

義認、つまり義とされることは必要なことです。問題は次のとおりです。彼らは信仰によってやって来ます。

それとも作品によって? 「偽兄弟」たちはガラテヤの人々に次のように説得していました。

自分たちの努力によって義を立てます。パウロは御霊を通して彼らに次のことを示しました。

彼ら自身の努力はすべて無駄になり、彼らが得た唯一の結果は、

呪いは罪人にさらに付きまといます。

キリストへの信仰による義は、常にすべての人に確立され、唯一のものとして確立されます。

本当の正義。偽教師たちは律法を誇っていましたが、それは法に違反したためでした。

彼らは自ら神の名に恥をかかせたのです。パウロはキリストを誇りに思いました。

彼はこうして得た律法の義を神の名に栄光を帰しました。

1) 正義とは何ですか? (詩篇 119:172)

A: \_\_\_\_\_

2) 正義はどのように実践されるのか? (ヘブライ人への手紙 11:33)

A: \_\_\_\_\_

---

3) 神の目には誰が義人ですか? (ヨハネ第一 3:7)

A: \_\_\_\_\_

---

罪のとげ- 13 節の最後の部分は、次のことを明確に示しています。

呪いは死で構成されます。「木にぶら下がっている人は皆呪われます。」キリスト  
彼が十字架にかけられたとき、木にぶら下がったとき、私たちのために呪いとされました。今  
したがって、罪は死の原因です。「罪は一人の人を通して世界に入り、  
すべての人が罪を犯したので、死は罪によって生じ、死はすべての人に広がりました。」  
(ロマ 5:12)。「死のとげは罪です」(1コリント15:56)。したがって、事実上、  
10 節には、「聖書に書かれていることすべてを守らない者は、  
法の書」は死んだものと考えられます。言い換えれば、その不服従は以下に等しい。  
死。

「貪欲が思い浮かぶと、それは罪を生み出します。そして罪は、達成されると、  
死」(ヤコブ 1:15)。罪には死が含まれており、キリストのない人は罪の中で死んでいます。  
罪と罪 (エペソ2:1)。生き生きしているふりをしていても構いません。  
キリストの言葉は今も残っています。「あなたがたが人の子の肉を食べなければ、  
その血を飲めば、あなたは命を持たないだろう」(ヨハネ6:53)。「快樂に身を委ねて生きる者は、  
死んだのです」(1テモテ5:6)。それは生きた死、「死の身体」です。  
ローマ人への手紙 7:24。罪とは法律に違反することです。罪の報酬は死です。それで、  
呪いは、罪の中で最も魅力的なものがその中に隠されているこの死から構成されています。  
「聖書に書かれていることすべてを守らない人は皆呪われます。

それを実現するために律法の書を守るのです。」

## 月曜日

呪いから救い出された- 「キリストは私たちを律法の呪いから救い出してくれました。」一部の読者  
この聖句に対する表面的な見方はすぐに次のように叫びます。「法律を守る必要はない。  
キリストが私たちをその呪いから救ってくださったからです」と、あたかもキリストがこう言っているかのように、  
彼を従順の「呪い」から救い出したのです。そのような人は聖書を読んでも無駄です。あ  
これまで見てきたように、呪いはすでに不従順です。  
律法の書に書かれていることをすべて守り、それを実現します。」

したがって、キリストは私たちを律法の不従順から救い出してくださいました。神は御子を「それは、律法の義が私たちのうちに成就されるためです。」  
(ロマ 8:3 と 4)。

ある人は何も考えずにこう言うでしょう、「それで安心しました。法律に関して言えば、私たちは皆救われたのですから、私はやりたいことを何でもできます。」。確かに全員が救われたのですが、誰もが救いを受け入れたわけではありません。多くの人はキリストについてこう言います。「私たちを統治してください」と神の祝福から背を向けます。しかし、救いは誰にでもあります。全てキリストの尊い血、つまり命によって買い取られたものであり、もしそうであれば、誰もがそれができるのです。罪と死から解放されたい。私たちは「無駄な行いから」救われます。私たちはその血を通して両親から受けました (1ペテロ1:18)。

これが何を意味するのか、時間をかけて考えてみましょう。それがあなたの魂に感動を与え、「キリストは私たちを律法の呪いから救い出してくださいました」という表現に含まれる、私たちの力を与えてください。公正な要求に従わないこと。私たちはもう罪を犯す必要はありません！彼はそれを切りました。私たちが奴隷にした罪の束縛、だから私たちがしなければならないのは私たちが支配するすべての罪から解放される救いを受け入れてください。それはもうありません。私たちは、生涯を熱烈な憧れと空しい嘆きの中で過ごす必要がある。満たされない欲望。キリストは誤った希望を与えるのではなく、むしろ罪の捕虜となり、彼らにこう宣言します。あなたの刑務所の扉は開いています。彼女から出て行け！」これ以上何を言う必要があるのでしょうか？キリストは最も完全な勝利を収めたこの邪悪な時代について、「肉の欲望と欲望」について「目と人生の誇り」(1ヨハネ2:16)そして主への私たちの信仰が、主の勝利を私たちのものにします。私たちがしなければならないのは、それを受け入れることだけです。

1) キリストは私たちを罪と不従順から解放してくださいました。それで、その人の人生はどうなるのですか

誰が彼を信じますか？ (ヨハネ第一 3:6および9)

A: \_\_\_\_\_

キリスト、私たちのために呪いを造られた- 聖書を読む人には明らかです  
「キリストは異教徒のために死んだ」(ローマ5:6)ということです。彼は「私たちの罪のために引き渡された」  
(ローマ 4:25)。無実の者は有罪の者のために、正義の者は不当な者のために死んだ。「彼は怪我をしました  
私たちの罪、そして不法行為のために打ち砕かれる。私たちに平和をもたらす罰

イエスの上にあり、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。みんなで歩きました  
羊のようにさまよった。それぞれが自分の道に迷ったが、主は造られた  
私たち皆の咎が彼の上に降りかかるであろう」（イザヤ53:5,6）。さて、死が入りました  
罪によって。死はすべての人間に伝わる呪いだ、その理由は単純だ  
「すべての人が罪を犯した」ということです。キリストは「私たちのための呪い」とされたのですから、もし  
「私たちの罪」になりました（IIコリント5:21）。「彼は私たちの罪をその体に負ってくださいました。  
木」（ペテロ第一 2:24）。私たちの罪は「神の体の中に」あったことに注目してください。あなたの仕事はそうではありません  
表面的なもので構成されていました。私たちの罪は、感覚的に彼に課されたものではありません  
それは単なる比喩的ですが、それらは「神の体の中に」あったのです。彼は私たちのために呪いにされた、そして  
したがって、彼は私たちのために死を苦しみました。

これを忌まわしい真実だと考える人もいます。異教徒にとってそれは狂気であり、異教徒にとっては狂気である。  
ユダヤ人はつまずきの石ですが、救われた人々には神の力と知恵が与えられます（Iコリント4:11）。  
1:23 と 24)。神が私たちの罪をご自身の体で負われたことを思い出してください。あなたのもものではありません  
彼は罪を犯したことがないので、罪を犯します。神が彼に罪を犯させたことを告げる同じ聖書  
私たちのために、彼は自分に「罪はなかった」と強調しています。同じ一節が私たちに次のことを保証しています。  
「私たちの罪をその体で木の上に背負った」と述べ、「彼は罪を犯さなかった」と述べています。  
罪"。神が私たちの罪を御自身のうちに負うことができ、また罪とされることができること  
私たちは罪を犯していないにもかかわらず、神の栄光に貢献しているからです  
不滅と私たちの罪からの永遠の救い。すべての人間の罪は  
しかし、彼の中に最も明確な罪の影を発見できる人は誰もいませんでした。それでも  
イエスはすべての罪をご自身のうちに負いながら、生涯、いかなる罪も表わされませんでした。彼はそれを受け取り、死を克服する  
彼の消えることのない命の力によってそれを吸収しました。強力です  
罪を汚さずに負うこと。そして、彼の素晴らしい人生によって私たちを救ってください。  
私たちがあらゆる罪の影から解放されるように、神の命を私たちに与えてください  
それは私たちの肉体の中にあります。

「キリストは地上での生涯の中で、大声で叫びながら願いと願いをささげられました。  
彼を死から救うことができるものに涙を流しました。そして、その敬虔さゆえに、イエスの声は聞き入れられたのです」（ヘブライ人への手紙 5:7）。  
しかし彼は死んでしまいました！誰も彼の命を奪ったわけではありません。彼自身がそれを与えた、もう一度それを受け取るために  
（ヨハネ 10:17 および 18）。死の苦しみから解放されました。  
彼女は彼女に引き留められました」（使徒2:24）。なぜ死が彼を留めておくことが不可能だったのでしょうか？

彼は自発的にその権力下に置かれたのだろうか？なぜなら「彼には罪がなかった」からです。

彼は自ら罪を負いましたが、その力からは免れました。それは「あらゆる面で似ていた」

彼の兄弟たちは、「私たちと同じようにあらゆる面で誘惑されました」（ヘブライ人への手紙 2:17; 4:15）。それ以来

彼自身は何もできず（ヨハネ 5:30）、倒れないように助けてくださるよう父に祈りました。

敗北し、死の力に陥る。そしてそれは聞こえました。の

言葉：「主なる神が私を助けてくださるので、私は恥をかかされることはありません。だからこそ私は顔を置いたのです

小石のように、私は恥をかかせないことを知っています。わたしを正当化するものはすぐ近くにある。誰が

私と争ってくれませんか？一緒に参加しましょう。私の敵は誰ですか？に到達する

わたしです」（イザヤ書 50:7 と 8）。

彼をそこまで抑圧し、そこから解放された罪とは何でしょうか？あなたのものではありません、なぜなら

何もありませんでした。それはあなたと私のものでした。私たちの罪はすでに克服され、敗北しました。

私たちの戦いは倒された敵とのみです。イエスの名によって神を求めるとき、

あなたが神の名を無駄にしないように、神の死と生に服従したのです。

キリストがあなたの内に住んでいる限り、あなたがしなければならないのは、キリストがあなたの中に住んでいることを覚えておくことだけです。

彼はすべての罪を負い、今もそれを負っています。そして彼が勝者であることを。あなたはこう叫ぶでしょう。

神は、私たちの主イエス・キリストを通して、私たちに勝利を与えてくださいます」（1コリント15:57）。

「神に感謝します。神は常にキリスト・イエスにおいて、そして私たちを通して私たちに勝利へと導いてくださいます。」

神はあらゆる場所でご自身の知識の香りを現されます」（2コリント2:14）。

## 火曜日

十字架の啓示- ガラテヤ人への手紙 3:13 の「木」が私たちを主題に戻します

2章20節と3章1節の中心は、無尽蔵の十字架です。

それに関する7つのポイントを考えてみましょう。

(1)罪と死からの救いは十字架によって達成されます（ガラテヤ 3:13）。

(2)福音は「神の力」であるため、福音全体が十字架に含まれています。

信じる者すべてに救いが与えられるように」（ロマ1:16）。そして「救われている人々のために」

キリストの十字架は「神の力です」(1コリント1:18)。

(3)キリストは、十字架につけられ、復活された者としてのみ、墮落した人間にご自身を現されます。

「天の下で人間に与えられる名前はこれ以外にありません。

救われました」（使徒4:12）。したがって、神が人間の前に定めるのはこれだけである。

混乱の可能性がないように。イエス・キリスト、そして十字架につけられたイエス・キリスト、それがパウロが知りたかったことのすべてでした。知っておくべきことはそれだけです  
人間。人間に必要なのは救いです。それを入手すれば、すべてが手に入ります  
もの。しかし、キリストの十字架によってのみ救いを得ることができます。だから、神は置かない  
人間の目の前には他には何もありません。正確に何を与えるか  
ニーズ。神はイエスを十字架につけられた状態ですべての人に提示します。  
道に迷ったり、罪を犯し続けたりする言い訳は誰にもありません。

(4)キリストは十字架につけられた救い主としてすべての人に示されます。そして一度それが  
人間は呪いから救われる必要があり、彼が呪いを背負っていることを示します。そこには  
呪いが隠されているところ、キリストがそれを取り上げてくださいます。キリストが彼女をどのように運んだかはすでに見ましたが、  
いばらの冠をかぶって以来、まだ大地の呪いを負っています。  
地上に宣告された呪いは次のとおりでした。  
3:18)。このように、キリストの十字架を通して、被造物全体は、  
今、呪いの下でうめき声を上げています（ローマ 8:19-23）。

(5)キリストは十字架で呪いを負われました。その木にぶら下がっているものは、それが  
私たちに呪いをかけた。十字架は呪いを象徴するだけでなく、  
それは勝利者であり征服者であるキリストの十字架だからです。

(6)誰かが「呪いはどこにあるの?」と尋ねるかもしれません。'私たちは答えます :そうでないところは  
それは?!自分の証拠にさえ注意を払えば、最も目の見えない人でもそれを見ることができます。  
自分自身の感覚。不完全さは呪いです。はい、それは呪いを構成します。そして  
私たちはこの地球に関わるすべてのものに不完全さを見出します。その男は  
不完全であり、地球上で計画されている最も精緻な計画にも、  
細部に不完全な点があります。私たちが見ることができるすべてのものはそれ自体を明らかにします  
私たちの不完全な目が気づかなくても、改善の余地はあります。  
そのような改善が必要です。神が世界を創造したとき、すべては「非常に良好」でした。  
神ですらそれを改善する可能性は見当たりませんでした。でも今はそれが多すぎる  
違う。庭師は果物や花を改良しようと懸命に努力する  
と勧められました。そして、地上の最良の場所でも呪いが明らかになるというのが本当なら、  
欠陥のある果物、病気の葉や茎、有毒な植物などについてはどうなるでしょうか?  
「呪いが地を焼き尽くした」(イザヤ24:6)。

(7)このことで落胆すべきでしょうか?いいえ、「神は私たちが怒りに任命したわけではないので、

しかし、私たちの主イエス・キリストを通して救いを得るためです」(1テサロニケ5:9)。

呪いはどこでも見られますが、自然は生きており、人間も生きています。

しかし、呪いは死であり、人間も創造物も死に至ることはできません。

死んでもまだ生きている、なぜなら死は人を殺すからである!しかし、キリストは生きておられます。彼は亡くなったが、彼は生き続ける

いつも(黙示録 1:18)。神だけが呪い、つまり死を、そして美德によって引き受けることができるのです

彼自身の功績が生き返るのです。地球上には生命が存在し、人間の体内にも生命が存在します。

呪い、十字架で死んだキリストに感謝します。あらゆる草むらで、あらゆる場所で

森の葉、すべての茂み、すべての木、すべての果物、すべての花、そして

私たちが食べるパンにもキリストの十字架が刻印されています。それは私たちの中にあります

自分の体。私たちがどこを見ても、十字架につけられたキリストの証拠があります。あ

十字架の説教、つまり福音はすべてのものの中に明らかにされる神の力です

神が創造したもの。それが「私たちの内に働く力」です(エペソ3:20)。の考察

ローマ人への手紙 1:16-20 は、コリント人への手紙第一 1:17 と 18 と共に、十字架が十字架であることを明確に示しています。

キリストについては、神が造られたすべてのものの中に、また私たちのものの中にも現れます。

体。

1) すべてのもの、すべての生命は誰によって構成されていますか? (コロサイ 1:17)

A: \_\_\_\_\_

## 水曜日

落胆からの慰め-「数え切れないほどの悪が私を取り囲んでいるからです。

私の咎が私を縛り上げて、上を向くことができません。もっという

私の頭の毛よりも多い。それゆえに私の心は弱ってしまうのです」(詩篇

40:12)。しかしそれは、私たちが自信を持って神に叫ぶからというだけではありません。

「深い」-むしろ、神の無限の慈悲の中で、神はこれらと同じことを望んでいます。

深さは私たちの自信の源を見つけさせます。にもかかわらず私たちが生きているという事実

罪の深みにいるということは、神が十字架上のキリストとなって私たちを助けてくださっていることを証明しています。

私たちを解放するために。このようにして、聖霊を通して、神の支配下にある者さえも、

呪い(そしてすべてがその下にありますが)、福音を説きます。私たち自身の脆弱性とは程遠い、

落胆の原因となることは、私たちが主を信じているなら、救いの保証となります。私たちは「強さ」を手に入れます

弱さの。」 「これらすべてのことにおいて、私たちに与えてくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。愛されました」(ロマ8:37)。確かに神は人間を証言なしに放っておかれませんでした。そして、「信じる者は、神の御子において、彼はご自分のうちに証しを持っておられるのです」(1ヨハネ5:10)。

1) 不死以外に、神は福音を通して私たちに何を与えてくださいましたか? (II

テモテ 1:10)

A: \_\_\_\_\_

注: 神は福音を通して、私たちに不死だけでなく、肉体的な生活。

呪いから祝福へ- キリストは呪いを引き受けてくださったので、私たちは祝福。彼の死は私たちにとって命です。私たちが自発的に身体の中に持ち込むと、主イエスの死とともに、主の命は私たちの死ぬべき肉体にも表れます (2コリント1:11)。4:10)。彼が私たちのために罪とされたのは、私たちが彼にあって神の義となるためです (2コリント 5:21)。彼が負う呪いを通して私たちが受け取る祝福は、罪からの解放。私たちにあって、呪いは法律違反の結果です。3:10)。祝福は、私たちが悪から立ち返ることです(使徒3:26)。キリストはのろい、罪、死を経験されました。アブラハムは異邦人に届きます。」

パウロが他の手紙で述べているように、アブラハムの祝福は次のとおりです。信仰による義: 「ダビデもまた、神が与えた人を祝福したと宣言しました」行いのない正義を主張し、「不法を犯した人々は幸いである」と言う。赦され、その罪は覆われます。主が与えられた人は幸いである罪をなすりつけることはありません」(ロマ 4:6-8)。

パウロは続けて、この祝福は信じる異邦人に宣告される、と説明しています。アブラハムもそれを受け入れたので、信じるユダヤ人たちにとっても同様です。割礼を受けていない。「彼が信じるすべての人の父となるためです」(11節)。

祝福は罪からの自由であり、呪いは罪の代償です。検討中  
呪いが十字架を明らかにするのと同じように、主はその同じ呪いを告げさせます。

祝福。私たちが罪人であっても、肉体的には生きているという事実は、私たちに確信を与えます。  
罪からの自由は私たちのものです。「命がある限り、希望はある」ということわざがあります。  
人生は私たちの希望です。

祝福された希望を神に感謝します！祝福はすべての人に訪れました。"このような  
ちょうど、ある犯罪行為の判決が全人類に下され、有罪判決を受けたのと同じように、  
それでも、一つの正義の行為によってすべての人に恵みがもたらされました。  
人生の正当化」(ロマ 5:18)。人と人を区別しない神は彼を祝福した  
私たちがキリストにあって、天にあるすべての霊的祝福とともに与えてください(エペソ1:3)。贈り物は私たちのものです、そして  
私たちはそれを守ることが期待されています。誰かが祝福を受けていないとしたら、それはその人が祝福を認識していないからです  
贈り物として、あるいはおそらく彼が意図的にそれを拒否したため。

完成した作品-「キリストは私たちが律法の呪いから、罪と罪から救い出してくださいました」  
死。神は「私たちの呪いとなることによって」これを行い、罪を犯したいというあらゆる欲望から私たちに解放してくださいました。  
私たちがキリストを真に受け入れるなら、罪は私たちに支配することはできません。  
予約。この真理は、アブラハム、モーセ、ダビデ、イザヤの時代でも同様でした。  
私たちの時代では、あの十字架がカルバリに建てられる700年以上前、  
イザヤは、祭壇から燃えている石炭を取り出したときに理解した事柄について証言しました。  
自分の罪を清めました。「彼は私たちの弱さを自ら引き受けて、  
彼は私たちの苦痛を自ら引き受けてくれました...彼は私たちの罪のために傷を負い、そして、によって打ち砕かれました  
私たちの不法行為。私たちに平和をもたらす懲罰は彼に、そして彼の打ち傷によって与えられた  
私たちは癒されました...主は私たち全員の咎を主に負わせました。」(イザヤ53:5,6)。  
「わたしはあなたの罪を霧のように、あなたの罪を雲のようにぬぐい去ります。  
わたしがあなたを贖ったからです」(イザ44:22)。イザヤ書のずっと前に、ダビデは次のように書きました。  
「神は私たちの罪に応じて私たちが扱ったり、私たちの罪に応じて報いをしたりはしない。  
不平等。」「東洋が西洋から遠いのに同じように、私たちの世界も私たちから遠く離れています。  
罪」(詩 103:10 と 12)。

「キリストを持っている私たちは安息に入ります」(ヘブライ人への手紙 4:3)。その祝福は、  
私たちが受け取るのは「アブラハムの祝福」です。私たちには使徒たちの基盤以外に基盤はありません  
そして預言者：隅の親石であるキリスト(エペソ2:20)。神が備えてくださった救いは完全であり、  
完了。私たちがこの世に生まれたとき、彼女はすでに私たちを待っていました。をリリースしません。  
私たちがそれを拒否しても、神は何の重荷も負わないし、私たちが神に重荷を与えることもない。

私たちは受け入れます。

## 木曜日

1) 神はいつすべての人々の救いを備えましたか? (II

テモテ 1:9)

A: \_\_\_\_\_

---

---

「御霊の約束」 - キリストが私たちが贖ってくださった「信仰によって私たちが御霊の約束です。」 「...贈り物の約束を受け取りましょう」と読み間違えないようにしましょう。御霊の』。後で説明するように、これは語られていませんし、その意味でもありません。キリストを私たちにこの事実は御霊の賜物であることを証明しています。なぜならそれは単に「御霊による」からです。それは、イエスが傷のないご自身を神にささげたことです（ヘブライ人への手紙9:14）。そうでなかったら御霊によって、私たちは決して罪人であると感じることはありません。私たちも知りませんでした償還。御霊は罪と義を有罪とします(ヨハネ16:8)。「霊とは何か証人、御霊は真理だからです」(1ヨハネ5:6)。「信じる者は...自分自身のうちに証しなさい」(10節)。キリストはすべての人に代わって十字架につけられました。すでに見たように、これは私たち全員が呪いの下にあるという事実によって証明されています。キリストだけが呪いを負うことができます。しかし、神は聖霊を通して地上に住んでいます男性の間で。信仰によって私たちは神の証しを受けることができ、私たちは神がそうしてくださったことを喜びます。神の御霊が私たちに宿っていることを保証します。

また注目してください : 私たちはアブラハムの祝福を受けたので、次の約束を受けることができます。精神。しかし、その約束は御霊を通してのみ実現します。したがって、祝福は、それは私たちが御霊を受けるという約束をもたらすことはできません。私たちはすでに御霊を共に持っています約束とともに。しかし、御霊の祝福（それは義です）があれば、私たちは次のことができます。聖霊が義人に約束したもの、つまり永遠の相続物を確実に受け取ることができます。祝福によってアブラハム、神は彼に相続財産を約束しました。御霊はすべての者の誓約、保証です。祝福。

1) イエスはどのようにして善に力を与えられ、義人となったのですか? (使徒 10:38)

A: \_\_\_\_\_

---

2) どうすれば私たちも正義を実践できるようになりますか？（イザヤ書 4:4、ガラテヤ人への手紙 5:16）

A: \_\_\_\_\_

---

相続の保証としての御霊 - 神の賜物はすべて携えられます  
より大きな祝福が約束されます。常に多く、より大きなものが存在するでしょう。神の目的は福音は、すべてのものをイエス・キリストのもとに集めることです。  
...そして彼を信じたので、あなたは約束の聖霊で証印を押されました。  
それは、私たちがそれを所有し、主の賛美に至るまで、私たちの相続財産の安全です。  
栄光です」（エフェソス 1:11-14）。

この遺産についてはまた後ほどお話しします。とりあえず、これだけ言えば十分です  
アブラハムに約束された相続財産であり、私たちは信仰によってその子供となったのです。遺産が属する  
イエス・キリストへの信仰を通して神の子であるすべての人に。そして私たちに封印する御霊  
子の身分は保証であり、この約束された相続の初穂です。栄光を受け入れる人は、  
律法の呪いからの救出、すなわち、律法への従順からの救いではなく、キリストによる救い  
（従順は呪いではないので）しかし、法に対する不従順から、彼らは  
来るべき世界の力と祝福を予感させるスピリット。

## 金曜日

15 兄弟たち、私は一人の人間として話します。人の遺言が確認された場合、誰もそれを無効にしたり追加したりすることはありません。

16 さて、アブラハムとその子孫に対して約束がなされました。それは、「そして、多くの人について話すように子孫に、ではなく、一人として、そしてあなたの子孫、つまりキリストに」とは書いていません。

17 しかし、私はこう言います。この遺言は以前に神によって確認されたものであるから、四百三十年後に制定された律法は、その約束を無効にするためにその約束を無効にするものではありません。

18 なぜなら、相続財産が法律によるものであれば、それはもはや約束によるものではありません。しかし、神は約束によってそれをアブラハムに無償で与えたのです。

アブラハムに救いの福音が世界に宣べ伝えられました。彼はそれを信じて受け取りました

義の祝福。信じる者は皆、信者アブラハムのように祝福されます。全て

「信仰を持つ者はアブラハムの子である。」 「約束はアブラハムと彼のものになされました。

子孫"。 「相続財産が律法に依存しているのであれば、それはもはやアブラハムに与えられるものではありません。

約束のこと。」彼が私たちにした約束は、彼にした約束と同じです。

私たちは彼の子供として相続に参加します。

「そしてその子孫」 - これは単なる言葉遊びではなく、

重要な主題。物議を醸すテーマは救いの手段です。救いは (1) によってのみです。

キリスト? ; (2) 何か他のことのために? ; それとも (3) キリストと他の誰か、あるいは何か他のものによってでしょうか?

多くの人は、自分自身を良くすることで自分自身を救わなければならないと考えています。他の人は信じています

キリストは貴重な助けであり、あなたの努力の良き助手であることを。さらに他の、

彼らは神に第一の地位を与えるでしょうが、唯一の地位ではありません。自分たちを良いものだと考える

"二位"。その働きを実行するのは神であり、彼らである。しかし、勉強したテキストはすべてを除外します

これらの無駄なふり。 「そして彼の子孫に」とは書かれておらず、「あなたの子孫に」と書かれています。

多くの人のためではなく、「キリストとは誰なのか」という一人のためのものです。

二つの血統は存在しません - 私たちはアブラハムの霊的な子孫を対比することができます

彼の肉欲的な子孫と一緒に。 「霊的」とは「肉的」の対極であり、肉的な子供たち、

彼らも霊的な子供でない限り、相続財産には何の分け前もありません

スピリチュアル。肉体の中で生きている人間にとって、この世には、

彼らが完全に霊的になることは不可能です。そうでなければなりません、そうでなければ

私たちはアブラハムの子供ではなくなります。 「肉に従って生きる者は、人を喜ばせることはできない」

神」(ローマ 8:8) 。 「肉と血では神の国を受け継ぐことはできません」(1コリント4:10)

15:50) 。アブラハムの霊的な子孫は一系統しかありません。たった一つのクラスの

真の霊的な子孫：「信仰を持つ者たち」、つまり、キリストを通してキリストを受け入れた者たち

信仰を持ち、神の子となる力を受け取りましょう (ヨハネ1:12) 。

多くの約束が1つにまとめられている - Descendant は単数ですが、約束は次のとおりです。

複数形。神が人間に与えたいもの、約束していないものは何もありません。

アブラハム。神の約束はすべて、アブラハムが信じたキリストに移されます。

「神の約束はすべて神の中にあります。したがって、私たちは彼の中で「アーメン」と言います。  
神」(IIコリント1:20)。

1) 誰によって私たちは神のすべての約束の相続人になるのでしょうか? (IIコリント人への手紙  
1:20-22)

A: \_\_\_\_\_

2) 私たちはどのような方法で祝福を受けるのでしょうか。 (ガラテヤ 3:9)

A: \_\_\_\_\_

約束された相続財産- ガラテヤ 3:15 ~ 18 には、何が約束されているかがはっきりと分かります。  
すべての約束の合計が継承です。16節には、律法が到来したと書かれています。  
与えられ確認された約束から四百三十年が経過しても、これを無効にすることはできません  
最後。「相続財産が律法に依存しているのであれば、それはもはやアブラハムに与えられるものではありません。  
約束"。この聖句を関連付けると、約束が何であるかを知ることができます  
この他の先例:「アブラハムとその子孫のように、それは律法によるものではありませんでした」  
彼らは世界の相続人になることが約束されていましたが、それは正義によってもたらされたものでした  
信仰」(ローマ 4:13)。「天と地は…あの日の火のために保たれているが」  
裁きと悪人の滅び」、そしてその日「天は燃え上がり、  
それが元に戻され、要素は一緒に溶けて火で焼かれます。」それにもかかわらず、私たちは、  
「神の約束に従って、私たちは義が宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいます。」(2ペテロ3:7、12、13)それはアブラハ  
ムとイサクも待ち望んだ天の故郷です

そしてジェイコブ。

呪いのない相続- 「キリストは私たちを呪いから救い出してくださいました…そのため、  
信仰によって私たちは御霊の約束を受け取ります。」私たちはその約束を見ました。  
スピリットは新しくなった地球の所有物、つまり呪いから救われたものです。なぜなら  
創造そのものが腐敗の奴隷状態から解放され、自由に参加するでしょう。  
神の子らの栄光です」(ローマ 8:21)。「地球はつい最近創造主の手から離れ、  
新しく、新鮮で、あらゆる点で完璧な物が、所有する人間に与えられました(創世記 2:3)。  
1:27、28、31)。「人間は罪を犯し、その結果呪いがかもたらされました。キリストが引き継いだ  
人間とすべての創造物の両方のすべての呪い。〜から地球を取り戻す

神が当初意図していた永遠の所有物となるように呪いなさい。  
何でも;また、人間がそのようなものを所有できるようにするために、人間を呪いから救い出します。  
遺産。これが福音の要約です。「神の無償の賜物は、永遠の命です。  
私たちの主キリスト・イエス」(ローマ 6:23)。永遠の命というこの賜物は、  
神はアブラハムとその子孫に土地を「  
永遠の相続財産である」(創世記 17:8)。という約束があるので、それは正義の継承です。  
アブラハムが世の相続人となるのは、信仰によってもたらされる義によるものでした。あ  
義、永遠の命、永遠に住む場所、この3つはすべて含まれています。  
約束し、私たちが望んだり受け取ったりできるすべてのものを構成します。男を救いなさい、なしで  
彼に住む場所を与えることは未完の仕事になるだろう。2つのアクションは、  
全て。私たちが救われる力は、天と地を新たに作る創造の力です。  
地球。すべてが達成されると、「もはや呪いはなくなります」(黙示録22:3)。

## 土曜日

約束の契約- 契約と神の約束は同じものです。これなら  
ガラテヤ 3:17 でパウロは、契約を無効にすると次のようなことが起こると述べています。  
約束を有効にする。創世記 17 章には、アブラハムと次のような契約が結ばれたことが書かれています。  
カナンを永遠の所有物として与えてください(8節)。ガラテヤ人への手紙 3:18 には、神が彼女に与えたと書かれています。  
約束を通して。神と人間との契約は、次のようなものでありえません。  
は人間に約束します。「報酬を得るために、誰が最初にそれを彼に与えましたか?  
すべてのものは神から出て、神を通して、そして神のためにあるのです」(ロマ11:35,36)。

洪水の後、神は地球上のあらゆる生き物、鳥、動物、  
そして獣全体。彼らの誰も見返りを約束しませんでした(創世記 9:9-16)。単に  
神の御手から恩恵を受けました。私たちにできることは、受け取るだけです。神  
私たちが必要とするすべて、そして私たちが求めたり想像したりする以上のものを約束してくれます。  
ギフト(贈り物)として。私たちは神に自分自身を捧げます、つまり、神に何も与えません。そして彼はもし  
私たちのために届けてくれる、つまり私たちにすべてを与えてくれるのです。問題を複雑にしているのは、  
すべてにおいて主を認めようとする人で、交渉に努める  
しかし、神と「交渉」しようとする人は誰でも、次の段階でそうしなければなりません。

神が定めた条件、つまり、私たちは何も持っていない、私たちは何もない、そして

神はすべてを持っており、すべてであり、私たちにすべてを与えてくださる方です。

批准された契約- 契約（人間に地球全体を与えるという神の約束）

彼女を呪いから救った後、更新された)は、「以前に確認されました」

神"。キリストは新しい契約、永遠の契約の保証者です。

神の約束があり、それは神の中にあり、そうです、そして神を通してアーメン、神の栄光が現われます。」

1:20)。聖霊は聖霊であられるので、相続財産はイエス・キリストにあって私たちのものです(1ペテロ1:3および4)。

相続の初穂、そして聖霊の所有者はキリストであり、心の中に住まわれます。

信仰。神はアブラハムを祝福してこう言われました。

そしてこれは、神が私たちに祝福するために遣わされたキリストにおいて成就されます。

誰もが自分の悪から立ち去りましょう（使徒 3:25,26）。

アブラハムと結ばれた契約を批准したのは神の誓いでした。それです

アブラハムに対する約束と誓いは私たちの希望の基礎です。

それは私たちの「非常に強い慰め」です（ヘブライ人への手紙 6:18）。それらは「確実にしっかりとした錨」（19節）です。

なぜなら、誓いはキリストを保証、保証として確立するものであり、キリストは「

生きている」（ヘブライ人への手紙 7:25）。「神は力強い御言葉によってすべてを支持します」（ヘブライ人への手紙 1:3）。

「万物は神の内にある」（コロサイ1:17）。「ですから、神が示そうとされたとき、

神の目的の不変性を約束する継承者たちに、神は誓いを立てた。」

（ヘブライ人への手紙 6:17）。キリストのうちには、私たちが罪から逃れ、罪から守ってくれる慰めと希望が眠っています。

キリストは、ご自身の存在と、それに伴う全宇宙の存在を保証として、

私たちの救い。私たちの希望にとって、これよりも強固な基盤を想像できるでしょうか。

神の力強い御言葉のことですか？

法律は約束を無効にすることはできません- 私たちが前進するためには、次のことが必要です。

協定と約束は一致しており、それらには新しい地球が含まれていることを思い出しましょう。

アブラハムとその子供たちに与えられる土地。また、次のことを考慮する必要があります。

新しい天と新しい地には正義だけが宿ることができるという約束には、

信じるすべての人にとって正義です。これはキリストにおいて起こり、キリストにおいて約束が確認されます。

「協定は、たとえそれが人間のものであっても、一度批准されれば、何ものもそれを無効にすることはできない」

神の契約となると、なおさらです。

したがって、ひとたび「契約」によって永遠の義の保証が与えられると、

神の誓いによってキリストにおいて確認されたアブラハムに対して行われたことは不可能である

430年後に公布された法律によって、

新しい要素。アブラハムは約束によって相続財産を与えられました。しかし、もし

430年後には、他の誰かから相続物を得ることが可能になるでしょう。

このようにすると、約束は無効となり、協定は無効となります。そしてそれはつまり、

しかし、神の政府は崩壊し、神の存在は終わりを迎えます。

アブラハムとその子孫に相続と義を与える保証としての存在

所持することが必要となります。「アブラハムとその子孫は律法によらなかったからです。

彼らは世界の相続人になると約束されていましたが、それは来る義によってでした。

信仰によって」(ロマ4:13)。福音はアブラハムの時代にも完全であったのと同じくらい充実していました。

いつもそうだった。アブラハムへの神の誓いは、追加したり変更したりすることはできません

その条件の一部。当時存在していた形から何も差し引くことはできません。

それはどんな人にも求められますが、アブラハムにも求められていました。

## 6呪いからの救い-パート3

---

黄金聖句: 「ですから、私たちが信仰によって義とされるために、律法は私たちをキリストに導く学校の先生（家庭教師）の役割を果たしたのです。」 (ガラテヤ 3:24)

### 日曜日

1) 信者はどのようにして新しい地球を受け継ぐのでしょうか? (ローマ人への手紙 4:13)

A: \_\_\_\_\_

---

19 それでは、律法は何のためにあるのでしょうか。それは、約束がなされた子孫が来るまで、罪のために定められ、それは天使によって、仲介者の手によって与えられました。

「法律って何のためにあるの？」使徒パウロは次のことを示すためにこの質問をしました。より強調すべきは、福音における律法の役割です。質問は非常に論理的です。役職相続は完全に約束によって行われ、一度確認された「契約」があること変えることはできない、法を430年も送った目的は何だったのか後? 「法律って何のためにあるの?」ここで何をしているの?どのような役割を果たしますか?

「それは罪を犯したために与えられたものです。」ということを確認に理解する必要があるシナイでの法律の公布はその存在の始まりではありませんでした。の時代には存在していましたアブラハムは彼女に従いました(創世記 26:5)。この語はシナイで話される前から存在していました(出 16:1-4, 27, 28参照)。それはシナイで宣言されたという意味で「与えられた」のです。明示的に、完全に。

「違反行為があるからです。」 「律法は罪を大きくするために来たのです」(ロマ 5:20)。言い換えれば、「戒めを通して、人々の悪がなくなるようにするためです。」罪」(ロマ 7:13)。最悪の状況下で公布された陛下、不信仰によって罪を犯したイスラエルの子らへの警告として彼らは約束された相続財産を失う危険にさらされていました。アブラハムとは異なり、彼らは信じませんでしたそして「信仰から生じないものはすべて罪です」(ローマ14:23)。しかし、相続は「信仰から来る義によって」約束されていました(ローマ4:13)。それでユダヤ人たちは不信者はそれを受け取ることができませんでした。

そこで律法は、彼らに義が欠けていることを彼らに納得させるために与えられたのです。遺産を所有するために必要です。正義は法律によってもたらされませんが、法律によってもたらされる必要があります。「律法によって支えられている」(ロマ 3:21)。要するに、彼らには次のような法律が与えられたのです。彼らには信仰がなく、したがって彼らはアブラハムの真の子供ではないことがわかりました。彼らは相続財産を失いつつありました。神は彼らの心に律法を植え付けられたアブラハムにしたのと同じようにして、彼らも彼と同じように信じることをできるようにしたのです。しかし、彼らは信じることをやめ、依然として存在しているふりを維持していたので、約束の継承者である彼らに、最も強力な形式であることを示す必要がありました。不信仰は罪です。法律は罪を犯したために与えられたものであるか、または（それは同じです）こと)人々の不信仰のせいだ。

自信は罪だ- イスラエルの人々は自信に満ちていた。そして神に対する不信仰についても、彼らは神に対してつぶやきながら示したように、神の指示と、神が定めたことはすべて達成できるという彼らの自信のためです。約束を果たすことができることが求められています。彼らは同じ精神を現した彼の子孫よりも、次のように尋ねました。神"？ (ヨハネ 6:28)。彼らは神の正義についてあまりにも無知だったので、彼らも同様の方法で自分の義を確立することができました(ロマ10:3)。私たちが愛してください。もし彼らが自分たちの罪を知ったら、その約束は彼らにとって無価値になるでしょう。したがって、次の必要性があります。法律を提示する。

1) 神の約束はどのように受け継がれるのでしょうか？法律によるのか、それとも信仰によるのか？ (ヘブライ 11:6 および 11)

A: \_\_\_\_\_

## 月曜日

調停者を通して- これがシナイ州に法律が与えられた方法です。あれは誰だったのか仲介者？答えは1つだけです。「神は1人、両者の間の仲介者も1人です」神と人、そして人イエス・キリスト」(1テモテ2:5)。ただし、「調停者は、神は一つですが、神は一つを表します。」神とイエス・キリストは一つです。神と人間の間の仲介者であるイエス・キリストは、人間の前で神を代表し、

神の前では人間。「神はキリストのうちに世をご自分と和解させておられました」(2コリント4:30)  
5:19)。「神と人間の間には他の仲介者は存在しませんし、存在することもできません。」で  
それ以外の救いはありません。なぜなら、天の下でこの者に与えられた名前は他にないからです。  
皆さん、私たちが救われますように」(使徒言行録4:12)。

仲介者としてのキリストの働き-人間は神に背を向け、反逆した

「わたしたちは皆、羊のように迷いました」(イザヤ書 53:6)。「私たちの  
不法行為は私たちを神から引き離します(イザヤ書 59:1と2)。「肉の心にとっては、  
それは神に対する敵意であり、それは神の律法の対象ではないし、実際、そのようなことはあり得ないからである。」  
(ロマ 8:7)。「キリストは敵意を滅ぼし、私たちが神と和解させるために来られました。彼は  
私たちの平和(エペソ2:14-16)。「キリストは罪のために一度死んだ、義人は罪のために死んだ」  
あなたを神のもとに導くために、不義を働いたのです」(1ペテロ3:18)。「彼を通して私たちは神に近づくことができます  
(ロマ 5:1と2、エペソ 2:18)。「彼の内では肉の心、反抗的な心が取り除かれ、  
その代わりに御霊の思いが働きます。「それは、律法が要求する正義が満たされるためです。」  
私たちは肉に従って歩むのではなく、御霊に従って歩むのです」(ローマ 8:4)。「あ  
キリストの働きは、失われた者を救い、傷ついた者を結び、人々を集めることにある。  
別れてしまったもの。彼の名前は「私たちとともにある神」です。神が私たちの中に住んでいるとき、私たちは  
「神の性質」にあずかったのです(2ペテロ1:4)。

キリストの仲介の働きは時間や範囲によって制限されません。することが  
調停者とは、仲介者である以上の意味があります。キリストは罪の前の仲介者でした  
この世界に入り、罪がもはや宇宙に存在せず、赦しの必要がなくなったとき、仲介者となるでしょう。「すべての  
ものは神の中にあります。」それは同じだ  
「目に見えない神のイメージ」。「彼は人生そのものだ。神のいのちは神の中に、そして神を通してのみ流れます。  
すべての創造。したがって、神は手段であり、仲介者であり、命の光を照らす方法です。  
宇宙を照らします。彼は人間が墮落したときに仲介者になったのではなく、人間が墮落したときの仲介者でした。  
永遠。人間だけでなく、他の被造物も、キリストを通してでなければ、父のもとに来ることはできません。天使はキリ  
スト以外に神の臨在の中に存在することはできません。あ  
世界に罪が入り込んだからといって、新たな概念を発展させる必要はありませんでした。  
あるいは新しい機械を稼働させるべきではないということです。その力  
万物を創造した彼は、無限の慈悲によってただ継続するだけでした。  
神様、失われたものを取り戻してください。すべてのものはキリストにおいて創造されました。  
したがって、私たちには神の血による救いがあります(コロサイ1:14-17)。宇宙を活気づけ、維持する力は、私たちが  
救う力と同じです。「さあ、できる人に、  
神の力によれば、私たちが求めたり考えたりするすべてよりも無限に多くのことを

私たちの内に働いてくださる方が、教会とキリスト・イエスにおいて、あらゆる世代を通して栄光がありますように。

永遠に。アーメン！"（エフェソス 3:20 と 21）。（黙示録 4:11 と 5:9 を参照）

NT）。

1) 私たちが神のもとに来る唯一の方法は何ですか? (ヨハネ 14:6)

A: \_\_\_\_\_

21 それでは、律法は神の約束に反しているのでしょうか。決して～ない;なぜなら、もし義を促進する律法が与えられたとしたら、それはまさに律法によるものだからである。

22 しかし聖書は、イエス・キリストへの信仰による約束が信者たちに与えられるように、すべてを罪の下に結論付けました。

「律法は神の約束に反しているのでしょうか?決して～ない!"もしそうなら、法律はそうではないだろう  
イエス・キリストという「仲介者を通して」与えられたであろう。

神は御自身において「そうです」です(2コリント1:20)。キリストにおいて、私たちは律法と

約束。私たちは、法律が約束に反しておらず、約束に反していないことを次の事実によって知ることができます。

その両方を与えたのは神であるということ。私たちはまた、この宣言が

この法律は「協定」に新たな要素を導入していません。協定があったので、

確認したところ、何も追加または削除できませんでした。しかし、法律は無駄なものではなく、

その場合、神はそれを与えなかつたろうから。私たちが法律を守るかどうかは問題ではない

神ご自身がそれを定められたのですから、任意です。しかし同時に、それは法に反するものではありません

約束するものでも、そこに何らかの要素を導入するものでもありません。なぜ?単純に法律だから

約束の中に含まれています。御霊の約束には、「わたしはわたしの律法を彼らの心に置き、彼らの心に書き記す」(ヘブライ人への手紙 8:10)とあります。これはまさに神がなさったことです

アブラハムに割礼の契約を与えました。（ロマ 4:11; 2:25-29; フィリピ 3:3）。

法律は約束を大きくします- 神が宣言されているように、法律は正義です。

あなたは正義を知っているということ。わたしの律法を心の中に持つ人々よ」(イザヤ書 51:7) 。あ

法が求める正義だけが、約束の地を受け継ぐことができる唯一の正義です。それが得られ、

律法の行いによるのではなく、信仰によるのです。法の正義は努力で得られるものではない

律法を守るのですが、それは信仰によるのです（ローマ 9:30-32） 。したがって、正義が大きければ大きいほど、

律法が要求するほど、神の約束は大きくなります。神はこれを与えると約束しているからです。

信じる者すべてに正義を。そう、彼は誓ったのです！ですから、シナイで律法が与えられたとき、

「火と雲と暗闇の中で、力強い声で」（申命記5:22）

神のラツパが鳴り響き、主とその聖なる天使たちの前で地震が起こり、

神の律法の言葉では言い表せない偉大さと威厳が示されました。という皆さんのために

アブラハムへの神の誓いを思い出しました、それは驚くべきことの啓示でした。

神の約束の偉大さ、神は法律が要求するすべての正義を与えると誓ったからだ

彼を信頼した人なら誰でも。律法が与えられたときの耳をつんざくような声は同じだ

山の頂上から神の救いの恵みの良いたよりを宣べ伝えた人（イザ、

40:9）。神の戒めは約束です。それ以外のことはあり得ません。

私たちに力がないことはご存知でしょう。主が求められるものは何でも、主ご自身が与えてくださいます。

神が「あなたは...してはならない」と言ったとき、私たちは神が私たちに与えてくださった確信を持ってそれを受け入れることができます。

もし私たちがただ信じるなら、それがこの事件で私たちに警告している罪から私たちを守ってくれるでしょう。

戒め。

正義と命- 「もし法律が命を与えることができれば、正義はまさに法律を通して実現されるでしょう。」それ  
正義が命であることを証明します。それは単なる公式でも、死んだ理論でも、

教義ではありますが、重要な行動です。キリストは命であり、したがってキリストは私たちの義です。法律

2枚の石の板に書かれた文字は命を与えることはできません。石の上にあるものにすぎない

書かれたものを与えることができます。彼の戒めはすべて完璧だが、彼の表現は

石に刻まれた文字で書かれているため、自分自身を変身させることはできません。

アクション。法律を文字だけで受け取る者には「罪を宣告する奉仕」があり、

死（2コリント3:9）。しかし、「言葉は肉となった」のです。生きた石であるキリストにおいて、

法は命と平和です。「御霊の務め」（11コリント3:8）によって神を受け入れることで、私たちは次のものを手に入れることができます。

法が認める正義の人生。

21節は、律法が約束の偉大さを強調するために与えられたことを示しています。

法律の公布に伴うあらゆる状況 - トランペット、

声、地震、火事、嵐、稲妻と雷鳴、周囲の死の壁

山の頂上 - 律法が「不従順の子ら」に「怒りを及ぼす」ことを示しています（ローマ 4:15。

エフェ。 5:6）。しかし、法律が不服従の子供たちにのみ怒りをもたらすという事実は、

律法は善であり、「これらのことを行う者は律法に従って生きる」（ロマ10:5）ということです。神の目的は神

の民を落胆させることだったのでしょか？とんでもない。従う必要がある

そしてシナイの恐怖は、彼らを彼らの誓いに立ち返らせるために計画されたものであった。

神は四百三十年前にそれを造られました。永遠に残る誓い

人間はいつでも、救い主を通してもたらされる正義の保障として  
永遠に生きる十字架につけられた人。

私たちの必要性を感じることを学ぶ- 慰め主についてイエスは次のように言いました。  
「彼が来られるとき、彼は罪と義と裁きを世に確信させるでしょう」(ヨハネ16:8)。  
彼は自分自身について、「わたしは義人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです」と言いました。「正気の人  
彼らには医者はいらない、ただ病人がいるのだ」(マルコ2:17)。人は認識しなければならない  
助けを受け入れる前に、あなたの必要性。自分が病気であることを知らなければなりません、  
薬を受け取ります。

同様に、正義の約束もその人にはまったく気づかれないでしょう。  
自分が罪人であることを認識していない人。それでは、御霊の慰めの働きの最初の部分で  
聖とは、人々に罪を納得させることにあります。「しかし、聖書はすべてを次のように囲い込んでいます  
それは、イエス・キリストへの信仰を通して、罪を犯した人々に約束が与えられるためです。  
信じてください」(ガラテヤ 3:22)。「律法によって、罪の認識がもたらされます」(ローマ 3:20)。  
自分を罪人であると認識する人は知識への道を進んでおり、「もし私たちが自分の罪を告白するなら、  
罪よ、神は真実であり、私たちの罪を赦し、すべての悪から私たちを清めてくださいます。」  
ヨハネ 1:9)。

このように、律法は聖霊の手中にあり、人々を誘惑する能動的手段となる。  
約束の完全性を受け入れます。自分の命を救ってくれた人を憎む人はいない  
彼に未知の危険を示しました。逆に受け取ることになるのは、  
友人への思いやり、そして常に感謝の気持ちを忘れないでください。法律はこう見るだろう  
警告の声によって警告され、来たるべき怒りから逃れられる者。  
彼は詩編作者とともにこう言います。しかし私はあなたの律法を愛しています」(詩篇  
119:113)。

1) 法律の役割は何ですか? (ガラテヤ 3:24; ローマ 10:4)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 水曜日

23 しかし、信仰が現れる前、私たちは律法の下に置かれ、啓示されるはずの信仰から閉ざされていました。

8 節と 22 節の類似点に注目してください。

罪の下で、それはイエス・キリストへの信仰を通して約束が与えられるためです

信じる者たちに」(22節)。「聖書は、神が次のようにして異邦人を義とされることを予見していた」

信仰を持っていた彼は、事前にアブラハムに福音を告げ、その時アブラハムはこう言いました。

すべての国民は祝福されるでしょう』(8節)。「私たちは、福音を宣べ伝えている聖書が次のようなものであることがわかります。

すべての人を罪の下に「困い込んだ」と同じものです。もちろん、それは何ですか

法律の下で黙っていれば囚人だ。地上の政府では、犯罪者は

法律で有罪判決が下され次第逮捕される。神の法則は遍在し、常に活動しています。

したがって、人は罪を犯した瞬間に閉じ込められるか、投獄されます。そういったものです

全世界の状況、「すべての人が罪を犯したからである」、そして「正しい人は一人もいない、

1つ」。

ノアの時代にキリストが宣べ伝えた不従順な人々は牢獄に入れられていました(1)

ペド。 3:19 と 20)。しかし、他の罪人と同じように、彼らも「希望の囚人」でした (ザック

9:12)。「主は聖所の高み、天から地を見下ろし、

捕虜のうめき声を聞き、死刑を宣告された人々を解放してください」(詩102 :19,20)。「キリスト

彼は「民との契約の仲介者、異邦人の光」として与えられています。を開くには

盲人に目を向け、捕虜を刑務所から、暗闇の中に座っている人々を刑務所から連れ出すために。」

(イザヤ書 42:6 と 7)。

もしあなたがまだ主の喜びと自由を知らないなら、私に教えてあげてください。

私の個人的な経験について話します。いつかそう遠くない今日だったら

さらに、神の御霊はあなたに罪に対する深い確信を抱かせてくれるでしょう。あなたはできる

疑いとためらいでいっぱいだったので、彼はあらゆる種類の言い訳を探していたかもしれません。

しかし、その瞬間が来ると、何も答えることができなくなります。ない

したがって、神と聖霊の存在については何の疑問もありませんし、

それを保証するのに議論は必要ありません。あなたは神の声を認識するでしょう

彼の魂に語りかけると、彼の叫びは古代イスラエルの叫び声のようになるでしょう。そうすれば「閉店」とはど

ういう意味かを知ることができます

壁がとても近くに感じられる刑務所の中では、それが不可能であるだけでなく、

あなたの逃げ道は窒息しそうです。死刑判決を受けた人々の話  
重い石板の下に生き埋めにされたことが生き生きと現実のものとなり、あなたはそう感じるでしょう。  
まるで法律の表が彼の人生を押しつぶしたかのように、彼の心を押しつぶしたかのように  
容赦ない石の手。その瞬間、大きな喜びが与えられるでしょう  
あなたが「囲まれている」のは、「信仰によってあなたが  
「キリスト・イエスにおける」御霊の約束です（ガラテヤ 3:14）。これを我慢するとすぐに  
約束します、それがあなたの「城」のすべての扉を開ける鍵であることがわかるでしょう。  
疑ってください」（『巡礼者の進歩』）。そうすれば刑務所の扉は大きく開くだろう  
そうすれば、あなたはこう言うでしょう。「私たちは鳥のように鳥の罾から逃げました。絆が切れて、そして  
私たちは自由です」（詩 124:7）。

律法の下、罪の下- 信仰が生まれる前、私たちは閉じ込められていました  
律法のもとでは、私たちは後に明らかになる信仰の囚人でした。私たちは知っています  
信仰から出ていないものはすべて罪であるということです（ローマ 14:23）。したがって、「法律の下にある」ということは、  
たとえあなたが罪の下にあったとしても、神の恵みは罪からの救いをもたらすので、  
それは、私たちが神の恵みを信じる時、律法の下に置かれなくなるためです。  
私たちは罪から解放されます。したがって、律法の下にある者とは、  
法律違反者。義人は律法の下にいませんが、律法の中を歩んでいます。

1) 神の恵みの下にあるとき、罪は人間を支配するのでしょうか？

(ローマ人への手紙 6:14)

A: \_\_\_\_\_

24 そこで、律法は、私たちがキリストに導く学校の先生（家庭教師）となり、私たちが信仰によって義とされるようになりました。

「家庭教師」（アイオ）は、ギリシャ語の表現「ペダゴゴス」、または「教育者」から翻訳されました。•  
教育者は一家の父親の奴隷であり、その使命は少年に付き添うことだった  
学校に行き、勉強を他の気晴らしやゲームに置き換えないように注意してください。  
もし子供が逃げようとした場合、教育者は子供を道に戻さなければなりませんでした。  
物理的な矯正方法を適用する権限も含まれます。「家庭教師」とか「講師」とか、  
ギリシャ語の適切な翻訳ではありません。最善のアイデアは、保護者または監視員になることです。

あなたの監護対象となっている少年は、たとえ優位な立場にあるとはいえ、実はまるで刑務所にいるかのように自由を奪われます。信じない人は誰でも、罪の下にあり、法律に囲まれているため、法律は彼の保護者として機能するか、用心深い。法律はあなたを奴隷にしておくでしょう。罪を犯した人は罪から逃れることはできません。それでも神は憐れみ深く、赦してください。「罪を犯した者を決して無罪とすることはありません」(出エジプト記 34:6,7)。

それは、決して嘘をついて、悪いことは良いことだとは言わないということです。何をするか罪を犯した人が罪から解放される救済策を提供する。そうすれば法律は去ります

あなたの自由を断ち切ると、あなたはキリストにあって自由に歩くことができるようになります。

## 木曜日

キリストにおける自由- キリストは、「わたしが扉である」(ヨハネ10:9)と言われました。それもひだ、そして羊飼いの人は自分が囲いから出れば自由だと思い込んでいて、これから来ると考える。フォールドへの参加とは、自分の自由に障害物を置くことを意味します。しかし、それはまさにその逆です。キリストの囲いは広いが、不信仰は狭い牢獄である。あ

罪人の思考の広さは決して狭い範囲を超えることはできません。真の自由な思想家とは、「すべての聖徒とともに、広さと広さ」を理解する人です。キリストの愛の長さ、深さ、高さ、そしてその愛を[知っている]。すべての知識に勝ります」(エペソ 3:18,19)。キリストの外にはそれ以上のものは何もありません

奴隷制。彼の中にのみ自由があります。キリストの外では、人間は「自分自身の刑務所」にいます。罪は彼を罫のように縛ります」(箴言 5:22)。

「今や、死のとげは罪であり、罪の力は律法です。」(1コリント15:56)。人間を罪人であると宣言し、自分の状態を認識させるのは律法です。「法律により罪の知識は生まれます」そして「罪は律法なしでは非難されません」(ロマ 3:20; 5:13)。律法は罪人の刑務所の壁を明らかにします。彼を彼女に結び付けて、彼を作ります

まるで罪が命を奪っているかのように、罪の感覚に圧迫されて不快に感じます。罪人逃げようとする必死の努力も空しく、しかし戒めはそれを超えて立ち上がる

難攻不落の壁のように彼らを取り囲んでいます。どこに行っても、必ず見つかります

それは次のような戒めです。「あなたは私を通して決して自由を見つけることはできません。罪"。彼は法律と仲良くしようとし、それに従うと約束しましたが、状況はそうではありませんでした

とにかくあなたの罪は残っているので、それはまったく良くなります。法律はあなたを邪魔します(刺す)そして彼を唯一の脱出方法、「イエスへの信仰による約束」に導きます。

キリスト"。キリストにあって、人は神の義とされるので、真に自由になります。キリストにおいてそれは完璧な自由の法則です。

律法は福音を説く - すべての被造物はキリストについて語り、神の力を宣言します。あなたの救い。人間の全身がキリストを求めて叫びます。人間には分かりませんが、キリストは「すべての国民の願い」です(ハガイ2:7)。神だけが「人々を祝福できる」すべての生き物」(詩 145:16) 。落ち着きのなさに対する治療法は主のうちにのみあり、世界への憧れ。

「キリストは私たちの平和である」ので、その中に平和があるキリストは、次のような人々を求めています。疲れて重荷を負っていて、彼らに彼のところに来るように呼びかけます。そして、それをすべて考慮して、人間には、この世の他のものでは満たすことのできない欲望があるのは明らかです。法は人間の中に自分の状態に対する明確な認識を呼び起こし、そして法は継続する彼を邪魔し、休息も与えず、逃げ道を妨げ、救いの扉は広く開かれているので、人は最終的に救いの扉を見つけるでしょう。キリストは、世に包囲されたすべての人が逃れることのできる避難の都です。血の復讐者、彼は必ず歓迎されるだろう。キリストのうちにのみ、あなたは罪人は律法の鞭から休め。キリストにあって律法の義は私たちの中で完成されるからである。

(ロマ 8:4) 。律法は「義」を持たなければ救われない

それは信仰によって神から来るのです」(フィリピ 3:9) 、イエスの信仰です。

1) 人間はどのような信仰によって義とされ、救われるのでしょうか? (ガラテヤ 2:16)

A: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

25 しかし、信仰が生じてからは、私たちはもはや学校の先生に従属していません。

26 なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスへの信仰によって神の子だからです。

「信仰は聞くことによって生まれ、聞くことは神[キリスト]の言葉によって始まります」(ロマ10:17)。  
人が神の言葉、つまりそれに伴う約束の言葉を受け取るとき、  
律法が完全に守られているにもかかわらず、彼はそれに抵抗するのではなく、律法に降伏し、「信仰が彼にやって来た」のです。第11章  
ヘブライ人への手紙は、信仰が初めからあったことを示しています。アベルの時代から、  
信仰によって自由を見つけました。信仰は今日、今すぐにも実現できるのです。 "今がその時だ

受け入れられます、今が救いの日です」(2コリント6:2)。「もし今日神の声を聞いたら、あなたはそうはならないだろう」  
「心をかたくなにせよ」(ヘブライ 3:7e 8)。

## 金曜日

27 なぜなら、キリストに結ばれるバプテスマを受けたあなたがたの多くは、キリストを着ているからです。

「キリスト・イエスに入るバプテスマを受けた人は皆、彼の死に入るバプテスマを受けたことを知らないのですか？」(ローマ 6:3)。キリストはご自分の死によって私たちに律法の呪いから救い出してくださいましたが、バプテスマは「神のような死」です(ローマ 6:5)。

私たちは復活して、「新しい命」、つまりキリストの命を歩むのです(ガラテヤ 2:20 参照)。

キリストを着ているので、私たちはキリストにあって一つです。私たちは完全に識別されています

私たちのアイデンティティは神の中で失われます。という人たちの話をよく聞きます。

変換:「あまりにも変わってしまったので、それを認識するのは困難です。もう同じではありません。」いいえ、ちがいます

もっと。神は彼を別の人にしました。そして、キリストと一つになることで、すべてのものは、

それは、キリストが住む天上の場所も含めて、キリストのものです。刑務所から

神の住まいに至る罪は高められる。したがって、これはバプテスマが次の目的で行われることを前提としています。

それは現実であり、単なる外形的な形式ではありません。それは目に見える水の中だけではありません

彼はバプテスマを受けていますが、「キリストに」、彼の命に組み込まれています。

バプテスマはどのように私たちに救ってくれるのでしょうか？ - 私たちが「洗礼を授ける」と訳すギリシャ語、「水没する」という意味です。ギリシャの鍛冶屋は、自分が鍛造した素材に水の洗礼を施しました。

冷やすことを目的とします。主婦は衣服を洗う洗礼を授けます。そして同じように

目的は、誰もが手を水で「洗礼」することです。はい、みんなよく使っていました

洗礼堂、または戦車も同様の目的を持っています。ここから次の言葉をとりま。

洗礼堂、かつて今も人が完全に身を沈めることができる場所

水の下で。

「キリストに洗礼を受ける」という表現は、私たちとキリストとの関係がどのようなものであるべきかを示しています。

イエスの人生に比べれば、私たちは卑劣で道に迷っているように見えるはずですが、そうすればわかります

キリストにのみ捧げられ、「私たちはキリストとともに埋葬されたので、私はもう生きていません」

バプテスマによって死に至ります」(ローマ6:4)。バプテスマは「復活によって私たちに救います」

イエス・キリスト」(1ペテロ3:21)、なぜなら、私たちは彼の死にバプテスマを受けているからです。

死人から父の栄光へ、わたしたちも新たな命の中を歩むことができます。」"もし

私たちは御子の死によって神と和解しました。今はもっともっと、私たちはそうなるでしょう

彼の命によって救われたのです」(ロマ書5:10)。したがって、キリストへのバプテスマは、単なる形式的なものではなく、しかし、その事実が私たちを救います。

バプテスマは神の前で「正しい良心」を意味します(1ペテロ3:21)。でこれがなければキリスト教の洗礼はありません。したがって、バプテスマの候補者は成人していなければなりませんという事実を認識できれば十分です。彼は罪を自覚しているに違いない、そしてまた、キリストを通しての赦し。あなたは、そのとき現れ、証しする人生を知らなければなりません自ら進んで罪の古い生活をやめ、義の新しい生活に身を委ねます。

バプテスマは「体から汚れ」を取り除くことではありません(1ペテロ3:21)。この体の外側の清めですが、「神への応答としての良心」の中で行われます。(NT Inter.)、魂と良心の浄化。手を洗うための開いた噴水がある罪と汚れ(ゼカエル 13:1)、そしてこの源からイエスの血が流れ出ます。の人生キリストは神の御座から流れ出て、「その真ん中に」「あたかも子羊が立っているかのように」立っている殺されたのだ(黙示録5:6)、まさにそれが傷ついた側から流れ出てきたのです。十字架上のキリスト。「永遠の御霊によって、彼は傷のないご自身を神にささげた」とき(ヘブライ 9:14)、彼の傷ついた脇腹からは水と血が流れ出しました(ヨハネ 19:34)。「キリストは愛されました彼女を聖別するために、教会に行き、彼女のために身を捧げました。言葉[文字通り「言葉の中に水を浴びること」]によって水を洗うことによって」(エペソ 4:14 5:25と26)。水に埋葬されることによって、信者は自発的に受け入れたことを示します。命の水、すべての罪を清めて生きる準備をするキリストの血。神の口から出るあらゆる言葉について。この瞬間から君は自分を見失ってしまうたとえ目で見ても、キリストの命だけが彼の死ぬべき肉体に現れます。

1) キリストに結ばれるバプテスマを受けた人はどのように歩むのでしょうか。(ローマ人への手紙 6:4,8,12)

A: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

土曜日

28 この中にはユダヤ人もギリシャ人も存在しない。奴隷でも自由でもない。男でも女でもない。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

29 そして、あなたがたがキリストのものであるなら、あなたがたもアブラハムの子孫であり、約束によると相続人です。

「違いはありません」（ローマ 3:22; 10:12）。それは福音の基調です。みんなが等しく罪人であり、すべての人が同様に救われます。誰がやろうとしたとしてもユダヤ人か異邦人かといった国籍に基づく違いも影響する可能性がある性別 - 男性か女性 - または社会的地位 - 主人か奴隷 - に基づいて等しかし、違いはありません。すべての人間は神の前では平等です。

品種または状態をインポートします。「あなたがたはキリスト・イエスにおいて一つです」、そして一つはキリストです。「次のようには言っていない。

子孫、多くのことを言っているように、しかし一人のこととして：そしてあなたの子孫に、誰がキリストです」（ガラテヤ 3:16）。子孫は 1 人だけですが、子孫にはすべての子孫が含まれます。キリストのもので。

「種」とはキリストのことです。これは本文が宣言していることです。しかし、キリストは自分のために生きたわけではありません。同じ。彼は自分自身のためではなく、兄弟たちのために相続財産を獲得しました。神の目的

それは、「天にあるものと地にあるものすべてを、一つの頭の下に」キリストにおいて一つに結びつけることです。

（エフェソス 1:10）。いつの日か、階級に関係なくすべての部門に終止符が打たれるだろうし、すでにそうなっている

彼を受け入れる人々の中で。キリストにおいては、国籍、階級、肌の色による区別はありません。・

クリスチャンは誰のことを思い浮かべますか - 英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、トルコ語、中国語、アフリカ人

- 単に人として、したがって神の後継者候補として

キリストを通して。もしその人が、人種や状態を問わず、クリスチャンになったら、

絆は相互になり、さらに強くなります。「ユダヤ人もギリシャ人もいないし、

奴隷でも自由人でも、男性でも女性でもない、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。」

1) キリストはユダヤ人と異邦人の間に存在した敵意に対して何をされましたか？（エペソ人への手紙 2:13-15)

A: \_\_\_\_\_

2) 瞑想すること: 敵対関係にあった二人に何が起こるべきか

キリスト・イエスを信じる時、お互いに？（エペソ人への手紙 2:17 と 18)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

何百万人もの信者が存在するにもかかわらず、彼らはキリストにあって一つです。それぞれ独自の個性を持っていますが、常に何かの側面の現れです。

キリストの個性。人間の体にはたくさんの手足があり、それぞれが異なります。その特殊性において。しかし、私たちは身体の完全な統一と調和を観察します。

人間の健康状態だけでなく、「新しいもの」を身に着けている人たちも、人間、彼は「神の像に従って、完全な知識に自らを改革する」

作成した;その中にはギリシャ人もユダヤ人も、割礼の有無も、野蛮人もスキタイ人も存在し得ない。

奴隷、自由。しかし、キリストはすべてにおいてすべてである」(コロサイ3:10,11)。

## 7採用-パート1

---

黄金聖句: 「神の霊に導かれている者は皆、神の子です。あなたは再び恐怖に陥る奴隷の精神を受けたのではなく、息子としての養子縁組の精神を受けたからであり、それによって私たちは叫びます、アバ、父よ。」

(ローマ人への手紙 8:14 と 15)

### 日曜日

1 したがって、相続人が少年であるときは、たとえ彼がすべての主人であるとしても、彼は召使と何ら変わらない、と私は言います。

2 ただし、父親が定めた時まで、後見人および管財人の管理下にある。

前の章は、誰が誰であるかについての声明で終わります。

相続人。第4章では、どのようにできるかについての考察が続きます。

相続人になります。

パウロの時代には、少年は最も偉大な王国の後継者になれる可能性がありましたが、ある程度の年齢に達した彼は、使用人（または奴隷）と何ら変わりません。そうでない場合、一定の年齢に達すると、彼は決して相続財産を所有することはありません。この場合、相続まで到着すると、彼は召使として生きることになる。

3 それと同じように、私たちも子どもの頃、世の基本の下で奴隷にされていました。

4 しかし、時が満ちたとき、神は女から生まれ、律法のもとに生まれた御子を遣わされました。

5 律法のもとにある人々を贖い、私たちが養子として迎えられようとするためです。

3節の「少年たち」という表現は、私たちが置かれていた状況を指しています。

「息子としての養子縁組」を受ける前に（5節）。それは私たちが生まれる前の私たちの状態を表しています。律法の呪いから、つまり私たちが回心する前に救われました。これらは「少年たち」です。気まぐれで、あらゆる教義の風や、自分の考えを持った人々の欺瞞によって運ばれます。悪賢い人は人を欺きます」（エフェソス 4:14）。一言で言えば、それは私たちのことを指します。

回心前の状態、「私たちは肉の欲望の中で生きていました...そして

自然の子らは、他の者たちと同じように、怒りの子たちである」(エペソ 2:3)。

「私たちが子どもだったとき」、「私たちは世界の基礎の下での奉仕者でした」。

「この世にあるすべてのもの、肉の欲望、人の欲望については、

人生の目と誇りは父からのものではなく、世からのものです。そして世界とその欲望

(ヨハネ第一 2:16,17)。「この世の友情は神に対する敵意です。「世との友情は神に対する敵対であることを知らないのか？」(ヤコブ 4:4)からです

現在の悪の時代」、キリストが私たちを救うために来られたということです。「誰にも騙されないように気をつけてね

人間の伝統に従って、哲学と無駄な機微を通して、

世の諸要素であって、キリストによらないものである」(コロサイ 2:8)。「下の」通路

「世界の初歩」とは、「この世界の流れに従って」歩き、「この中で」生きることで構成されています。

「私たちの肉の欲望の衝動、肉と思考の欲望を満たす」、「生まれながらにして怒りの子」です(エペソ2:1-3)。

それはガラテヤ人への手紙 3:22 に記されているのと同じ奴隷制です。

24:「信仰が現れる前」、私たちは「律法の下に閉じ込められていた」とき、「罪の下に」黙っていました。それは、

「キリストなしで、

イスラエル連邦から引き離され、約束の契約から離れた異国人であり、何も持っていない。

希望があり、この世には神がないのです」(エペソ2:12)。

1) 改宗した人たちは引き続き世界に属し、世界に従って歩みますか?

(ヨハネ 17:14)

A: \_\_\_\_\_

## 月曜日

誰もが相続人になることができます。神は人類を捨てたわけではありません。さて、いつ

最初に創造された人間は彼を「神の子」と呼びました(ルカ 3:38)、すべての人間は

相続人にもなる可能性があります。「信仰が生まれる前」、私たちは皆、

私たちは神から離れ、「私たちは律法によって守られていました」、厳しい戒律によって守られていました。

私たちが約束を受け入れるように導かれるかもしれないように、注意深く、従順に保たれています。何

神は悪人や神の奴隷となっている者にも祝福を与えます。

彼の子供たちに関しては罪。放浪息子、放蕩息子、しかし最初から最後まで常に息子だった  
終わり。神はすべての人を「愛する者のうちに受け入れられる」ようにされました(エペソ1:6)。現在の時間  
証拠は、当社に以下の機会を提供する目的で当社に提供されます。

私たちが神を父として知り、神の真の子供になれますように。私たちが愛してください

もし私たちが神に立ち返れば、私たちは罪の奴隷として死ぬこととなります。「そのとき、

時が来ました」キリストが来られました。ローマ人への手紙 5章6節には、次のような類似表現があります。

私たちは弱かったのですが、やがてキリストは悪人たちのために死んでくださいました。」キリストの死がもたらすもの

今日生きている人々と、当時生きていた同時代人たちの両方にとっての救い

神が肉体として現れる前のユダヤ。生きていた人々にそれ以上の影響はなかった

その世代では、彼は一度だけ死にましたが、彼の死の影響は同じです

いつでも。「時が満ちた時」とは、

預言はメシアが現れることを予言していたが、救いはすべての人に与えられる

いつでも男性。それは「天地創造以前から知られていたが、

それはこの終わりの時に現われました」(1ペテロ1:20)。もし神の計画があったとしたら

福音の一般的な目的によれば、私たちの時代にご自身を明らかにすることに違いはありません。「彼は常に生きて

います」(ヘブライ 7:25)、そしてこれからも生き続けるでしょう。「それは昨日も今日も永遠に同じです」(ヘブラ

イ人への手紙13:8)。それは「永遠の御霊によって」です。

私たちのために御自身を差し出しました(ヘブライ人への手紙9:14)。したがって、この犠牲は永遠であり、現在であり、

どの時代でも同様に効果的です。

1) 本当に神の子になれる人は何人ですか? (ヨハネ 1:12)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 火曜日

「女から生まれた」 - 神はご自分の御子を「女から生まれた」、つまり男性に遣わされました。

本物。彼は人間を苦しめるあらゆる病気や苦痛を生きて苦しみました。「ああ

言葉は肉となった」(ヨハネ1:14)。キリストはご自身を「の子」と呼びました。

このようにして、ご自身を人類全体と永遠に同一視したのです。労働組合

それは決して壊れることはありません。

「女から生まれた」ので、必然的に「律法のもとに」生まれなければならなかった。  
なぜなら、これは全人類の状態だからです。「したがって、すべてにおいて、  
兄弟たちのようになりなさい。そうすれば、彼は自分の行う事柄において慈悲深く忠実な大祭司となれるでしょう。  
それは民の罪を償うために神から出たものである」（ヘブライ人への手紙 2:17）。彼はすべてを自分自身で引き受けた  
もの。「彼は私たちの弱さを担い、私たちの苦しみを耐えました」（イザヤ書53:4）。私たちの  
病を患い、私たちの病気を負ったのです」（マタイ 8:17）。「私たちは皆、次のように道に迷ってしまいます」  
羊たち、それぞれが自分の道を歩きました。しかしエホバは罪を負われました。  
私たち全員です」（イザヤ書 53:6）。文字通り私たちの代わりに来て、重荷を背負って私たちを救い出してください  
私たちの肩から。「イエスには罪がなかったので、神は私たちが罪を犯してしまうように、私たちのためにイエスを罪とされたのです。」  
彼のうちに神の義を立てたのです」（IIコリント5:21）。

1) キリストが人間になったとき、私たちとどれくらい似ていましたか？（ヘブライ人への手紙 2:17）

A: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

## 水曜日

言葉の最大限の意味で、そして、時にはほとんど考えられない程度に、  
彼は人間の代わりになったという表現を使います。それは私たちの存在全体に浸透しており、  
ご自身を私たちと完全に同一化したので、私たちに触れたり、影響を与えたりするすべてのものは、触れ、そして  
ある人が別の人の代わりという意味では、それは私たちの代わりではありません。で  
たとえば、軍隊では、ある兵士が別の分野にいる別の兵士の位置に配置されます。しかし、キリストに代わるということは全く別の  
ものです。そうですか  
完全に私たちの代わりに来て、私たちはもう現れません。  
私たちは消えていき、「私はもう生きていないが、キリストが私の中に生きておられる」のです。入れましょう  
神のうちにいる私たちの必要を、私たちから取り上げて神に委ねるのではなく、  
苦痛を伴う努力ではありますが、私たちの本当の姿が無であることに謙虚になることで、  
重荷は彼だけにかかっています。

イエスがどのようにして「律法の下にある人々を贖う」ために来たのかがすでに分かります。・  
それは最も現実的で実際的な感覚で行われます。この表現が次のことを意味すると考える人もいます。

キリストはユダヤ人を犠牲を捧げる必要性、あるいは犠牲を捧げるすべての義務から解放しました。  
戒めを守りなさい。彼らにとって「律法の下」にいたのはユダヤ人だけだったので、  
キリストはユダヤ人だけを救い出すために来られました。私たちは自分自身が - または  
私たちは信者になる前から「律法の下」にいたのです。キリストがまさに救いのために来られたからです。  
それは「法律の下にあった」人々であり、他の人々ではありません。私たちと同じように「法律の下」にあること  
「見られる」とは、違反者として法によって非難されることを意味します。キリストは「呼びかけるために来られたわけではありません」  
義人であっても罪人である」（マタイ9:13）。しかし、法律は以下の者のみを非難します。  
その管轄下にある者、およびそれに従う義務を負う者。一方  
キリストは私たちが律法の非難から解放し、私たちが救って下さる人生を与えてくださったことは明らかです。  
法律の遵守。

1) 「法律の下」にいるのはどの人々ですか？（ガラテヤ 3:23 および 24）

A: \_\_\_\_\_

---

---

## 木曜日

「私たちが息子として養子縁組を受けることができるように」 - 「愛する人たち、私たちは今息子です」  
神のものです」（ヨハネ第一 3:2）。「イエスを受け入れたすべての人、またその名を信じた人々に、イエスは神の子となる権  
利を与えられたのです」（ヨハネ1:12）。根本的に違う状態です  
ガラテヤ人への手紙 4章3節（「私たちが子どもだったとき」）に記されているとおりです。その状況では、それは可能性があります  
私たちのことを「この人たちは反抗的で、律法に従おうとしない嘘つきの子供たちだ」と言いました。  
永遠のもの」（イザヤ書 30:9）。イエスを信じて「息子としての養子」を受けることによって、私たちは次のように描写されます。  
私たちが幼い頃に従った邪悪な欲望に従ってではなく、「従順な子供たち」として。  
無知（ペテロ第一 1:14）。キリストはこう言われました、「わが神よ、私は喜んであなたのご意志を行います。  
あなたの律法はわたしの心の中にあります」（詩 40:8）。したがって、彼が私たちの者になって以来、  
代替品、文字通り私たちの代わりになる、私たちの代わりではなく、私たちのところに来て、  
私たちの中で、私たちのために神の命を生きれば、神の律法が私たちの心の中にあることは明らかです。  
養子縁組を受けたとき。

1) 養子となり相続人となった神の子たちは、依然として神の律法に従わない。

神様？（テトス 3:3-7、ヨハネ 3:9,10）

A: \_\_\_\_\_

金曜日

6 そして、あなたがたは息子であるため、神は御子の御霊を私たちの心に送って、「アバ、父よ」と叫びました。

7 ですから、あなたはもはや召使いではなく、息子なのです。そして、あなたが息子であれば、あなたは相続人でもあります。神はキリストのために。

御霊が心の中に定住するとき、どれほどの平安と幸福をもたらすことでしょうか。のようなものではありません。一時的なゲストですが、唯一の所有者として。「こうして、信仰によって義とされたので、私たちは主イエス・キリストによって神との間に平和を保っています。」そうすれば、私たちは患難の中でも喜ぶことができます。神の愛は聖霊によって私たちの心に注がれているので、混乱しますが、わたしたちに与えられたのです（ローマ 5:1 と 5）。そうすれば、私たちは神が愛するように愛することができ、なぜなら、私たちは神の神性にあずかっているからです。「御霊ご自身が私たちのことを証してください。私たちは神の子であるという精神です」（ローマ 8:16）。「神の御子を信じる者は、ご自身のうちに証しなさい」（1ヨハネ5:10）。

「息子」[または「男の子」]には2つのクラスがあるのと同様に、2つのクラスの「サーヴァント」。この章の最初の部分では「少年」という言葉が使われています。まだ「指定された年齢[年齢]に達していない人」については、彼らは善悪を識別するために感覚を働かせていません（ヘブライ人への手紙5:14）。約束は彼らのため、そして「遠く離れたすべての人たちのため」（使徒言行録 2:39）、そして受け入れることによって、神性にあずかる者となるので（ペテロ第二 1:4）、したがって真実です。神の子供たち。「怒りの子」の状態では、彼らは神の召使ではなく、罪の召使になります。• クリスチャンは「僕」、つまり神の僕です。しかし、それは完全に機能します。罪の僕がサタンに仕えるのとは異なります。サーヴァントの性格による。彼が仕える主のために。この章では、「サーバント」という用語が使用されており、サーバントを指すものではありません。神の僕、つまり実際には息子ですが、罪の僕、つまり奴隷なのです。間に罪の奴隷と神の子には、深い違いがあります。奴隷はできない。何も持たず、自分自身をコントロールできません。これがその際立った特徴です。

逆に、自由に生まれた息子には、次のようにすべての創造物に対する支配が与えられます。

彼が自分自身で得た勝利を考慮して、原則。「忍耐強いほうが良い」

戦争の英雄よりも、その精神を支配する者よりも、

都市」(箴言 16:32)。

黙想するには: ローマ人への手紙 6:16-22

## 土曜日

放蕩息子が父親の家から遠く離れたとき、彼は召使いと何ら変わりませんでした。

実際、彼は最も日常的で単純な仕事を担当する使用人でした。私はその中にいた

彼が父親の家に戻ることを決心したときの状態、これ以上の待遇を受けるに値しないと感じた

召使のこと。しかし、父親はまだ遠くにいた彼を見つけて、走って迎えに行きました。

彼はすべての権利を失っていたにもかかわらず、彼を息子として、したがって相続人として迎え入れました。

遺産。同様に、私たちは子供と呼ばれる権利をすべて失います。

私たちは遺産を無駄にします。しかし、キリストにあって、神は私たちが真に受け入れてくださるのです。

そしてキリストが持っているのと同じ権利と特権を私たちに与えてくださいます。キリストがいるにもかかわらず、

今は天にあり、神の右にあり、「あらゆる統治、権威、権力、支配権を掌握しており、

この時代だけでなく、来たるべき時代においても、名前のあるすべてのものに適用されます」(エペソ 1:20)

そして 21)、神が私たちと分かち合わないものは何もありません。

憐れみ、私たちが死んでいたにもかかわらず、彼が私たちが愛して下さった大きな愛のおかげで、

私たちの罪を犯し、キリストと共に命を与えて下さった、恵みによってあなたは救われました、そして、

神は私たちをご自分とともによみがえらせ、キリストにあって天の場所に座らせてくださいました。

イエス」(エフェソス 2:4-6)。キリストは私たちの苦しみの中で私たちと一つです。

神の栄光の中で神と一つになりましょう。「神は謙遜な者を高められた」(ルカ1:52)。「あの貧しい人を立ち上がらせて、

塵を払い、貧しい人々を肥溜めから引き上げ、君主たちの中に座らせる。

彼に栄光の王座を継承させるため。地球の柱は主のものだから、

世は彼らの上に座ったのです」(1サムエル2:8)。地球上に富や富を持っている王はいない

その力は、主を父と認める最も貧しい人間のそれに匹敵するものです。

1) 神はなぜ私たちを神の子として認めようとしたのでしょうか? (ヨハネ第一 3:1)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



## 8採用-パート2

---

黄金聖句: 「これが、あの日の後にわたしが彼らと結ぶ契約である、と主は言われる。  
わたしはわたしの律法を彼らの心に置き、彼らの思いに書き記す」(ヘブライ人への手紙10:16)

### 日曜日

8 しかし、あなたがたが神を知らなかったとき、あなたは本来神ではない人々に仕えました。  
神々

使徒パウロはコリント人への手紙の中で次のように述べています。

異邦人よ、あなた方は導かれるように、愚かな偶像に導かれることを許しました。」

12:2) 。ガラテヤの人々にも同じことが当てはまりました。彼らは異教徒であり、偶像崇拝者であり、

最も下劣な迷信の奴隷となっている。この奴隷制度も同じであることを忘れないでください

前の章で学んだこと、それは「法律の下で」監禁されるという奴隷制です。すべての未改宗者が自分自身を見  
つけるのは、この奴隷制度の中にあります。 2番目と3番目では

ローマ人への手紙の章には、「すべての人が罪を犯しているので、違いはありません」と書かれています。ユダヤ人  
個人的な経験を通して主を知らなかった人たちも、この中にいたのです。

奴隷制 : 罪の奴隷制。 「罪を犯す者は誰でも奴隷です。

罪」(ヨハネ 8:34) 。 「罪を犯す者は悪魔に属します」(ヨハネ第一 3:8) 。 "何

異教徒のいけにえ、彼らは神ではなく悪霊にいけにえを捧げます」(1コリント10:20) 。何

それはキリスト教的ではなく、異教的であり、中間点はありません。クリスチャンが棄教すると、彼は  
異教の。

私たち自身も「王子によれば、この世界の流れに従っていた」

それは、不従順の子らの中に今働いている霊、空気力である」(エペソ2:2) 。 "それから

私たちもかつては、愚かで、不従順で、迷い、あらゆるものの奴隷でした。

情熱と快楽、悪意と妬みの中で生き、憎しみと憎しみ合い。」

(テトス 3:3) 。 私たちもまた、「別の時代、私たちが神を[知らなかった]とき、[私たちは神に仕えました]」

本質的に神ではない人々。」愛が残酷であればあるほど、抑圧的になる

奴隷制。自分の奴隷になることの恐怖をどのような言語で説明できるだろうか

腐敗[サタンによって私物化された個人の腐敗]?

9 しかし、神を知った今、あるいはむしろ神に知られている今、どうやって、もう一度望んでいる、あの弱くて貧しい初歩の状態に戻るのでしょうか。

仕える？

男性が投獄されたままであることを好むのは驚くべきことではないでしょうか？キリストが来られた「捕虜には自由を、囚人には牢獄の開放を宣言するため」（イザヤ書 61:1）こう言っています。

囚人たちには「出てきなさい」、暗闇にいる人々には「現れなさい」（イザヤ書49:9）。しかし

この言葉を聞いた人の中には、救われて太陽の光を見た人もいた。

彼らは正義を守り、自由の喜びを享受した後、刑務所に戻ることを好みます。

彼らは再び鎖の締め付けを感じたいと切望し、過酷な労働を選択します。

私の罪。確かに、刺激のないシーンです。男は見せることができる

死そのものを含め、最も忌まわしいものへの執着。なんて生々しい描写なんだろう

人間の経験の！

1) 一度回心したのに背教した人々はどのような状態ですか？（二ペテロ 2:20-22）

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 月曜日

10 あなたがたは、日、月、時、年を守ります。

11 私はあなたのために心配しています。2 私があなたがたのために働いたのが無駄ではないかと。

この点において、私たちは異教徒の危険に劣らず危険にさらされています。誰でも自分自身を信頼するということは、神ではなく自分の手の働きを崇拝することです。そうですか  
像や彫刻の前にひれ伏すのと同じくらい確実です。人間にとってそれは  
自分が想定されている賢明さ、自分を管理する能力を信頼するのは非常に簡単です。  
問題。彼は、賢者の考えさえも無駄であることを忘れがちであると感じています。  
神の力以外に力はないということ。「賢者は自分の知恵を誇ってはならないし、人間も

強い者はその力において、また金持ちはその富において。しかし、誇る者はこれを誇ります。

私を知り、私が主であり、私が慈悲と裁きと正義を行使することを知ることによって

地球;わたしはこれらのことを喜んで、と主は言われる」(エレミヤ 9:23,24)。

1) ガラテヤの人々は、祝日と季節を守るために自分たちの働きを信頼していました。

ユダヤ人は義とされ、救われます。その際、その時の彼の状態はどうだったのか

神の目？ (ガラテヤ 5:4)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 火曜日

12 兄弟たち、どうか私のようにしてください。私もあなたと同じだからです。あなたは私に何の害も与えていません。

13 そして、あなたがたも知っているように、私は心が弱っていたときに、最初にあなたがたに福音を宣べ伝えました。

肉;

14 そして、あなたは私の肉体におけるこの誘惑を拒否したり軽蔑したりせず、むしろ私を神の天使として、イエス・キリストご自身として受け入れてくださいました。

15 では、あなたの幸いとは何でしょうか。というのは、もし可能であれば、あなたは自分の目をくり抜いて私に提供してくれるだろうと、あなたに証言します。

16 私は真実を話してあなたの敵になったでしょうか。

17 彼らはあなたに対してねたみを抱いていますが、そうではありません。しかし、彼らはあなたを排除したいので、あなたが彼らに熱心になるようにします。

18 熱心であるのは良いことですが、それは常に益のためであり、私がいるときだけではありません。

あなたと。

19 わたしの幼い子供たちよ、キリストがこの世に来られるまで、私は彼らのために再び働きます。

あなたの中に形成されたもの：

20 私は今、あなたがたと一緒にいて、声を変えたいと思います。私はあなたのことで当惑しているからです。

\_\_\_\_\_

使徒は神とキリストによって遣わされ、彼らに次のようなメッセージを伝えました。  
人間ではなく神です。それは神の御業でした。パウロは謙虚な人にすぎませんでした  
神がご自身を運ぶ手段として選ばれた「土の器」である道具  
輝かしい恵みの福音。ですからパウロは自分の福音を聞いても腹を立てませんでした。  
拒否されました。「あなたは私に何も悪いことをしていません」と彼は彼らに言いました。彼はその努力を後悔しなかった  
彼は時間を無駄にしたという意味でガラテヤ人への手紙に捧げたが、そうでなければ彼は恐れた  
彼らのために。彼は、自分に関する限り、自分の仕事が無駄になったのではないかと心配した。  
この兄弟たちの興味は。

心からこう言える人、「主よ、私たちにではなく、あなたの御名に」  
あなたの憐れみと忠実さのために、栄光を帰してください」（詩篇115:1）決して  
メッセージが受信されないと個人的に気分を害するでしょう。誰がいつ怒るのか  
あなたのメッセージは軽視され、無視され、またはあなたの教えや実証を嘲笑して拒否されます。  
あるいは、彼らが神の言葉と話していること、あるいは自分たちが神の言葉と話していることを忘れてしまう。  
自分で選んだ言葉を混ぜたり置き換えたりできます。

過去には、この個人的なプライドが迫害を引き起こし、公言する人々を墮落させました。  
キリスト教会。人々は立ち上がり、弟子たちを引き寄せるために邪悪なことを言いました。  
自分たちの発言ややり方が拒否されると、彼らは腹を立てて復讐した  
いわゆる「異端者」に対して。敬虔な人は絶えず次の質問をしなければなりません。  
「私は誰に仕えているのですか？」もし彼が神のもとへ行けば、彼は自分のメッセージを伝えることに満足するだろう。  
神はそれを彼に勧め、それが当然のものである神に復讐を委ねました。

1) 私たちが真理を説いて人々がそれを拒否するとき、彼らは誰を拒否しているのでしょうか？  
事実？（ルカ 10:16）

A: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

水曜日

パウロの肉体的苦痛- 本書に含まれる付随的な記述より

この書簡から、特定の歴史的詳細を推測することができます。ガラテヤに立ち寄る理由は、健康を害したパウロは、「実演しながら福音を宣べ伝えた」  
霊と力」(1コリント2:4) それで、ガラテヤの人々は彼らの中にキリストを見た、  
十字架につけられたように。そして彼を受け入れたとき、彼らは聖霊の力と喜びに満たされました。あなたの  
主にある喜びと祝福が公の証言の対象となり、その結果、  
その結果、彼らは顕著な迫害を受けました。しかし、彼らはそれを自慢しませんでした。「弱い」にも関わらず、  
パウロの出現(1コリント2:1-5および2コリント10:10参照)、彼らは彼を次のように受け入れました。  
神の使者であり、彼らに良い知らせをもたらしたからです。とても熱心に  
パウロが彼らの前で広げた豊かな恵みを高く評価しました。  
自分の目で苦しみを解決できたなら。

パウロはガラテヤの人々に、自分たちがどこに落ちたかを見て、彼らができるようにと勧めました。  
使徒の誠実さに感謝します。その日までに彼は彼らに真実を伝え、彼らは  
彼女を喜ばせた。同時に敵になるということは考えられない。  
これと同じ真実を彼らに暴露し続けてください!

しかし、これらの個人的な言及にはそれ以上のものが含まれています。パウロがそうであるとは考えられません  
自分の苦しみや状況について言及したとき、個人的な同情を熱心に求めた  
彼が彼らの間で働いたときの不利な条件。一瞬たりとも彼は見失わなかった  
この手紙の目的は、「肉には何の利益もない」(ヨハネ6:63)ということを彼らに示すことでした。  
良いものはすべて神の御霊から来るとのこと。ガラテヤ人への手紙は「  
精神」。ポールは初めて彼らに会ったとき、次のような症状に苦しんでいました。  
特定の身体疾患。すべてにもかかわらず、彼は非常に力強く福音を宣べ伝えました。  
目には見えないものの、誰もが彼の近くにある本当の存在を認識することができました。

福音は人からではなく、神から来るのです。彼を知ることは彼らに与えられていなかった  
肉によって。したがって、彼らは受けた祝福に関して、決してイエスに恩義を感じていませんでした。  
何という盲目だろう!彼らは自分自身の力でそれを手に入れようとしていた、何という愚かさだろうか  
神の力だけが与えられる努力です!私たちはすでにこの教訓を学んだのでしょうか?

1) 私たちはどのようにして神に仕え、従うことができるのでしょうか? 神の霊によって、あるいは私たちの力によって  
自分の努力?(フィリピ 3:3)

A: \_\_\_\_\_

---

## 木曜日

あなたの喜びはどこにありますか？ - 主を知っている人なら誰でもそれを知っています。  
彼を受け入れることには喜びがあります。晴れやかな顔と陽気な（楽しい）証言が期待されます  
改宗する人。ガラテヤの人たちにも同じことが起こりました。でも今は、それが  
感謝の表現は口論や激しい論争に取って代わられた。あ  
初恋の喜びと温かさは徐々に消え去っていきました。そんなことは決してない  
起こるべきだった。

「義人の道は、満ちるまで増していく夜明けの光のようだ」  
日」（箴言 4:18）。義人は信仰によって生きます。信仰から離れたり、信仰を行いに置き換えたりすると、  
光が消える。イエスは、「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あ  
なたがたの喜びが満ちるためである」（ヨハネ15:11）と言われました。生命の源には無理だ  
なくなる。流れは決して衰えることはありません。だからもし私たちの光が消えて、私たちの喜びが歩き始めたら  
単調で厳格なルーチンの場合、道から外れても安心できる  
人生の。

1) 私たちが人生の道を歩んでいることの証拠は何ですか？（ヨハネ第一 3:14）

A: \_\_\_\_\_

## 金曜日

21 教えてください、律法のもとに置かれようとする者よ、あなたは律法を聞かないのですか。

22 アブラハムには二人の息子がおり、一人は奴隷の女との間に、もう一人は自由の女との間に生まれたと記されているからである。

23 しかし、奴隷の女から生まれた者は肉に従って生まれたが、自由の女から生まれた者は肉に従って生まれたのである。  
約束により。

24 たとえ話の意味: これらは 2 つの契約であるからです。1 つはシナイ山から奴隷として子供を産むことであり、それがハガルです。

25 さて、このハガルはシナイ山、アラビアの山で、現在のエルサレムに相当します。彼女は子供たちとともに奴隷だからです。

26 しかし、上にあるエルサレムは自由です。私たち全員の母親は誰ですか。

27 「陣痛のない者よ、喜び叫びなさい。」と書いてあるからである。なぜなら、捨てられた女性の子供たちは、夫がいる女性の子供たちよりも多いからです。

自分たち以外の誰もが見ることができる多くの恋路は、直接つながっています  
死。自分の進路の結果を自分の目で熟考した結果、  
行動し、持続し、意図的に「罪による一時的な喜び」を選択する  
「時代の義」と「日の長さ」の場所。神の「律法の下に」いるということは、  
彼女は罪人として非難され、投獄され、死刑を宣告された。ただし、何百万もの  
人々、そしてガラテヤ人もまた、そのような状態を望んでおり、望んでいたのです。もしそうなら  
法律の言うことを聞いてください！そしてそうしない理由はない  
法律が耳をつんざくような声で表現されている限り、そうすべきだ。「耳のある者は聞いてください。」

「奴隷とその息子を追い出さなさい。奴隷の息子は相続人にならないからです」  
自由な女の息子と一緒に」(30節)。法律は、それに喜びを感じるすべての人の死を命じています。  
世界の「弱くて貧しい要素」。「そこに留まらない者は皆呪われる」  
律法の本に書かれていることはすべて」(ガラテヤ 3:10) 哀れな奴隷はキャストされなければならない  
「外は真っ暗。泣き叫び、歯ぎしりが起こるだろう」(マタイ 25:30)。「見よ、彼が来る」  
その日は炉のように燃えます。高慢な者も悪事を働く者も皆  
彼らは無精ひげのようになるだろう。来る日は彼らに火をつける、と万軍の主は言われる、  
根も枝も残さない運命だ。」したがって、「次の法則を覚えておいてください。」  
私のしもべモーセ、私はホレブで全イスラエルのために彼に処方しました、すなわち、  
法令と判決」(マラヤ 4:1,4)。「ユダヤ人であろうとなかろうと、「律法の下にある」すべての人は、  
異邦人、キリスト教徒、異教徒はサタンの束縛、あるいは罪の束縛にさらされています。  
法の外に放り出されるのです。「罪を犯す者は皆、罪の奴隷です。そしてその  
奴隷は永遠に家に残るわけではないが、息子は永遠に残る」(ヨハネ8:34と  
35)。ですから、私たちを養子として迎え入れてくださった神に感謝しましょう。

偽教師たちは兄弟たちに、もし信仰を捨てたら、と説得しようとした。  
キリストにおいて誠実であり、自分たち自身が行うことができる業を信頼していれば、彼らは次のようになります。  
アブラハムの子供たち、したがって約束の相続人です。「肉体的には子供ではない」  
彼らは神の子ですが、約束の子たちは子孫として数えられます。」  
(ロマ 9:8)。アブラハムの二人の息子のうち、一人は肉によって生まれ、もう一人は肉によって生まれました。

「約束」によれば、彼は聖霊から生まれました。「サラ自身、信仰によって、この世の外で、彼女は年をとってから母親になる力を得ました。約束したことを忠実に守っていると信じていたからです。」（ヘブル11:11）。

ハガルはエジプトの奴隷でした。奴隷女性の子供たちは常にたとえ父親が自由だったとしても、奴隷だった。したがって、ハガルが生成できるのは次のとおりです  
奴隷たち。

しかし、少年の僕イシュマエルが生まれるずっと前に、主は現れました。アブラハムにとって、彼は自由の妻であるサラから生まれた、彼自身の自由の息子であることは明らかです。誰がその約束を引き継ぐのか。それが全能者の御業です。

1) 神の相続人である子供たちの特徴は何ですか？（ローマ人への手紙 8:14-17; エペソ人への手紙 1:13 と 14)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

「彼らは2つの契約を表しています」 - 2人の女性、ハガルとサラは、二つの協定。ハガルは「奴隷として子供たちを産んだ」シナイ山であると書かれています。ハガルが奴隷の子供しか生み出せなかったのと同じように、律法、つまり神が定めた律法は、シナイで宣言された - 自由な人間を生み出すことはできません。それ以外のことはできませんそれは、「律法が怒りを生むから」、「律法によって、罪の知識」（ローマ 4:15; 3:20）。シナイでは人々は法律を守ると約束したそれは彼らに与えられたものでした。しかし、彼ら自身の力では、彼女に従う力がありませんでした。シナイ山は約束があったため、「奴隷としての子供たち」を生んだ。自分の行いによって義人となった人たちは、これまでうまくいかなかったし、決してうまくいきません。

この状況を考えてみましょう。人々は罪の奴隷になっていました。彼らは持っていませんでしたその鎖を断ち切る力。そして法律の公布によってこれは変わらなかった状況。犯罪を犯して刑務所に収監されている場合、その事実を理由に釈放することはできません。

彼に法令を読んでもらいます。彼を刑務所に送り込んだ法律を読むと、  
あなたの捕らわれの状態をさらに苦痛にします。

では、彼らを奴隷状態に導いたのは神ではなかったのでしょうか？いいえ、確かに、そうでない限り、  
決して彼らにシナイでその協定を結ばせるように誘導したわけではありません。四百三十年  
以前にアブラハムと契約を結んでいましたが、それはどのような状況においても完全に十分でした。  
視点。この契約はキリストにおいて確認されたものであり、したがって、それは後にもたらされた契約であった。  
「上から」(ヨハネ8:23)。それは信仰を通して神からの無償の贈り物として義を約束しました。  
すべての国が含まれていました。神が子供たちを解放するために行ったすべての奇跡  
エジプトの奴隷制度から解放されたイスラエルは、神の力を実証しただけでした。  
彼らを罪の奴隷状態から解放してください。そうです、エジプトからの解放はそれだけではありませんでした。  
それは神の力の実証であるだけでなく、彼らを解放したいという神の願望の実証でもあります。  
罪の奴隷状態。

このようにして、人々がシナイに行ったとき、神は彼らに何が起こったかを伝えることに限定されました。  
彼らに代わってそれを行い、彼らに言った、「もしあなたが私の声に耳を傾け、私の声を守ってくれるなら」  
契約よ、あなたはすべての民の上にあるわたしの特別な宝となるでしょう、全地はわたしのものだからです」(出エジ  
プト記19:5)。どのような協定について言及していましたか？明らかに、すでにその協定は、  
アブラハムとの契約以前から存在していました。もし彼らが神の契約を守るだけなら、  
もし彼らが信仰を保ち、神の約束を信じていたなら、彼らは特異な民族となっていたでしょう。で  
地球全体の所有者として、彼は地球の利益のためにあらゆることを成し遂げることができました。  
約束通り。

彼らが自分自身で満足して、急いで自分自身のことを続けたという事実  
これを現実にする責任は彼ら自身にあります、それは神が責任を負うということではありません。  
彼にこの協定を結ぶように勧めた。

エジプトを出たイスラエルの子らが「信仰の歩み」を歩んでいたなら  
「私たちの父アブラハムの」(ローマ 4:12)と信じていたとしても、彼らはこんなことができるなどと決して誇ることはなかったでしょう。  
シナイ島で公布された法律を守りなさい。なぜなら「アブラハムは法律を通してではなかったのですから」  
あるいは彼の子孫は世界の相続人になると約束されていたが、  
信仰の義」(ローマ 4:13)。信仰は正当化します。信仰は義人を作ります。もしイスラエルの人々がそうしていたら  
アブラハムの信仰があれば、彼らは彼の義を明らかにしたであろう。シナイでの法律は、  
「違反のため」に公布されたことはすでに彼らの心の中にあるかもしれません。出来た  
恐ろしい雷鳴を必要とせずに、彼の本当の状態を証明できたこと。一度もない

誰もが義によって義を得るべきではないというのが神の目的でしたし、今でもそうではありません。

シナイで公布された法律の内容、そしてシナイを取り巻くすべてのものはこれを証明しています。

それでも、法律は真実であり、遵守しなければなりません。神はイスラエルの民を解放した

「それは彼らが神の掟を守り、神の律法を行うためである」(詩 105:45)。いいえ

私たちは戒めを守ることによって命を得るのですが、神は私たちに命を与えてくださいます。

神への信仰によって彼らを守りなさい。

1) 神は私たちと結んだ契約の中で何を約束されましたか? (ヘブライ人への手紙 10:16 と 17)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

注: 本当の契約、つまり約束では、人は十戒を守ります。

信仰による神。

## 9採用-パート3

---

黄金聖句: 「本当に、本当に、あなたに言いますが、罪を犯す者は皆、罪の召使です。ですから、御子があなたを自由にくださるなら、あなたは本当に自由になるでしょう。」 (ヨハネ 8:34 および 36)

### 日曜日

2つの協定の並行性-使徒はハガルとサラについて、「これらの女性たちは2つの協定を代表している」と述べました。今日、2つの協定があります。時間の問題ではなく、状態の問題です。誰も、古い契約の下にいることは不可能だと自慢し、今の契約の時は過ぎたと信じてはいけません。確かに時は経ちましたが、それは「解散、情欲、乱交、酩酊、そして忌まわしい偶像崇拜の中を歩んできたあなたが異邦人の意志を実行するには、過ぎた時間が十分である」という意味でのみです。 4:3)。

この違いは、奴隷と自由な女性の間に見られる違いと同じです。あ  
ハガルの子孫は、どれほど多くても、常に奴隷で構成されています。  
一方、サラの子供たちは自由な子供たちになります。つまりシナイ契約は奴隷制度をもたらす  
「律法のもとに」それを遵守するすべての人に対しては、上からの契約が与えられます。  
解放をもたらします。それは法への服従からの自由をもたらすのではなく、法への違反からの自由をもたらします。  
自由は法の外にあるのではなく、法の中にあるのです。キリストはその呪いから救い出してください。  
それは私たちが祝福を受けるために律法を犯すことにあります。そして祝福  
法律の遵守から成ります。「自分の道において非難のない人たちは幸いです。  
主の律法に従って歩みなさい」(詩 119:1)。その祝福とは自由です。「私は自由に歩みます、  
私はあなたの戒めを求めたからです」(詩 119:45)。

1) 使徒ヤコブは律法をどのように考えましたか。(ヤコブ 1:25)

A: \_\_\_\_\_

---

### 月曜日

2つの規約の対比は次のように簡単に表現できます。

シナイで結ばれた契約では、私たちは法律そのものに対処しなければなりません、上からの契約では、私たちにキリストにある律法があります。最初のケースは私たちにとって死を意味します、法律はもっと重要で、両刃の剣よりも鋭く、私たちはそれを扱うことができません。致命的な結果。しかし、2番目のケースでは、「調停者を通じて」法律が適用されます。で最初の状況は、私たちに何ができるかです。第二に、御霊は何ができるでしょうか？神様のもの。

この手紙のどこにも、法律に従うべきかどうかについては言及されていないことに注意してください。唯一の問題は、法律への遵守はどのように達成されるのかということです。それは私たち自身のことで、その報酬が恵みではなく、借金となるように働くのか？それともそうなるだろうか？神は私たちの内に働いて、意志と行動の両方を行ってくださっていますか？

1) 神の義は神の戒めです (詩篇 119:172)。男のように正義を達成しますか？ (ローマ人への手紙 9:30-32)

A: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 火曜日

シナイとシオンの対照- 契約が2つあるのと同じように、契約も同様です。これらが属する都市は2つあります。「現在の」エルサレムは古い契約に属しており、シナイ山。それは決して無料ではありませんが、神の都市、新しい都市に取って代わられるでしょう。天から降ってくるエルサレム (黙示録 3:12; 21:1-5)。それはアブラハムが憧れた都市であり、「彼は、神が建築家であり建設者である基礎を備えた都市を待っていたからです」(ヘブライ 4:3)。11:10; アポック。 21:14, 19, 20)。

大きな希望を、すべての希望を、に託している人がたくさんいます。現在のエルサレム。「そして今日に至るまで、モーセの手紙が読まれるとき、心にベールがかけられます。彼らのうちです」(2コリント3:14)。実際、彼らは今もシナイ山と山からの救いを待っています。古い協定。しかし、彼女がいるのはそこではありません。「なぜ、あなたは火に到達していないのですか？」

明白に燃え、暗闇に、暗闇に、嵐に、そしてラッパの吹き音に、そして  
その言葉を聞いた人々は、もう話しかけられないでほしいと懇願したほどだった。  
なぜなら、彼らはもはや命令に耐えることができなかったからだ。「たとえ動物であっても、山に触れれば、  
石を投げた。実際、その光景はあまりにも恐ろしいものだったので、モーセはこう言いました。  
怖くて震えてしまいました！しかし、あなたはシオンの山と生ける神の都に来ました。  
天のエルサレム、そして無数の天使たち、そして万国集会と教会に。  
天に生まれた初子、すべての審判者である神、そして義人の霊に  
完全にされた者、そして新しい契約の仲介者であるイエスと、語りかけるふりかけられた血に対して  
アベル自身が語ることよりもすぐれたことを言うのです」（ヘブライ人への手紙12:18-24）。祝福を待っているもの  
現在のエルサレムは古い契約とシナイ山に依存しています。  
奴隷制。しかし、祝福を望みながら新しいエルサレムに向かう崇拝者は誰でも  
それだけで、新しい契約、シオンの山、そして自由にしがみついているのです。  
上から見たエルサレムは……自由だ。」何から無料ですか？罪から。そして、「彼女は母親です」  
私たち全員」は私たちを再び生み出し、私たちも罪から解放されます。  
法律から自由ですか？そうです、確かに、律法はキリストにある人々を罪に定めないからです。

しかし、誰かが空虚な言葉であなたを誘惑することを許可しないでください。  
あなたは今、神がシナイ山で威厳をもって宣言されたその律法を踏むことができます。  
シオンの山に、新しい契約の仲介者であるイエスに、そして血潮に来る  
振りかけると、私たちは罪や法律違反から解放されます。「シオン」では、  
神の王座は神の法です。彼の玉座からは同じ光線、雷鳴、声が発せられる  
(黙示録 4:5; 11:19) 同じ法律がシナイから来たのです。しかし、それは約です  
「恵みの御座」(ヘブライ人への手紙 4:16)。だから、雷が鳴っても、私たちは神のところに來ることができず  
神のうちに憐れみと恵みを見出すという自信を持って、私たちもまた恵みを得るでしょう  
小羊の御座から「犠牲にされた」ので、誘惑の時の絶好の瞬間  
(黙示録 5:6)、キリストの心から出て、私たちにもたらす命の水の川が流れます。  
命を与える御霊の法則」(ローマ 8:2)。それを飲みましょう、それに飛び込みましょう、そうすれば私たちはなるでしょう  
すべての罪から清められます。

1) 神は、新しい契約の成就を指して、どのような輝かしい約束をされましたか。  
私たちの生活？(ゼカリヤ書 13:1 と 2)

A: \_\_\_\_\_

---

なぜ主は民を直接シオン山に連れて行かなかったのでしょうか。

法律が意味するシナイ山に彼らを連れて行くのではなく、命としての法律を見つけてください。

死だけ？

それは非常に論理的な質問であり、あなたの答えも論理的です。それはあなたのせいです  
不信仰。神がイスラエルをエジプトから導き出したとき、神の目的は彼らを連れ出すことでした。

シオンの山へ直行し、紅海を渡った後、彼らは歌を歌いました

その聖句の一つには次のように書かれています。

あなたは保存した;あなたはあなたの力で彼をあなたの神聖な住まいに連れて行きました。」「あなたがそれを持ち込んで、  
あなたはそれをあなたの相続地の山、主よ、あなたの住まいとして備えられた場所、主よ、あなたの手で定められ  
た聖所の中に植えなさい」(出エジプト記15:13,17)。

もし彼らが歌い続けていたら、シオンの山に非常に近づいていただろう。

なぜなら、「主の贖われた者が戻ってきて、叫び声を上げながらシオンに来るでしょう。そして永遠の喜びです」  
喜びと楽しみが彼らを追い越し、悲しみと不幸が彼らから逃げ去るでしょう。

うめきます」(イザヤ 35:10)。紅海を渡ったことがこれを裏付けました(イザヤ書 51:10,11)。しかし  
やがて彼らは主のことを忘れ、不信仰になってつぶやきに明け暮れました。当たり

したがって、「それ[律法]は罪のゆえに与えられたものである」(ガラテヤ3:19)。それは彼らでした - あなた  
罪深い不信仰 - そのため、シオンに行く代わりにシナイ山に行く必要が生じました。3

それにもかかわらず、神は彼らからご自身の忠実さの証を奪うことはされませんでした。シナイでは法律が  
それは同じ仲介者であるイエスの手中にあり、私たちがそこに行くときに頼るのはイエスです。

シオン ホレブ (またはシナイ)の岩からは、キリストの心からの生ける水の泉が流れ出ており、「その岩はキリ  
ストであった」(出エジプト記 17:6、1コリント 10:4)。彼らがいる前に

シオン山の現実、そこに心を主に向けたすべての人、

まさにモーセのように、バールなしで神の栄光を観想し、それによって変えられるだろう。

「非難する省」の代わりに「正当化をもたらす省」を見つけるだろう

(2コリント3:9)。「あなたの愛は永遠です」同じ危険な雲からも

稲妻と雷鳴から生じた怒りが正義の太陽の輝かしい顔を輝かせ、

約束の虹を作ります。

1) パウロは、信者は信仰によってどこに到達するのでしょうか、と言いました。（ヘブライ人への手紙 12:22 と 23）

A: \_\_\_\_\_

---

## 木曜日

28 しかし、兄弟たち、わたしたちはイサクと同じように約束の子です。

29 しかし、当時、肉によって生まれた者が御霊によって生まれた者を迫害したのと同じように、今も同じです。

30 しかし、聖書には何と書かれているのでしょうか。奴隷とその息子を追い出さない。奴隷の息子は決して自由な女性の息子と一緒に相続することはできないからです。

31 したがって、兄弟たち、私たちは奴隷の子ではなく、自由人の子です。

全身全霊で励ましの言葉を！あなたは罪人でした。せいぜい

あなたはクリスチャンになろうとしているのに、「奴隷を追い出せ」という言葉を聞くと震えてしまいます。あなた

自分が奴隷であること、罪が彼を囚人に行っていること、そして悪の束縛があることを理解している

習慣はあなたを縛り付けます。主がこう言われるとき、あなたは恐れないことを学ばなければなりません。

彼が耳をつんざくような声で平和を宣言するとき！あなたの声が怖ければ怖いほど

平和は必ず得られるかもしれない。元気づける！

奴隷の子は肉であり、その働きである。「肉と血は受け継がれない

神の王国」（1コリント15:50）。しかし神は、「奴隷とその子を追い出せ」と言われます。もし

神の意志が天国で成就するように、あなたにも成就することを望んでいます、神は何をなさるでしょう

肉とその働きを取り除くために必要です。あなたの人生は「束縛から解放されます」

神の子らの輝かしい自由に参加するためである」（ローマ 8:21）。それ

あなたをあんなに怖がらせたその言葉は、悪霊に命令する声に過ぎません

それをあなたから離れて、二度と戻らないようにしてください。すべての罪に対する勝利を宣言します。

信仰によってキリストを受け入れ、神の子、神の国の相続人となる力を得る

不死であり、それは住民とともに永遠に残ります。

1) 神の約束を信じる人たちは誰の子供ですか？（ガラテヤ 3:28 および 314）

---

A: \_\_\_\_\_

---

金曜日

「だからしっかりしなさい」 - どこで自分を保たなければならないのでしょうか？自由の中でキリストは主の律法を心の中に持っていたので、それを喜んでいらっしやいました（詩 40:8）。

「命を与える御霊の法則であるキリスト・イエスを通して、神は私を罪の法則から解放し、死」（ローマ 8:2）。信仰によってのみそれを守りましょう。

この自由の中には奴隷制度の痕跡はありません。それは完全な自由です。そして魂の自由、思想の自由、そして行動の自由。いいえ法律を遵守できるようにするだけでなく、次のことも提供します。それを達成することに喜びを見出す心。法律を遵守していないからといって、それを遵守するということではありません。私たちは懲罰を逃れる別の方法を見つけました。それは奴隷制の中で最も辛いことです。実際、神の契約は彼女の奴隷状態から私たちを解放します。

信仰によって受け入れられた神の約束は、私たちの中に御霊の心を生み出します。私たちは神の言葉のすべての戒めに従うことに最大の喜びを見いだします。魂鳥が山の頂上を飛ぶ自由を体験してください。それは、神の広大な宇宙の幅、深さ、高さの充満を備えた神の子の輝かしい自由です。それは必要のない人の自由です

監視されているのではなく、むしろ、あらゆる状況において信頼に値する人たちです。彼らが踏み出す一歩は、神の聖なる律法の行為に他なりません。なぜ準拠するのか？奴隷制よ、この制限のない自由はいつからあなたのものになるのですか？刑務所の扉大きく開いています。神の自由の中を歩みましょう。

1) 聖霊は人間を「完成」させるとき、何をもたらしますか？（コリント人への第二の手紙 3:17）

A: \_\_\_\_\_

---

2) キリストは御霊によって私たちにどのような自由を与えてくださいますか? (ヨハネ 8:33,34,36)

A: \_\_\_\_\_

---

私はすでに暗い世界を離れています。

私はキリストのものであり、彼は私のものです。

私は喜んであなたの道に従いました、

私は常に神に忠実でありたいと思っています。

私は幸せです 私は幸せです！

そして彼の恵みの中で私は楽しみます。

自由と光の中で私は自分自身を見つけた

私の中で信仰が勝利したとき、

そして深紅の豊かさ、

私の病気の魂の健康はそうでした。

(TM ウェストルブ、#330)

土曜日：

黙想するには: ローマ人への手紙 8:14-23

## 10霊は救いを容易にする

---

黄金の聖句: 「ですから、キリストが私たちに自由にしてくださった自由の中でしっかりと立ちなさい。再び奴隷のくびきにさらされないでください。」(ガラテヤ人への手紙 5:1)

瞑想するには: 「キリストが罪のいけにえとして十字架で死んだ後、律法は儀式はもはや無効になる可能性があります。しかし、それは道徳律と結びついており、素晴らしい。全体は神性の印を持ち、神聖さ、正義、そして正義を表現しました。神。そして、終わりを迎える神権時代の奉仕が輝かしいものであったなら、それはなおさらでしょう。キリストが現され、すべての者にそれが与えられるとき、それは輝かしい現実となるはずで、命を与え、聖化する神の霊を創造しますか？」(ME 1,238 ページ)

## 日曜日

しかし今、あなたは罪から解放され、神の僕とされたので、聖化に至る実を結び、最終的には永遠の命を得ることができます。ローマ人への手紙 6:22

第4章と第5章の関係は非常に密接であるため、その理由を想像するのは困難です。そのため、この時点でテキストが分割されました。

キリストが与えてくださる自由。キリストが肉体において現されたとき、その働きは彼の内容は「捕虜に自由を宣言し、囚人に刑務所を開放すること」であった。(イザヤ 61:1) 。彼が行った奇跡は彼の働きを実際に示したものでした。最も興味深いものの 1 つを考えることができます。

「私は土曜日にシナゴークの一つでイエス様を教えました。そして憑依された女性がやって来た18年間、病弱な精神から。彼女は腰をかがめていました。どうやってもまっすぐになれません。イエスは彼女を見ると、彼女を呼んでこう言われた、「女よ、あなたは病気から解放されています。そして彼女に手を置くと、彼女はすぐに身を正して神に栄光を帰しました」(ルカ13:10-13) 。

偽善的なシナゴークの支配者が、イエスがそうしたからといって不平を言ったとき、土曜日のこの奇跡を見て、彼は、各人がどのように牛や牛を飼っているのかを思い出させました。安息日には口バを飼い、彼らが水を飲むことができるようにした、そして彼はこう付け加えた。

このアブラハムの娘は、

サタンは18年間も獲物を捕らえていたのですか？」（16節）。

言及する価値のある側面が2つあります。サタンが女性を縛り付けていたことです。

彼女は「病弱な霊に取り憑かれて無力化されたのです。

を見つける前に、この説明が私たちの条件によく適合していることに注意してください。

キリスト：

(1) 私たちはサタンの捕虜であり、「彼の意志に捕らわれている」(2テモテ2:26)。

「罪を犯す者は皆、罪の奴隷です」(ヨハネ 8:34)、「罪を犯す者は悪魔に属します」(1ヨハネ 3:8)。「悪人については、その咎が彼を縛り、罪の縄で拘束されるであろう。」

(箴言 5:22)。「罪はサタンが私たちを縛り付ける鎖です。

(2) 私たちは「弱さの霊に取り憑かれており」、自分を正す力も、自分を縛り付ける鎖から自由になる力も決して持ち合わせていません。キリストが私たちのために死んでくださったのは、「私たちがまだ弱かったとき」でした(ローマ5:6)。ローマ人への手紙 5章6節で「弱さ」と訳されている用語は、ルカの記述で「弱さ」と訳されている用語と同じです。その女性は病気が衰弱していましたが、これは私たちの状態でもあります。

1) 罪から解放されたら、私たちはその実を得ることができるでしょうか？(ロマ 6:22)

R \_\_\_\_\_

2) 罪人を縛る縄は何ですか？(箴言 5:22)

R \_\_\_\_\_

## 月曜日

キリストは私たちが律法の呪いから救い出し、私たちにとって呪いとなりました。というのは、こう書かれているからだ。「木にぶら下がっている者は皆呪われている。(ガラテヤ 3:13)

1 - 私たちがキリストによって救われた律法の呪いとは何でしたか？(コリント第二 3:9)

R \_\_\_\_\_

イエスは私たちに何をしてくださったのでしょうか？私たちの弱さを取り、代わりに神の力を与えてください。「いいえ

私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司がいます。」

4:15)。「神ご自身が私たちの弱さを負い、私たちの病気を負ってくださいました」(マタイ 8:17)。

神は、あらゆる面で私たちと同じようにご自身を造られました。

すべては神が誰であるかに関係しています。「律法の下で人々を贖うために律法の下で」生まれました。  
(ガラテヤ 4:4 と 5)。神は私たちを呪いから解放し、ご自身を私たちの呪いにしてくださいました。  
私たちは祝福を受けることができます。イエスは罪を知らなかったにもかかわらず、次のような理由で罪になりました。  
それは、「私たちがキリストにあって神の義となるためです」(IIコリント5:21)。

なぜイエスはこの女性を病気から解放したのでしょうか。彼女を中に入れさせるために  
自由。それは決して彼が一人で自由にそれを続けるためではありませんでした  
以前は義務としてやらなければならなかったのと同じことをするでしょう。  
彼は苦痛な奴隷状態にあった。それは何のために私たちが罪から解放するのでしょうか？  
それは私たちが罪から自由に生きられるようにするためです。私たちは肉の弱さのせいで、  
法の正義を遂行する能力がない。したがって、肉において来られ、力を持っておられるキリスト  
肉の上で私たちを強めてください。神の強力な御霊を私たちに与えてください。律法の義が守られるようにしてください。  
私たちの中で実現できるのです。キリストにあって、私たちは肉においてではなく、御霊において歩むのです。いいえ  
私たちは神がどのようにそれを行うかを知ることができます。神はその力を持っておられるので、それを知っています。  
しかし、私たちはその現実を知ることができます。

2 - 女性は自分を正すために何をつかみましたか？ (ペテロ第一 1:23) \_\_\_\_\_

R \_\_\_\_\_

女性がまだ閉じ込められて、立ち上がる力がないとき、イエスは彼女にこう言われました。「婦人よ、あなたは  
病気から解放されています。』現在形です。彼  
彼は今日も私たちにこう言っています。すべての捕虜に自由を宣言します。

女性は「体をまっすぐにすることができずに曲がっていた」が、  
彼女はキリストの言葉を聞くとすぐに姿勢を正した。彼は「できなかったこと」をやったのです。  
「人間には不可能なことも、神には可能です」(ルカ18:27)。

行為を生み出すのは信仰ではなく、すでに事実であることを認識するのは信仰です。いいえ  
サタンが犯した罪の重みにひれ伏す魂は一人もいない  
鎖につながれている人を、キリストが支えてまっすぐにしてくださいませぬように。自由はあなたのものです。単に、  
それを利用しなければなりません。メッセージがあらゆる場所に響き渡りますように。すべての魂に知らせてください  
キリストが捕虜に自由を与えてくださるということ。良いよりはは何千人もの人々を喜びで満たすでしょう。

## 火曜日

「永遠なる神は、倒れる者をすべて支え、抑圧されている者をすべて持ち上げる」(詩 145:14)

キリストは失われたものを救い出すために来られました。私たちが呪いから救い出してください。償還されました- 私たち。神は私たちが救ってくださったのです。つまり、私たちが自由である自由は、かつて存在したものです。呪いが来る前に。人間は地球に対する支配権を与えられました。いいえ、それは単に最初に創造された人間に対してだけでなく、全人類に対してです。「神様がその日、神は人間を神に似せて創造しました。男と女を創造し、祝福した。そして、彼らが創造された日に、彼らをアダムという名前で呼びました(創世記5:1と2)。「そして神は言われた、「私たちのイメージに従って、私たちに似せて人間を造ろうではないか」類似性;彼に海の魚、空の鳥、地球を支配させてください。家畜、全地、そして地を這うすべての生き物の上に。したがって、神は人間をご自身の姿に似せて創造し、神の似姿に似せて人間を創造されました。男性と女性。それらを作成しました。そして神は彼らを祝福して言われた、「産めよ、増えよ、地に満ちよ」そしてそれを鎮圧する。海の魚、空の鳥、あらゆる動物を支配する。それは地を這うものです」(創世記 1:26-28)。すべての存在に支配権が与えられていることが分かります。人間、男性、女性。

1 - 神は初めに万物の支配権を誰に委任しましたか? (ヘブライ 2:7 と 8)

このドメインはどのようにして失われたのでしょうか? (ロマ 5:12)

R\_\_\_\_\_

神は人を造られたとき、「すべてのものをその足の下に置きました」(ヘブル2:8)。確かに、今、私たちはすべてのものが人間の支配下にあるというのを理解していません。

死の苦しみのゆえに、彼は栄光と名誉の冠を授けられました。神よ、すべての人に死を味わってください」(9節)。イエスはすべての人を罪から救ってくださる失われた支配の呪い。王冠は王国を暗示しており、キリストの王冠はそれは、神が人間に神の働きを支配するよう勧めたときに人間に与えられたものと同じものである。あなたの手。人間として、肉体を持って、復活して存在した後、キリストは昇天の際にこう宣言されました。「天と地におけるすべての権威がわたしに与えられています。したがって、行きなさい」(マタイ 28:18,19)。私たちは彼の中で失われたすべての力を与えられます。罪。

キリストは人間として、私たちのために死を味わい、十字架を通して私たちを罪から救い出してくださいました。  
呪い。もし私たちが彼とともに十字架につけられたなら、私たちは同様に復活し、  
天上の場所で主とともに座り、すべてのものを私たちの足の下に置いています。

2 - どうすれば私たちは天国の場所に座ることができるのでしょうか？（エフェソス 2:6）

R \_\_\_\_\_

私たちがこれを知らないとしたら、それは私たちが御霊にそれを明らかにしてもらっていないからです。目  
私たちの心の中の人御霊によって啓発されなければなりません。  
神の召しの希望、聖徒たちに受け継がれた神の栄光の富とは何であろうか。」

（エフェソス 1:18）。

## 水曜日

「罪があなたの死ぬべき肉体を支配して、その邪悪な欲望に従わせないでください。」  
（ロマ 6:12）

キリストにあって、私たちは罪に対して権威を持っているので、罪には何の罪もありません。  
私たちが支配します。

神が「ご自分の血によって私たちを罪から解放した」とき、私たちが王と祭司にされました。  
神とその父に」（黙示録 1:5 と 6）。輝かしい支配力 !輝かしい自由 !リリース  
呪いの力に包まれても !今世紀の解放  
悪、肉の欲望、目の欲望、そして人生の誇り !  
「大気力の君主」(エペソ2:2)も「この暗い世界の支配者」(6:12)も、私たちが支配することはできません。自由と権  
威こそが、  
キリストが「サタンよ、去れ」と命じた時（マタイ4:10）。そして悪魔は彼を去った  
すぐに。

1 - キリストは私たちを罪から解放してくださいましたが、それ以上に私たちを造ってくださいました。 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_（ペテロ第一 2:9）

それはあまりにも自由なので、天上でも地上でも私たちに前進を強制するものは何ともありません。私たちの選挙に反対です。神は私たちに自由を与えてくださる方なので、決して強制はされません。そして、主以外の誰も私たちに強制することはできません。それは要素を超える力なので、彼らに支配されるのではなく、私たちに奉仕させてください。私たちは次のことを学びます。どこにでもあるキリストと十字架を認識してください。そうすれば、私たちにとって呪いはもはや必要ありません。力の。キリストのいのちのように、私たちの健康は「すぐに湧き上がる」(イザヤ58:8) それは私たちの死ぬべき肉体に現れます。言語や言語が存在しないような輝かしい自由。哀れみは説明できます。

「だからしっかりしてください。」 「エホバの言葉によって天は造られ、すべては彼らの軍隊は彼の口の霊によって」、「彼が語ったので、それは行われました。送信され、その後すべてが現れた」(詩 33:6 と 9)。

2 - 星空を創造したのと同じ言葉、それは私たちに何を教えてくれますか？ (テサロニケ第2章 2:15)

R \_\_\_\_\_

「だからしっかりしてください。」これは私たちを同じ状態に放置する命令ではありません。以前は無力だったが、それ自体が事実の成就を内包している。天はそうではありません。彼らは自分たちで形成され、主の言葉によって存在させられました。したがって、彼を私たちのインストラクターに任命しましょう。「目を高く上げて見てください。誰がこれらのものを創造したのか、誰が星の軍隊を創造したのか、誰がそれらすべてをその名前で呼んでいるのか。彼らの名前は、主の力の強さの故である」(イザヤ書 40:26)。「エネルギーを与えるのは、疲れた者に、力を増し加えなさい」(イザヤ書 40:29)。

## 木曜日

見よ、私、パウロは、もしあなたが割礼を受けることを許すなら、キリストはあなたに何の利益も与えないであろう、と言っておきます。(ガラテヤ 5:2)

これには単なる儀式以上のものが含まれることを理解する必要があります。割礼。主は割礼について多くを語っているこの手紙を次のように書かれました。すべての人への福音のメッセージが含まれているため、私たちの利益のために保存されます。たとえ割礼が儀式ではないとしても、現代では割礼はあらゆる儀式の対象となっています。論争。

1 - なぜパウロは、もし私たちが割礼をしても、キリストは私たちに益を与えてくれないと言うのですか？  
何が問題になっているのでしょうか？ (以下の文章をよく読んでください)

R \_\_\_\_\_

問題は、どのようにして義、つまり罪からの救いを得るのか、そしてそれに伴う相続を得るのかということです。  
が含まれます。そしてそれは信仰によってのみ得られ、キリストを心の中に受け入れ、  
神が私たちの中で神の命を生きられるようにするのです。アブラハムは信仰によって神からこの義を得ました。  
イエス・キリスト、そして神はそのしるしとして彼に割礼を与えました。アブラハムには、  
非常に特別な意味があり、それは彼が挑戦したときの敗北を常に思い出させました  
肉を通して神の約束を果たします。この事実の記録は私たちにとって  
同一の目的。それは、「肉は何も利益をもたらさない」こと、したがって、肉体は何も利益をもたらさないことを示しています。  
それに依存する必要がある。割礼を受けていないとキリストが成り立たないというわけではありません。  
なぜなら、パウロでさえそうだったし、ある瞬間にはそれが好機だと考えたからである。  
テモテは割礼を受けました(使徒16:1-3)。しかしパウロは自分の価値観に何の価値も置かなかった  
割礼、あるいはその他の外的なしるし(ピリピ3:4-7)、そしていつ  
テトスの割礼を救いの必要条件として提案したのではなく、  
同意しました(ガラテヤ2:3-5)。

既存の現実を示す単なる記号であるはずだったものは、  
後の世代では、この現実を確立する手段として考えられています。  
したがって、割礼はこの手紙の中であらゆる種類の「働き」の象徴として取り上げられています。  
正義を得ることを望みながら、その人にはできることがある。それらは「肉の業」であり、  
聖霊とは対照的に置かれています。

この真実は、もし人が救われることを願って何かをするならば、確立されます。  
つまり、自分の行いによって救いを得ようとしても、「それは彼にとって何の利益にもならない」  
キリスト”。キリストが完全な救い主として受け入れられないのであれば、キリストは全く受け入れられないことになります。彼は望んでいます  
たとえば、キリストをありのままに受け入れるか、キリストを拒否するかのどちらかです。それ以外のことはあり得ません。キリスト  
分裂しておらず、他の人や物とその栄誉を共有しない  
救世主。ですから、誰かがそうするつもりで割礼を受けたかどうかは簡単にわかります。  
このようにして救われた人は、完全に唯一の存在であるキリストへの信仰の欠如を明らかにすることになるでしょう。  
人類の救世主。

2 - 本当の割礼とは何ですか? (フィリピ 3:3)

R\_\_\_\_\_

神はキリストへの信仰のしるしとして割礼を与えました。ユダヤ人はそれを倒錯したそれを信仰の代替物に変えるのです。ユダヤ人が自分の功績を誇ったとき割礼を受けているにもかかわらず、彼は自分の義を誇っていました。これが聖句が示していることです

4: 「律法によって義とされたあなたがたは、キリストから離れています。恵みによって、あなたは落ちた」。パウロは決して律法を軽視しているのではなく、人間の能力を軽視しているのです。彼女に従うこと。律法は非常に神聖で輝かしいものであり、その要求は非常に大きいので、誰も人間は自分の完璧を達成することができます。キリストにおいてのみ、私たちの律法の義が達成されるのです。

本当の割礼とは、霊において神を礼拝し、イエス・キリストを喜ぶことであり、肉に信頼を置きなさい (フィリピ 3:3)。

## 金曜日

そして私は再び、割礼を受けることを許可しているすべての人に、律法全体を守る義務があると抗議します。あなたは律法によって義とされた者であるキリストから引き離されており、恵みから落ちたのです。(ガラテヤ 5:3 と 4)

「これだ！」と誰かが叫ぶでしょう。「これは法律が避けるべきものであることを示しています。パウロは、割礼を受けた者は律法全体を守る義務があると述べています。彼は同時に、誰も割礼を受けていないことを警告しました。」

そんなに早くないよ、友よ。本文をさらに詳しく見てみましょう。ポールが何であるかに注目してください

原文のギリシャ語 (3節)では、「履行すべきすべての法律は債務者である」と述べています。あなたは、悪とは律法でも、律法を履行することでもなく、むしろ律法に負い目を負うことであることに気づくかもしれません。は重要

違いを理解してください。衣食住があるのは良いことだ。食べたり着たりするために借金をするとても悲しいです。さらに悲しいのは、借金があり、その上で必要なものが欠けていることです。食べて着替える。

債務者とは何かを借りている人のことです。法律の恩義がある者には正義の義務がある彼女が要求していること。したがって、法律の恩恵を受けるすべての人はその下にあります。

呪い。

1 - 聖書は、聖書に書かれていることすべてに当てはまらない人々をどのように考えていますか。  
法律の本？ (ガラテヤ 3:10)

R \_\_\_\_\_

したがって、キリストへの信仰以外の方法で義を得ようとするのは、それは永遠の負債の呪いの下にいることを意味します。あなたは永遠に借金を抱えている、彼には支払うものが何もないからです。しかし、それが法律に基づく義務であるという事実は、「債務者は履行すべき法律全体である」 - 債務者は法律全体に従うべきであることを示しています。として？ 「神が遣わされた方をあなたがたが信じることは、神の御業である」 (ヨハネ6:29) 。彼は自分自身を信頼するのをやめ、キリストを肉において受け入れて告白するでしょう。律法の義は彼の内に成就される、なぜなら彼は肉に従って歩むのではなく、道に従って歩むからである。精神。

私たちは信仰の精神によって義の希望を待っているからです。 (ガラテヤ 5:5)

このテキストを何度も読んでください。ただし、注意深く読んでください。もう忘れないでね  
私たちは御霊の約束について学びます。そうしないと、次のような危険があります。  
その意味を誤解しています。

この聖句が、私たちが御霊を受けているからには、正義を得る。そんなことは言わないでください。御霊は義をもたらします。「魂が生きているのは、義」 (ロマ 8:10) 。

2 - 罪を認める以外に霊の働きは何ですか？ (ヨハネ 16:8)

R \_\_\_\_\_

御霊を受ける人は皆、御霊によって罪と義についての確信を持ちます。

彼は自分が何を必要としているのか、そしてそれをもたらしてくれるのは御霊だけであることを教えてくれました。

御霊がもたらす義とは何でしょうか？それは律法の義です(ロマ8:4)。「私たちは知っているから律法は霊的なものであるということです」(ローマ 7:14) 。

では、私たちが御霊を通して待ち望む「義の希望」とは何でしょうか。注記  
それは、私たちが御霊によって義を待つと言っているわけではありません。そこに書かれているのは、

「私たちは信仰によってもたらされる義の希望を待ちます」、つまり希望を待ちます。

それは私たちがこの義を持っているときに与えられます。

土曜日

真理の言葉、救いの福音を聞いた後、あなたがたもその人の中に立っています。そしてまた彼を信じたので、あなたは約束の聖霊で証印を押されました。わたしたちの相続財産、獲得した所有物の償還、彼の栄光の賛美を誓うのは誰ですか。（エペソス 1:13,14）

この点について簡単に思い出してみましょう。

- 1) 神の霊は「約束の聖霊」です。霊の憑依というのは、神の約束の誓約または保証。
- 2) アブラハムの子として神が私たちに約束されたのは、相続財産でした。聖霊は、獲得した所有物が償還されて私たちに引き渡されるまで、その相続財産の保証です(エペソ1:13,14)。
- 3) この約束された相続財産は、新しい天と新しい地で構成されています。正義（ペテロ第二 3:13）。
- 4) 御霊は義をもたらします。それはキリストの代表であり、私たちの義であるキリストが私たちの心に宿るようになる姿です（ヨハネ14:16-18）。
- 5) したがって、御霊がもたらす希望は、神の国、新しい地球における相続の希望です。
- 6) 御霊がもたらす義は神の律法の義です（ローマ 8:4; 7:14）。御霊はそれを石板に書き記すのではなく、私たちの心の中に書き記します(2コリント3:3)。
- 7) つまり、私たちは、律法に従うことができるほど信じるのではなく、御霊が私たちの心の中に住み着いて律法の義で私たちを満たしてくれるなら、私たちは生きた希望を持つことができると言えます。私たちの中に、御霊の希望、つまり信仰による義の希望には、不確実な要素は含まれません。それは間違いなく安全です。それ以外の何物にも希望はありません。「信仰によって神から来る義」（フィリピ 3:9; ロマ 3:23）を持たない人は、すべての希望を奪われます。私たちの内にあるキリストだけが「栄光の希望」です（コロサイ 1:27）。

なぜなら、イエス・キリストにおいては、割礼も無割礼も何の価値もないからである。しかし、そう、愛によって働く信仰です。（ガラテヤ 5:6）

ここで「価値」と訳されている言葉は「かもしれない」と訳されているのと同じです。ルカ 13:24、使徒 15:10、使徒 6:10 では、それぞれ「できる」または「できる」。でピリピ人への手紙 4:13 には、同じ言葉が次のように訳されています。強化する。」したがって、本文を次のように理解する必要があります。何も手術しないでください、たとえ無割礼であってもです。愛を通して働く信仰だけが作ることができる。"そして、愛によって働くこの信仰はイエスのうちにのみ見出されます。

しかし、割礼があってもなくても、何が達成できないのでしょうか？もうない、神の律法に劣りません。それは、どんな人間であっても、手の届く範囲にはありません。状態または状態。割礼を受けていない人には律法を守る力がなく、割礼を受けてもそれを助けることはできません。ある人は自分の割礼を誇るかもしれませんが、もう一つは割礼を受けていませんでしたが、どちらも無駄でした。信仰の原則によって「それは排除される」(ロマ 3:27)。イエスの信仰だけが律法の義を実現できるので、律法の義はありません。私たちが「やった」ことを誇る余地はまったくありません。キリストがすべてです。全部で。

この説得はあなたに電話をかけてきた人からのものではありません。

少量のパン種が塊全体を発酵させます。

私はあなたを、主にあって、あなたが他に何も感じないことを信頼します。しかし、その人は落ち着きのない人は、誰であろうと非難を受けるでしょう。

しかし兄弟たち、私がまだ割礼を説いているとしたら、なぜ迫害されるのでしょうか。すぐ、十字架のスキャンダルは消滅した。

あなたを困らせている人たちは、切断されてほしいと思います。(ガラテヤ 5:8a 12)

神の律法は真理であり(詩 119:142)、ガラテヤの兄弟たちはそう始めました。彼女に従いなさい。最初は成功しましたが、後に進歩が停止しました。"なぜ？彼らは信仰によってではなく、行いによってそれに従ったからです。だからこそ彼らは「つまずきの石です」(ロマ9:32)。キリストは道であり、真理であり、命であり、キリストの中には何もありません。つまずく。彼の命は律法であるため、彼の中に律法の完全性が見出されます。

1 - 眞実は何ですか? (詩 119:142) (ヨハネ 14:6)

R\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 11 真実に従う

---

黄金の詩:あなたはよく走りました。あなたが真実に従うのを妨げたのは誰ですか? (ガラテヤ 5:7)

瞑想するには: 多くの人は、仕事の一部をやらなければならないという考えを持っています。

一人で。彼らは罪の赦しをキリストに信頼してきましたが、今はそれを求めています。

自分の努力で正しく生きてください。しかし、このような性質のあらゆる努力は、

失敗。イエスはこう言われました。「わたしなしではあなたは何もできません。」 私たちの恵みにおける成長、喜び、有用性はすべて、キリストとの結合にかかっています。交流用です

毎日、毎時間、主とともに、主の内にとどまることによって、私たちは恵みのうちに成長しなければなりません。彼は

私たちの信仰の創始者であるだけでなく、完成者でもあります。それはキリストです

最初、最後、そしていつも。(キリストへの歩み - p. 89)。

## 日曜日

十字架は今も昔も不幸の象徴です。十字架につけられるということは、受けることだった  
知られている死の中で最も不名誉な死。使徒は次のように述べています。

もし割礼(つまり、義を行うこと)が説教されていたら、

「十字架のσκάνδαλ(スキャンダル)は取り除かれました(ガラテヤ5:11)。十字架のσκάνδαλは、  
十字架は人間の弱さと罪、そして人間の絶対的な無力さの告白です。

良いことをすること。すべてのことをただキリストに頼って、キリストの十字架を負うことは、  
それは人間全体のプライドの低下につながります。男は感じるのが好き

独立していて自律的。しかし、十字架を釘付けにすることによって、人間の中に何の罪も存在しないことが明らかになります。

良い人生を送り、すべては贈り物として受け取られなければならないということ。そうすれば、次のような人たちがいるでしょう  
すぐに気分を害します。

2 - ガラテヤの兄弟たちはなぜ真理に従うのをやめたのですか? (ロマ 9:32)

R\_\_\_\_\_

13 兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。それなら、自分の自由を利用して肉に機会を与えない  
てください。しかし、慈善活動を通じて互いに奉仕しなさい。

14 律法全体は、「隣人を自分のように愛さなければならない」という一言で成就されるからです。(ガラテヤ 5:13 ~ 14)

前の 2 つの章では奴隷制度と投獄について言及しています。前に  
信仰が来れば、私たちは罪の下に「投獄」され、律法の義務を負っていました。の信仰  
キリストは私たちを自由にしてくれましたが、解放されると次の警告を受けます。

「行きなさい。もう罪を犯してはなりません」(ヨハネ 8:11) 。私たちは罪から解放されたのではなく、  
罪からの自由において。これにどれだけの人が混乱していることでしょうか。

多くの誠実な人は、キリストにあっては無視しても構わないと思っている。  
そして律法に違反することが罪であることを忘れて、律法に反抗します(1ヨハネ3:4)。満足する  
肉は罪を犯すことです。「肉の心は神に対して敵対するからです。  
それは神の律法に従うものではないし、実際、そうすることはできない」(ロマ 8:7) 。使徒私たち  
キリストが私たちに与えてくださった自由を悪用して、また元の状態に陥ってしまわないよう警告しています。  
法律違反による奴隷制度。その代わりに、私たちはそれぞれが自分のことに奉仕すべきです  
隣人よ、愛は律法の実現だからです。

## 月曜日

しかし、完全な自由の法則を注意深く見つけ、それを貫き通して、忘れられた聞き手ではなく、働きを実行する者  
は、その行為において祝福されるであろう。(ヤコブ 1:25)

---

キリストは私たちに第一の支配からの自由を与えてくださいます。しかし、神が与えたものであることを忘れないでください。  
人類を支配し、キリストにあってすべての人が王となることです。これは、  
クリスチャンが支配できる唯一の人間は自分自身です。それは何ですか  
キリストの王国において偉大なのは、自分の霊を支配する人です。

王として、私たちは被造物の下位に臣民がいることに気づきます。  
要素や私たち自身の肉体の中で、しかし私たちの同胞の中で決してそうではありません。これらに対して、私たちは  
奉仕すること。私たちが静止していたときさえ、キリストのうちにあった精神が私たちの中にあるに違いありません  
彼は「神の姿で」王室の天の宮廷にいたため、彼は次のような姿をとることになった。  
しもべ(フィリピ 2:5-7) 。彼はまた、足を洗うときにこの方法でこのことを実証しました。  
弟子たちは、自分たちの主であり師であることを完全に意識しており、神から来たものであり、  
神のもとへ行くとき(ヨハネ 13:3-13) 、救われたすべての聖徒たちが行くときはなおさらです。

栄光のうちに姿を現し、キリストご自身が帯を締め、彼らを食卓に着かせるように招き、  
彼は彼らに仕えます(ルカ12:37)。

1 - 法律を遵守するにはどうすればよいですか? (ローマ人への手紙 3:10)

R \_\_\_\_\_

最大の自由は、隣人への奉仕の名のもとに見出されます。

イエスのこと。最も偉大な人とは、最大のサービスを提供する人です（規則によると最大のサービスではありません）。

世界ではなく、その最低の部分にあるもの）。このようにして私たちはイエスから学びます。

自らをすべての奉仕者とし、

誰もできなかった、あるいはやりたくないサービス。神の僕は皆王です。

2 - キリストの王および祭司として、私たちは神の前で自分自身をどのように考えるべきですか  
兄弟や隣人は? (マタ 20:27)

R \_\_\_\_\_

愛は律法の実現です

愛は律法を履行する代わりではありませんが、律法を完全にするものです。"愛  
他人に害を与えません。したがって、愛は律法を実現することなのです"(ロマ 13:10)。"もし  
誰かが「私は神を愛している」と言い、彼の兄弟を悩ませず、彼は嘘つきです。なぜなら、その人は、  
彼は目に見える兄弟を愛さないし、目に見えない神を愛することはできない"(1ヨハネ4:20)。  
人が隣人を愛するとき、それは神を愛しているからに違いありません。「愛はどこから来るのか  
神です」、「神は愛だからです」(ヨハネ第一 4:7,8)。したがって、愛は神の命です。もし  
命は私たちの中にあり、それを自由に与えれば、法は必然的に私たちの中にある、  
なぜなら、神の命はすべての被造物の法則だからです。「このことによって、私たちは愛を知ります。それはキリストです」  
彼は私たちのために命を捧げました。そして私たちは兄弟のために命を捨てなければなりません」(1ヨハネ3:16)。

愛とは利己心がないことです

愛とは奉仕、つまり他人のために何かをすることを意味するので、愛がそれであることは明らかです。  
それ自体に注意を集中させません。愛する人が考えているのは、どうすればできるかということだけ  
他の人にとって祝福となりますように。

多くの人が誤解しているのは、まさにこの重要な点です。幸せな人は、自分たちの間違いを認識し、真の愛の理解と実践に立ち返ってください。愛「自分の利益を求めない」。したがって、自分自身への愛は愛ではありません。なし。卑劣な捏造以外の何ものでもありません。しかし、世間で呼ばれているものの多くは、愛とは実際には他人への愛ではなく、自分自身への愛です。

## 火曜日

「愛は忍耐強く、親切です。愛はねたみを起こさず、自慢せず、傲慢でなく、ふさわしくない行動をせず、自分のものを求めず、挑発せず、悪を恨まない。」(1コリント13:4,5)

地球上で知られている最高の愛の形でさえ、主がご自分の民に対する愛を表すために用いた愛の一種、つまり民と民の間の愛夫と妻、それはしばしば真実の愛よりも利己的です。出発富や地位を獲得するという明確な目的を持って結ばれた結婚は別として社会では、多くの場合、結婚候補者は自分自身のことをもっと考えます。他人の幸せよりも幸せ。私利私欲のない本物の愛はそこに存在します本物の幸福と同じ割合です。これは世界が学ぶのが遅い教訓です。学ぶ。本当の幸せは、人が歩みを止めたときにのみ見出されます自分の探求において、そして他の人のためにそれを見つけることに専念します。

愛は存在を止めることはありません

私たちは再び、愛として知られているものの多くが実際にはそうではないという指標に直面していることに気づきます。愛が愛でなくなることはありません。それは声明です断定的 :決してありません。例外はなく、状況がそれを変えることはできません。恋愛が冷めるという話はよく聞きますが、そんなことは決してありません。真実の愛には起こり得る。真実の愛は常に温かく、活動的です。フォントをフリーズさせることはできません。それは不変であり、変更不可能です。その理由は単純です。それは神の命です。神性以外に真の愛はありません。したがって、唯一の真の愛が男性の間に現れる可能性は、聖霊によって彼らの心に注がれました。

1 - 兄弟姉妹を真の愛で愛することができるかと確信できるのはなぜですか？  
無私の愛?テキストに含まれる動詞の時制に注意してください。(ロマ 5:5)

R \_\_\_\_\_

誰かが他の人への愛を表現すると、通常、次のような質問を受けます。

あなたは私を愛していますか？"まるで誰でも愛する理由を提供できるかのように！愛はあなたのものです

自分の理由。愛する人が理由を言うことができるなら、それは彼が愛していないことを示しています

本当に。理由として何が指摘されても、時間の経過とともに、これは推測される

愛は消えてしまいます。しかし、「愛は決して存在しなくなることはない」。したがって、依存することはできません。

状況。私たちが愛する理由に対する唯一の答えは、「愛のため」です。•

愛は愛です、それは単純にそれが愛だからです。愛は愛する人の特質です。愛

なぜなら、愛される対象の性格に関係なく、彼には愛があるからです。

愛の源である神のもとに来るとき、私たちは言われたことが真実であることを感謝します。彼は愛なのです。

あなたの人生は愛です。しかし、神の存在については何の説明もできません。あ

人間の最大の愛の概念は、愛されているから愛する、あるいは愛されているから愛する、というものです。

最愛の物は私たちの中に愛を呼び起こします。しかし、神は憎むべきものを愛されます。彼は誰を愛していますか

彼が嫌いです。「わたしたちもかつては愚かで、不従順で、迷っていたからです。

あらゆる種類の情熱と快楽の奴隷となり、悪意と妬みの中で生き、憎しみと憎悪の中に生きています。

お互いを憎んでいる。しかし、神の優しさが現れたとき、

私たちの救い主とすべての人に対するその愛は、人によって行われた義の業によるものではありません。

しかし、彼の憐れみに従って、彼は再生の洗浄を通して私たちに救い、

聖霊を新たにする者」(テトス 3:3-5)。「なぜなら、もしあなたがあなたを愛してくれている人たちを愛しているとしたら、

ご褒美はありますか？徴税人も同じことをするのはありませんか。(マタイ 5:46)

2 - 私たちに愛を注ぐことによって、神の目的は何でしょうか？(マタイ 5:48)

R \_\_\_\_\_

「愛は隣人に対して悪を行いません」(ロマ13:10)。次はすべてを意味します

したがって、愛は私たちが接触するすべての人に及ぶのです。

みんなを愛する人だけが愛する。

愛は他人に害を及ぼさないで、キリスト教の愛(これまで見てきたように、

存在する唯一の愛は戦争や争いを認めません。兵士たちが尋ねると、

洗礼者ヨハネは、神の子羊に従うためには何をしなければならないか、と答えました。

「誰も傷つけてはなりません」(ルカ 3:14)。これでどれだけの戦争が避けられるでしょうか！もし軍隊がキリスト教徒、つまりキリストの真の追随者で構成されていたとしたら、同時に敵との接触を確立し、発砲する代わりに、どうすればお互いを助けられるかを考えます。

「敵がお腹を空かせているなら、彼に食事を与えなさい。喉が渇いたら、何か飲み物を与えてください。なぜ、そうすれば、彼の頭に燃える石炭が山積みになるでしょう。」

15 しかし、あなたがたは、互いに噛み合っただけで、自分自身を食いつぶさないように気をつけてください。

お互いにも。

16 しかし、私は言います、御霊によって歩みなさい、そうすれば肉の欲望を満たすことはできません。

17 なぜなら、肉は御霊と戦い、御霊は肉と戦うからである。そしてこれらは反対します

お互いに、自分の好きなようにしないように。

18. 「もしあなたが御霊に導かれているなら、あなたは律法の下にいないからです。」

ガラテヤの信徒への手紙は、悪いアドバイスに従って素朴な信仰を捨て、彼らは自らを呪いの下に置き、有罪判決を受ける危険にさらされていた永遠の火へ。「舌は火です。それは不法行為の世界です。言語はその間に位置します私たちの体の各部分を汚し、体全体を汚すだけでなく、人間の存在のキャリアですが、それ自体が火によって燃え上がります。地獄です」(ヤコブ 3:6)。

剣よりも舌の方がより多くのダメージを与えているが、後者はそうではないからである。舌を乱すことなく鞘を抜きます。「人間にはできないしかし、神はそうしてくださるのです。彼はガラテヤ人たちにこのようなことをしたのです。彼らは祝福と賛美を宣言しましたが、今では何と驚くべき変化でしょう。として彼らは最近受けた教えの結果、争いに対する祝福。彼らはお互いを高め合うのではなく、むさぼり食う。

水曜日

悪に負けず、善をもって悪に勝ちなさい」(ロマ12:21)

教会内に争いがあるとき、私たちは福音がそこにあると確信できます。  
悲しいほど変態。誰も自分の正統性や信仰の堅固さを自慢してはなりません  
論争する気質を抱えているとき、または挑発したいという欲求があるとき  
そこには、論争や意見の相違は、もし実際に信仰から逸脱していることを示すものです。  
ある時点で持っていました。「信仰によって義とされたので、私たちは神との間に平和を保っています。  
私たちの主イエス・キリストを通して」(ローマ 5:1)

私たちは神との間で平和になるだけでなく、神の平和も得られます。したがって、この新しい  
争いを生んだ「説得」。  
異言は邪悪な火の中で昇ったのであり、異言を呼び寄せた神から来たものではありませんでした。  
福音。

1 - 文を完成させてください:

舌も小さなメンバーですが、素晴らしいことを誇っています

(ヤコブ3:5)

一歩間違えば、大きな乖離が生じる可能性があります。 2行の  
列車は最初は平行しているように見えますが、すぐに気づかぬうちに発散し始めます。  
それが最終的に反対方向につながるまで。「少量の酵母が全体を発酵させる」  
パスタ"。どんなに些細なように見えても、小さなエラーには次のような危険が潜んでいます。  
すべての悪。「律法全体を守りながら、一点でつまずく者は、次の罪を犯します。  
それすべてです」(ヤコブ 2:10)。一つの大切にされてきた偽りの原則が全体の破滅をもたらす  
人生も性格も。子キツネたちがブドウ畑で迷っています。

19 というのは、肉の業は明らかであり、それは不品行、汚れ、  
欲望、

20 偶像崇拜、魔術、敵意、争い、ねたみ、怒り、争い、不和、異端、

21 妬み、殺人、酩酊、暴食など、

前にも言ったように、私はあなたに宣言しますが、そのようなことをする人はそうではありません  
彼らは神の国を受け継ぐでしょう。

これは聞いて楽しいリストではありませんし、それでも網羅的というには程遠いです。使徒はさらにこう付け加えています。「そして同様のもの」。関連する価値のあるもの「そのようなことを実践する者は神の王国を受け継がないだろう」という宣言です。このリストを、マルコ 7:21 ~ 23 で主が示されたリストと比較してください。人間の内側から、心から出てくるもの。それらは人間のものです。自然。次に、両リストをローマ人への手紙 1:28 から 32 のリストと比較してください。神を認めたくない異教徒たちのこと。実際、それを作っているのは、主を知らない者たち。

さて、これらの罪のリストをパウロが第二章で示したものと比較して調べてください。テモテ 3:1 から 5 には、今回は終わりの日に「ある種の敬虔さ」しか持たない人々の業が列挙されています。これら 4 つのリストが含まれていることは注目に値します。本質は同じ。人々が力である福音の真理から背を向けるとき信じるすべての人々の救いのための神の御言葉は、必然的に以下の条件に該当します。これらの罪の力。

木曜日

なぜなら、彼らは神を知ったとき、神として讃美したり、神を与えたりしなかったからである。しかし、彼らのスピーチではそれらは消え去り、彼らの愚かな心は曖昧になった。彼らは自分は賢いと主張し、激怒した。（ローマ人への手紙 1:1 と 22）

1 - 使徒は肉の罪を避けるために私たちに何をどのようにアドバイスしていますか?(コロ 3:5)

R\_\_\_\_\_

"違いはありません"。すべての人は同じ肉体を共有しています(1コリント15:39)。なぜなら、地球上のすべての住民は、アダムとイブという同じ夫婦の子孫だからです。一人の人を通して世に入ったのです」(ロマ書 5:12)ですから、どんな罪であろうとも、それは世界に存在し、すべての肉体に共通です。救いの計画においては、「両者に違いはありません」ユダヤ人とギリシャ人。なぜなら、人はすべての主であり、すべての人に寛大だからです。(ロマ 10:12; 3:21-24)。地球上で他人の前で自慢できる人は誰もいませんし、自慢したこともありません彼の罪深く墮落した状態を非難するわずかな権利。あ私たちがそうさせるどころか、誰かの公然たる悪徳の確認や知識(私たちの優れた道徳性のおかげで)気分が良くなり、悲しみで満たされるはずはです。

恥。それは私たちの人間性の現実を思い出させるものにほかなりません。へ  
殺人者、酔っ払い、放浪者に上映される作品は、単なる作品です  
私たち自身の肉体の。人類が共有する肉体には他のものは含まれていない  
上記の悪業以外の傾向。

肉の行いの中には、非常に邪悪であるか、少なくとも悪であると一般に考えられているものもあります。  
最低、見栄えが悪い。一方で、一般的に自分は罪を犯していると考えている人もいます。  
美德と宣言されていない場合は、許されます。次の表現を思い出してください。

「類似」とは、リストされているすべてのものが本質的に同一であることを示します。

聖書は憎しみは殺人であると宣言しています。「兄弟を憎む者は皆、殺人者だ」

(ヨハネ第一 3:15)。その言葉が示すように、怒りさえも等しく殺人である

マタイ 5 章 21,22 節にある救い主の言葉です。非常に一般的な羨望には、次のような感情も含まれています。

殺人。しかし、妬みを罪深いものと考える人がいるのでしょうか？検討どころか

極めて罪深いものとして、私たちの社会はそれを奨励しています。しかし、神の言葉は

それは姦淫、淫行、殺人、そして

そしてそのようなことをする者は神の国を受け継がれないということです。そうではないですか

何かひどいことですか？

2 - 羨望はなぜそれほど危険なのでしょう？最初のこの気持ちの結果はどうなったのか  
人類の歴史の？ (創世記 4:5 ~ 8)

R \_\_\_\_\_

自己愛、優位性への欲求は他のすべての罪の源です

言及されたもの。無数の犯罪が彼らから発生しました。構造物

肉体の忌まわしい行為は、人が最も疑うべきところである。それらはどこにでも見つかります

人間の肉体、そしてこの肉体が存在しないときはいつでも、彼らは何らかの形で現れます。

十字架につけられます。「罪が戸口にある」(創世記4:7)。

肉と霊との間の葛藤。肉には何の共通点もありません

神の霊。「彼らは互いに対立している」。つまり、彼らは典型的な敵対心を持って行動します。

二人の敵。彼らはそれぞれ、相手を倒す機会を探しています。肉は

腐敗。腐敗は腐敗を継承しないので、神の王国を継承することはできません(1コリント15:50)。肉体が

改心することは不可能です。彼女は十字架につけられなければなりません。

「肉の心は神に対する敵意です。なぜならそれは神の律法の対象ではないからです。  
実際、それは可能です。したがって、肉に従って生きる人は人々を喜ばせることができません。  
神よ」(ローマ 8:7 と 8)。

これがガラテヤ人への回帰と多くの人を悩ませている問題の説明です。  
クリスチャンは生きています。ガラテヤの人々は御霊によって出発しましたが、今では到達しようと努めました。  
肉を通して完全になる(ガラテヤ 3:3)。掘って星に到達するのと同じくらい不可能なこと  
地下のギャラリー。同様に、多くの人が良いことをしようとします。しかしなぜまだ  
もし彼らが断固として御霊に完全に身を委ねたなら、彼らは望むように行動することはできません。  
スピリットは彼らと戦い、相対的な制御を獲得します。一部でも  
時には彼らは御霊に完全に身を委ね、豊かな経験をもたらします。しかし  
それから彼らは御霊に直面します。それは肉体が支配しており、まるで別の人間であるかのように見えます。時に  
は彼らは御霊の思いに屈し、また時には肉の思いに屈します(ロマ8:6)。そしてこれから  
したがって、彼らは心が弱く、あらゆる点で不安定です(ヤコブ1:8)。  
これは非常に不満足な状況です。

金曜日

「もしあなたが御霊に導かれているなら、あなたは律法の下にいないからです」(ガラテヤ5:18)。

御霊と律法

私たちは律法が霊的なものであることを知っていますが、私は肉的な者であり、罪の力に売られています。」  
7:14)。「肉と霊は対立を維持します。しかし、御霊の実に対しては、「だめだ」  
律法があるのです」(ガラテヤ 5:22,23)。したがって、律法は肉の業に反するのです。肉の心は「そうではない」  
「神の律法に従わなければならない」のであれば、肉体を持った者は神を喜ばせることができないのです。  
法律の下にある。」これは、「法律の下にある」ということは、  
彼女の違反者。「律法は霊的なものである」ので、御霊に導かれる人は、  
法律に完全に調和して、彼らは法律の下に置かれたいようにします。

1 - もし私が律法ではなく恵みの下にあるとしたら、罪が私を支配する可能性はありますか? (ロマ 6:14)

R

論争は維持する必要があるかどうかではなかったことが改めてわかります。  
法律ではなく、法律をどのように守るべきか。ガラテヤ人たちは夢中になっていた

自分たちで達成する力があるというお世辞の教えによって、一方で、  
神から任命された使徒は、私たちがそれを守ることができるかと強く強調した  
御霊を通してのみ。彼は聖書を通してアブラハムの物語を示しました。  
ガラテヤ人自身の経験から。彼らは御霊によって始められましたが、  
彼らはそれを続け、順調に走っていました。しかし、彼らが御霊を自分たちに置き換えると、  
彼らはすぐに法に反する行為を明らかにし始めました。

神は愛である;愛は律法の実現です。法律は霊的なものです。それで、すべて  
霊的な者は神の正義に従わなければなりません。これが正義だ」と証言した  
律法」(ローマ 3:21)ですが、イエス・キリストの信仰によってのみ得られます。御霊によって導かれるもの  
御霊を受ける条件としてではなく、その結果として律法を守るだろう  
それを受け取ったということ。

私たちは霊的であると公言する人々を何人か知っています。彼らはそう感じています  
律法を守る必要がないと信じている人々は御霊に完全に導かれています。認める  
それを守り続けるのではなく、それを導くのは御霊であると信じてください。だから、彼らは言う、ノーだ  
たとえそれが法に反するとしても、それは罪である可能性があります。奴らは間違いを犯す  
御霊の心を自分の肉の心に置き換えるのは致命的です。肉体を混乱させる  
御霊とともに、神の立場に身を置いてください。神の律法に反対することは、神の律法に反対することです。  
精神。

2 - なぜ神に霊の目を開いてもらう必要があるのですか? (詩 119:18)。

R \_\_\_\_\_

22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、優しさ、  
善良さ、信仰、柔和、節制。

23 これらのことを禁じる法律はありません。

御霊の最初の実は愛であり、愛は律法の成就です。」  
13:10)。「信仰によって義とされたので、喜びと平和が続きます。」  
神と平和に。」「そして、これだけでなく、私たちは自分たちの功績を神にあって誇りに思います。  
主イエス・キリスト」(ローマ 5:1,11)。「キリストは聖霊の油注ぎを受けました(使徒言行録)

10:38) 、または他の箇所でも読んだように、「喜びの油で」(ヘブライ 1:9) 。サービス神にとってそれは喜ばしい奉仕です。神の王国は「義と平和と聖霊による喜び」です。聖なるべきです」(ロマ 14:17) 。かつてのように逆境を喜ばない人は、それはあなたがまだ主を正しく知っていないからです。の言葉キリストは完全な喜びに導かれました(ヨハネ15:11)。

愛、喜び、平和、寛容、忍耐、寛大さ、忠誠心、礼儀正しさ、自制心は、真の信者の心から自然に湧き出ます。キリスト。誰も力づくでそれらを手に入れることはできません。しかし、それらは私たちの中に自然に住んでいるわけではありません。腹立たしい状況に直面したとき、私たちにとって自然なことは怒りやイライラではなく、優しさと諦め。肉の働きと果実のコントラストに注目してください。精神: しかし、良い実を結ぶためには最初のことが自然に起こります。私たちは完全に新しい生き物に変えられなければなりません。心の宝は善を生み出すのです」(ルカ6:45) 。善意は誰からもたらされるものではなく、しかし、それはキリストの御霊が人間の中に永遠に住んでいることです。

土曜日

そして、キリスト・イエスに属する者たちは、その情熱と欲望のままに肉を十字架につけました。(ガラテヤ 5:24)

私たちの老人は彼とともに十字架につけられ、罪の体は私たちがもはや罪の奴隷ではなくなるように滅ぼされます。なぜなら、それは何ですか。死んだので、彼は罪から解放されます(ローマ6:6と7) 。「私はすでにキリストとともに十字架につけられています。そして生きている、もはや私ではなく、キリストが私の内に生きておられます。そして私が今肉体で生きている人生は、私は信仰によって生きています。わたしを愛し、わたしのためにご自身をささげてくださいました神の子です」(ガラテヤ2:20) 。これはすべての真の神の子が経験することです。「だれでもキリストのうちにいるなら、その人は新しくなったのです。生き物」(2コリント5:17) 。しかし、彼は外見どおりに肉体を持って生きていますが、彼はもはや肉に従って生きるのではなく、御霊に従って生きます(ロマ8:9) 。彼は肉的な生活を送っており、肉的なものではなく、肉は彼に対して何の力も持っていません。と肉の働きに関して言えば、彼は死んでいます。

1-もしキリストが私たちの内におられるなら、私たちの肉の体はどうなるでしょうか？(ロマ 8:10)

R\_\_\_\_\_

25 わたしたちが御霊のうちに生きているなら、私たちも御霊のうちに歩みましょう。

26 私たちは、誇ったり、挑発したり、ねたんだりして貪欲にならないようにしましょう。

互いに。

ここでパウロがクリスチャンは御霊の中に住んでいると信じていたことに疑問はありませんか？いいえ。疑いの余地はありません。私たちは御霊の中に生きているので、御霊に従うべきです。それはただ御霊の力によるものです。

原理は深淵の面を乗り越え、混沌から秩序を確立しました。

誰もが生きていける。「神の御霊が私を造り、全能者の息吹が私を造った」

人生の。」（ヨブ記 33:4）。同じ御霊が天を造りました（詩 33:6）。神の霊は宇宙の命です。それは神の永遠の臨在であり、その中で「私たちは生き、動き、そして

私たちは存在します」（使徒 17:28）。私たちは生涯御霊に依存しています。したがって、私たちはすべきです。それが私たちの「道理にかなった礼拝」です（ローマ 12:1）。

なんとすばらしい人生が私たちの手の届くところにあるのでしょうか。肉体の中で、まるで肉体のように生きる精神だった。「自然の体があるなら、霊的な体もある。」「しかし、それが最初ではない精神的ですが自然です。それから霊的なものです」（1コリント15:44,46）。自然な身体というのは、私たちが今持っているもの。キリストの真の追随者は皆、霊的なものを受け取ります。復活（1コリント15:42-44; 50-53）。しかし、この人生、自然の身体では、人間は霊的でなければなりません。将来の霊的な体のように生きなければなりません。「あなたはしないあなたがたは肉に従って生きていますが、霊に従って生きています。主はあなたの内に住まわれます」（ローマ8:9）。

「肉から生まれたものは肉である。そして御霊から生まれるものは霊である」（ヨハネ3:6）。のために自然出産、私たちはこの第5章に列挙されているすべての悪を受け継ぎます。

ガラテヤ人への手紙、「など」。私たちは肉欲的です。私たちの中には腐敗が支配しています。を通して新しく誕生したとき、私たちは神の満ち足りたものを受け継ぎ、「神の恵みにあずかる者」となります。

神性は、世界の腐敗から逃れた後、

情欲」（ペテロ第二 1:4）。「自分の欺瞞によって墮落した老人」

「欲望」（エフェソス 4:22）は、「罪の体が滅ぼされるために、十字架につけられます。

私たちがもう罪の奴隷にならないように」（ロマ6:6）。

御霊のうちに住み、御霊のうちは歩み、肉は欲望を持って

私たちが実際に死んで埋葬されている場合と同じように、それは私たちに対して何の力も持ちません。体に命を与えるのは神の霊だけです。御霊は肉を次のように用います

正義の道具。肉体は腐敗し続け、満ち満ち続ける

邪悪な欲望を持ち、いつでも御霊に反逆する準備ができています。しかし、とても長い間

私たちが自分の意志を神に服従させると、御霊は肉体を服従させます。もし

心の中でエジプトに帰るか、自分自身に信頼を置けば、私たちはたじろいでしまいます。

私たち自身が聖霊への依存を損ない、その結果、私たちは何を再構築しますか

私たちは滅ぼされ、自分自身を違反者にしてしまいました（ガラテヤ 2:18）。しかし、その必要はありません

発生する。キリストは「すべての肉なる者に対する力」を持っており（ヨハネ 17:2）、その力を実証されました。

人間の肉体を持って霊的な生活を送ること。

それは肉となった言葉、肉において現された神、「この愛の啓示」です。

それはすべての理解を超えており、あなたが神の満ち足りたもので満たされるためです。」

（エフェソス 3:19）。この愛と優しさの御霊の支配下にある私たちは、

私たちは互いに自慢し、挑発し、羨望し合うよう努めます。すべてはから来ます

神よ、そうすれば彼は自分自身を認識し、誰もそのような傾向を持たなくなるでしょう。

他人のことを自慢する。

キリストにある命の霊、つまりキリストの命はすべての人に無償で与えられています。"そして喉が渴いている人は来てください。そして望む者は、命の水を自由に飲ませなさい"（黙示録22:17）。

「父とともにあった命が明らかになり、わたしたちはそれを見たので、あなたがたに宣言します。

永遠の命」（ヨハネ第一 1:2）。「言葉では言い表せない賜物を与えてくださった神に感謝します！」（コリント第二 9:15）。

## 12十字架のメッセージ

---

黄金の詩:ユダヤ人はしるしを求め、ギリシャ人は知恵を求めるからです。しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えています、それはユダヤ人にとってはつまずきであり、ギリシャ人にとっては愚かなことです。(コリント第一 1:22 および23)

瞑想するには:「ああ、これまでに行われた素晴らしい犠牲について考えてみましょう。私たちが作った!天国の働きとエネルギーに感謝する経験をさせてみましょう。失われたものを取り戻し、父の家に持ち帰るために支出することは決してありません。より強力な動機とより強力なエージェントが作動する可能性があります。正しい行いのすばらしい報酬、天国の喜び、天使たちの社会、御父と御子の交わりと愛、私たちのすべての能力の向上と拡張。永遠の時代を通して、これらは私たちへの強力な勧誘と励ましではないでしょうか。私たちの創造者であり救い主に対して、愛に満ちた心から奉仕をするよう私たちを動かしてくれるでしょうか?」(キリストへの歩み - p. 21)

## 日曜日

性急な読者は、分裂があるという結論に達するだろう。ガラテヤ人への手紙の5章と6章の間で、最後の部分が最初の部分は理論的な教義を明らかにしますが、精神的な生活の実践的な側面に言及します。それは大きな間違いです。聖書には単なる理論は何もありません。すべては行動だ。聖書には何も無い深く精神的で実践的なものではないもの。同時に、すべてがそれは教義です。ドクトリンとは教えることを意味します。私たちが「山上の説教」として知っているのは、事実は純粋な教義、イエスは口を開いて彼らにこう教えて以来...その教義に対してある種の軽蔑を感じます。彼らはそれをまるで、まるで思弁神学の領域に属し、実践神学とは対照をなしている。毎日。このような人々は、純粋な教義であるキリストの説教を知らずに不名誉な扱いをし、イエスはいつも人々に教えていたからです。すべての真の教義は強烈です。練習する;それは、それを実践するという唯一の目的のために人間に与えられています。

前述の混乱は、条件の選択に疑問があることが原因です。何をそれを教義と呼ぶ人もいますが、それは当然のことですが、実際的ではなく、教義ではありません。実際には教義はなく、むしろ下品な説教です。福音には居場所がない彼のために。福音の真の説教者は決して「説教」をしません。そうであればこれは、あなたがこの期間中に福音を宣伝する以外のことをしようと決めたからです。いつか。キリストは決して説教をしませんでした。彼がしたことは教義を主に提供することでしたリスナーの皆さん、教えてください。したがって、福音はすべて教義であり、それは次から来る教えです。キリストの生涯。

1 - キリストの教義に留まる人は何を持っていますか? (ヨハネ第二 9章)

R \_\_\_\_\_

この手紙の最後のセクションでは、その目的が明確に明らかにされています。素材の提供ではありません。論争には相応しいが、論争に終止符を打ち、読者をこの論争に服従させることになる。精神。その目的は、神に対して罪を犯している人々を回復することです。自分自身の間違ったやり方で神に仕え、真に神に仕えるように彼らを導いてください。スピリットの新鮮さ。この書簡の前のセクションの議論は、次のことを中心に展開しています。肉の働き（罪）から逃れることができるのは、キリストの十字架の割礼：御霊によって神に仕え、自信を置かないこと

生きている。

## 月曜日

兄弟たち、もし人が何らかの罪を犯した場合、霊的なあなたがたは柔和の精神でその人を導いてください。あなたも誘惑に遭わないように、自分に気をつけてください。(ガラテヤ 6:1)

人間が自分を正しく、誇り、高慢、独善的であると主張し始めるとき批判の精神が彼らを公然と論争へと導きます。これがガラテヤ人に起こった経緯であり、それは常にこのように起こります。それ以外の方法はありませんでした。人それぞれが持っている彼自身が裁判官になるために、彼自身の法律の概念。調べずにはいられない兄弟たちもあなた自身も、彼らが適切な高さに達しているかどうかを確認してください。あなたの測定値。あなたの批判的な目が、基準に従っていないものを発見した場合、ルールでは、違反者は直ちに罰せられます。独善に満ちた人たちは彼らは兄弟たちを自分たちの仲間から遠ざけるまで立ち上がって守っています。

それらと接触して自分自身が汚染されないように。これとは著しく対照的に、この精神は教会では非常に一般的なものであり、この章の冒頭で勧められているのがわかります。その代わりに私たちは非難するために欠点を探しに行くのではなく、救うために罪人を探しに行かなければなりません。

神はカインにこう言われました。でも働かなかつたら

そう、罪はあなたを支配する入り口にあり。しかし、あなたは彼を支配しなければなりません」(創世記4:7)。  
罪は、隠れて、不注意な者を攻撃して打ち負かすわずかな機会を待っている野獣です。私たちよりも強いですが、私たちには次の力が与えられています。

それを支配します。「あなたがたの死ぬべきからだの中で罪を支配してはなりません」(ローマ 6:12)。ただし、可能です(必須ではありません)それは最も慎重な人でも勝ちます。「子供たちよ、私はあなたたちにこれを書きます」あなたが罪を犯さないように。しかし、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちに御父の前に弁護者であるイエス・キリストがいます。ジャスト。彼は私たちの罪の犠牲者です。そして、私たちだけでなく、他の人々にとっても、全世界です」(ヨハネ第一 2:1 と 2)。このように、人はつまづくかもしれませんが、再確立。拒否されません。

1 - 間違いを犯す人に対して優しいだけでなく、なぜ注意しなければならないのですか  
特に、自分が犯した過ちについて自分自身を顧みることにどうでしょうか (ガラテヤ 6:1)

A: そうならないために\_\_\_\_\_

主は羊を求め、羊飼いを通して働きを示される。  
それは負けた。福音の働きは本質的に個人的なものです。までに福音を説教すると、一日で何千人もの人々がそれを受け入れることができ、成功はそれが一人一人の心に与える影響。何千人に語る説教者が到着するとき彼ら一人一人に個別にキリストの働きを行っているのです。このようにすると、誰かが過ちに陥ったら、その人を優しさの精神で回復させてください。時間がありませんたとえ無駄だと思われても、節約のために捧げられたものはとても貴重なものかもしれません。たとえ一人でも。最も重要かつ輝かしい真実のいくつか聖書はキリストによって一人の魂に伝えられました。努力するもの群れの中で一匹の羊を探すのが良い羊飼いです。

「彼ご自身が、木の上で私たちの罪をその身に負ってくださいました」(1ペテロ2:24)。  
神は私たちの罪を私たちのせいにはせず、すべてご自分の身に負ってくださいました。「柔らかさは怒りを遠ざけなさい」(箴言15:1)。キリストは勝利を得るために愛情の言葉を持って私たちに来られます

私たちの心。神は私たちに、御許に来て休むよう呼びかけておられます。

私たちが奴隷制という苦いくびきを神の重荷という軽いくびきと交換する方法

ライト。

2 - 私たちの罪に関してキリストはどのような模範を示されましたか?そして、私たちが  
担当? (コリント第二 5:19)

R \_\_\_\_\_

すべてのクリスチャンは人間の代表者であるキリストにあって一つです。ですから、「神はありのままに、  
私たちがこの世にいるのです」(ヨハネ第一 4:17)。キリストはこの世に

男性がどうあるべきか、そして真の追従者とは何かの例

イエスは弟子たちに、「父がわたしを遣わされたように、わたしもあなたがたを遣わします」(ヨハネ20:21)と言わ  
れます。この目的のために彼らに投資します。

聖霊を通して彼自身の力。「神は御子を世に遣わしたのは、

それは、世を罪に定めるであろうが、世が彼によって救われるためである」(ヨハネ 3:17)。それならいいえ

私たちが非難するために送りますが、救うために送ります。したがって、次のような叱責がなされました。

行方不明です...復元してください。』勧告の範囲は、私たちが関係している人々に限定されません。

私たちは教会に加わりません。私たちがキリストの大使として送ってください。

すべての人が神と和解しましょう(2コリント5:20)。天国には他の職業はない

あるいは地球上では、キリストの大使であることよりも大きな名誉が伴います、そしてそれは実際に

この任務は、和解した最も取るに足らない拒絶された罪人にさえ与えられる。

神と。

## 火曜日

互いに重荷を担いなさい、そうすればあなた方はキリストの律法を全うすることができるのです。(ガラテヤ 6:2)

「霊的なあなた」

これらにのみ、落ちた人の回復が推奨されます。これは他の誰にもできません。聖霊は、叱責し正さなければなら  
ない人々を通して語られます。そしてその

それはキリストと同じ働きであり、人がキリストになれるのは御霊の力によってのみです

目撃者。

しかし、これはおそらく、誰もが再構築できるという最大の思い上がりの行為ではありません。  
兄弟？それは靈感があるふりをしているのと同じではないでしょうか？

確かに、神の前でキリストの代わりに立つことは簡単なことではありません。  
落ちた男。神の計画は、誰もが自分自身を大切にすることです。  
あなたも誘惑されないでください。」ここで説明するルールは、  
教会での復活。誰かが過失に陥ったらすぐに、次のことを行うのが全員の義務です。  
ニュースを広めるわけでもなく、何が起こったのかを直接報告するわけでもなく、自分自身に問かけることです。  
自分自身に：「私はどうですか？私の状況はどうなっているのでしょうか？私に責任はないのでしょうか？  
同じ過失、もしかしたら同様に非難されるべき他の過失があるのでしょうか？そんなはずはない  
あなたが欠席したのは、私に何か落ち度があったのでしょうか？私は御霊によって歩んでいます。  
それを遠ざけるのではなく、元に戻すことはできるのでしょうか？」そうすれば改革が起こるだろう  
教会で完成しており、他の人たちが到着したときに、  
すでに悪魔の罠から逃れた、倒れた者のところへ行ける状態にします。

罪に陥った人々をどのように助けるかについて（マタイ 18:15-18）、イエスはこう言いました。  
「あなたが地上でつなぐものはすべて天でもつなされることを、私はあなたに保証します。そしてそれすべて  
あなたが地上で解くものは、天でも解かれるのです」（18節）。それは神ということですが  
自分たちの教会を自分たちの教会だと思っている信者の集まりが、  
取っていいよ？確かにそうではありません。地球上で行われたことは何も意志を変えることはできません  
神様のもの。過去二千年にわたる教会の歴史は間違いの塊であり、  
不条理、自己を高め、神の代わりに自分を置くというキャリア。

では、キリストはこれで何を意味したのでしょうか？まさに私が言ったことです。教会がそうしなければならないこと  
霊的であり、優しさの精神に満たされていること。そして、それぞれが話すとき、次のようにしなければなりません。  
神の代弁者としてそうするのは、キリストの言葉だけが心と思いの中にあるべきです。  
違反者に対処しなければならない人の口。こうなったとき、それを考えると、  
神の言葉は常に天に確立されており、あなたが何と呼んでも、  
地上では「天国でも結ばれることになる」。しかし、次のことに従わない限り、これは起こりません。  
聖書は文字と精神において厳密に書かれています。

1 - イエスはこの件に関して何を保証しましたか？ (マタ 18:15-18)つまり、  
彼は教会が下した決定を受け入れるでしょうか？

R \_\_\_\_\_

「キリストの律法」は、  
キリストの生涯は重荷を負うことです。「彼は自ら私たちの弱さを引き受け、担ってくれました。  
私たちの病氣。」彼の律法を全うしたい人は皆、同じ仕事を続けなければなりません  
疲れて意気消沈した人たちを支持します。

「したがって、彼があらゆる点で兄弟たちに似ていることが適切でした...彼はそれが何であるかを知っています  
一生懸命努力し、勝つ方法も知っています。彼は「罪を知らなかった」にもかかわらず、  
イエスが私たちのために罪とされたのは、私たちをご自分において神の義とするためでした (2コリント5:21)。  
イエスは私たちの罪を一つ一つ取り上げ、あたかも自分の罪であるかのように神の前に差し出しました。

2 - イエスはなぜ誘惑に遭っているすべての人を助けることができるのでしょうか？ (ヘブライ 2:17,18)

R \_\_\_\_\_

そしてそれが私たちにもたらされるのです。私たちの罪を責めるのではなく、私たちに扉を開いてください  
そして、彼が同じ苦しみ、痛み、哀れみ、恥辱にどれだけ苦しんだかを私たちに知らせます。  
これが私たちの信頼を獲得します。彼も同じ経験をしたことを知っているのも、  
同じ困難の中でひれ伏していた彼は、私たちがいつでも彼の声を聞く準備ができています。  
逃げ道を提示します。あなたが経験から話していることは承知しています。

したがって、罪人を救うために最も重要なことは、私たちが罪人と一つであることを示すことです。自分の欠点を  
見せることによってこそ、人は他人を救うことができるのです。なしだとどんな感じですか  
確かに罪は罪人を回復できるものではありません。それを誰かに言ったら  
「どうしてそんなことができるのですか？」何もしなかった  
私の人生でも似たような事があるんです！少しでも持っている人の気持ちがわかりません  
自尊心がこのようなことになるかもしれない！」と彼にそのように話したら、もっとうまくやったのに  
家にいる。神はただ一人のパリサイ人を使徒として選びました。そしてそうではなかった  
自分が罪人の先頭であると認識できなくなるまで送り込まれました。

罪を告白するのは屈辱ですが、救いの道は十字架の道です。そして  
十字架を通してのみ、キリストは罪人の救い主となることができます。それで、もし必要があるとしたら、  
喜びを分かち合いましょう。私たちもまた、主とともに十字架を苦しまなければなりません。

恥"。覚えておいてください。私たちが世界を救うことができるのは、自分の罪を告白することによってのみです。

他の人は自分の罪から逃れます。この方法でのみ、私たちは彼らに次への道を示すことができます。

救い。自分の罪を告白した者だけが、その罪から清めを得ることができます。

したがって、他の人をソースに誘導します。

## 水曜日

なぜなら、自分が何者でもないのに、何かであると思う人は、自分自身を欺いていることになるからです。

しかし、各人は自分自身の働きを証明する、そして彼は自分自身においてのみ栄光を持ち、そうではありません

別のところで。(ガラテヤ 6:3 と 4)

「無であること」という言葉に注目してください。あまり信じてはいけないというわけではありません

私たちがまだなっていないものに。逆に、それは完全な検証です。

事実 : 私たちは何も無いということ。一人の個人だけではありません。すべての国も

集まった者は主の前では何も無いのです。私たちが何かであると信じるときはいつでも、

私たちは自分自身を欺くことになります。そして私たちはしばしばこれを行い、不利益をもたらします

主の働きのこと。

「キリストの律法」を覚えていますか？彼はすべてであったにもかかわらず、「彼は自分自身を空っぽにした」

それは神の御心が行われるためです。「しもべは人間より偉いわけではない」

あなたの主人です」(ヨハネ13:16)。神だけが偉大なのです。「きっとそれはすべて虚栄心だよ

生きている人」(詩 39:5)。神は常に真実ですが、「すべての人は真実です」

嘘つきです」(ロマ 3:4)。私たちが以前のものを認識し、それを意識して生きるとき、

聖霊が私たちに届いて、私たちを

神が私たちのために働いてくださることは可能です。「罪を犯した人」とは自分を高める人です(IIテサロニケ2:3)

および4)。神の子は自分を低くする人です。

1 - 自分を高める人は誰ですか？(テサロニケ第二 2:3 および 4)。

R \_\_\_\_\_

5人はそれぞれ自分の重荷を負うからです。

2節は矛盾していますか？全くない。聖書は私たちにこう告げています

自分の重荷を投げつけるのではなく、お互いに重荷を背負いましょう！「にキャストしてください」

あなたの重荷は永遠です」(詩55:22)。一人一人が主に重荷を負わなければなりません。それは次のことにつながります

それは人類全体の負担であり、集団としてではなく個人が負担するものです。入れません

私たちの重荷を主のうちに置き、手や心の中に集めて投げ込むのです。

私たちから遠く離れた誰か。このままでは無理です。多くの人がこの方法で検索しました

成功することなく、罪、痛み、苦しみ、罰の重荷から解放されます。彼らは戻ってきました

それが彼らの上にごんごん重くなっていくのを感じ、ついには絶望の危機に瀕することになる。

どこに問題がありましたか？彼らはキリストを遠くにいる人のように見て、次のように考えました。

深淵に橋を架けるかどうかは彼ら次第だった。しかし、これは不可能です。その男

(私たちがまだ弱かった頃)たとえ短い距離であっても、あなたから重荷を取り除くことはできません

自分の腕。長い間、私たちは腕の届く範囲ではありましたが、主を遠ざけ、重荷から自分自身に休息を与えませんでした。そしてち  
ょうど

私たちが何者でもないことを認識し、告白し、私たちの世界に消えていくとき、

取るに足らないもの - もう自分自身を騙さない - それはその時です

私たちの貨物の輸送を許可します。キリストはそれに対処する方法を知っています。そしてあなたのくびきを取り、

私たちは他の人の重荷を負う方法を神から学びます。

それでは、私たちが自分の荷物を背負う目的には何があるのでしょうか。それは「中で働く力」です。

私たち」それは必要です！

2 - 日々、自分自身をどのように考えるべきですか？(ガラテヤ 2:20)

R \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

これは私のことです。しかし、彼ではないにしても、私ではありません。

その秘密を学びました！私は彼を参加者にすることで他の人を疲れさせません。

私の重い荷物ですが、私はそれを自分で運びます。しかし私ではなく、私の中にキリストがいます。がある

キリストからこの教訓をまだ学んでいない世界中の多くの人たち、そして神のすべての子たち

彼は機会を見つけて他の人の重荷を引き受けるでしょう。あなたは自分自身を主に信頼するでしょう。

「力あるお方」が常に私たちの重荷を負ってくださるというのは素晴らしいことではないでしょうか。

私たちはキリストの生涯からこの教訓を学びます。神様がいたから私はうまくやっていました

彼は悲しんでいる人々を慰め、心の傷ついた人々を癒し、傷ついた人々を解放しました。

悪魔に抑圧されている。苦しみを背負ってイエスのもとに来た人は一人もいませんでした。

病気は軽減されずに放置されています。「預言者イザヤがこう言ったことが実現した。『彼は、神ご自身が私たちの弱さを担い、私たちの苦しみを担ってくださったのです』（マタイ 8:17）。

それから、夜、群衆が横たわっているとき、イエスは、山や森に行き、（彼がそのために生きた）父と交わることができるように。あなた自身の魂に新たな生命と強さを与えてください。「人はそれぞれ自分自身のことを吟味する自身の仕事。」「信仰を続けているかどうか、自分自身を吟味してください。自分自身を証明する同じ。それとも、あなた自身、イエス・キリストがあなたの内におられることを知らないのですか？そうでない場合あなたがたはすでに認められていないのです」（IIコリント13:5）。「彼は弱さのゆえに十字架につけられたにもかかわらず、生きているからです」神の力によって。わたしたちも弱いけれど、神の力によって生きていくあなたのうちにある神の力によって、彼とともにいなさい」（4節）。このようにして、私たちの信仰がキリストを証明するなら、私たちの中にあります（そして信仰は事実の現実性を示します）、私たちは何か幸せになるでしょう他の人の前ではなく、私たち自身です。私たちは主イエス・キリストを通して神にあって喜びます。私たちの楽しみは世界中の誰にも依存しません。たとえみんなが諦めても倒れても、私たちは抵抗します、なぜなら「神の土台は立っているからです」しっかり立ちなさい」（2テモテ2:19）。

したがって、自分をクリスチャンだと思っている人は、誰かに頼ることで満足してはなりません。他の。あなたは弱者の中の最弱ですが、常にキャリアであり続けてください。重荷を負い、神とともに働き、キリストにあってご自身の重荷と人の重荷を負う者です。苦情や焦りを感じることなく、あなたの隣人に。いくつかを発見することもできます彼の兄もそれを後悔していないと表明しており、それを背負っています。そしてその同じことが他のこともできます。そのとき、弱者はこう喜ぶだろう。わたしの歌は主、主、わたしの救いであられた方です」（イザヤ12:2）。

## 木曜日

そして、み言葉によって教えられた者は、自分の持ち物をすべて教えた者と分かち合わなければなりません。（ガラテヤ 6:6）

間違いなく、これは主に時間的リソースを指します。1つあれば人は御言葉の働きに完全に身を捧げますが、物事が次のようになっているのは明らかです。

その維持に必要なものは、それを教える人々から得られなければなりません。さて、では、この勧めの意味はそれだけではありません。御言葉の教えを受ける人は誰でも、「良いことすべてを」インストラクターと分かち合しましょう。この章のテーマは、共済。「お互いの重荷を負い合うこと。」指導する彼もあまりにも多すぎるので、彼らから物質的な食べ物を受け取り、彼は出席するためにそのお金を使わなければなりません。その他。何も持たなかったキリストと使徒たち - キリストが最も偉大だったからです。貧しい者の中の貧しい者たち。そして弟子たちはイエスに従うためにすべてを捨てた。見守った。わずかな資力で貧しい人々に与えられました（ヨハネ13:29）。

弟子たちがイエスに、群衆を解散させて、もし彼らが自分たちを養うことができれば、イエスはこう答えました。あげてあなたは食べてください」（マタイ 14:16）。イエスは冗談ではありませんでした。私が言ったことは本当に本気でした。イエスは、弟子たちが人々に与えるものは何もないことを知っていましたが、彼らにはそれと同じだけのものがありました。彼は持っていた。彼らは言葉の力を理解していなかったので、イエスご自身が言葉を受け取りました。パンを作って弟子たちに与えたので、彼らは飢えている人たちに食事を与えました。しかしイエスが彼らに語られた言葉は、彼らがイエスとまったく同じように行動すべきであることを意味します。キリストの御言葉に対する信仰の欠如が、私たちの善と善のために働く機会を何度奪ったことでしょうか。私たちが持っているものを共有してください。そしてそれは残念なことだ、なぜなら「そのような犠牲は神を喜ばせる」からだ。（ヘブル13:16）。

1 - 神の言葉を語るには常に指導者や牧師に頼らなければなりません  
他の人に？（マタイ 14:16）

R\_\_\_\_\_

---

教える人はみことばを共有するだけでなく、協力するので、物質的なサポートあり。同様に、み言葉の教えを受ける人は、寛大さを一時的なものだけに限定すべきではありません。それは間違いです。福音の奉仕者は決して霊的なリフレッシュを必要としていない、あるいは群れの中で最も弱い者からも霊的なリフレッシュを受けることはできない、という思い込み。そしてこれらが指導者の魂をどれほど励ましてくれるか、言葉では言い表せません。みことばを受け入れた人々によって与えられる、主への喜びと信仰の証。についてじゃない。自分の仕事が無駄ではなかったという簡単な検証。おそらくそれは、証言には、与えられた内容への直接の言及は含まれていませんが、喜びと謙虚さ

神が聞き手に何をしてくださったかについての証言は、教師に良い影響を与えるでしょう。  
それは多くの場合、何百もの魂の強化をもたらします。

金曜日

7 だまされてはなりません。神はあざけられることはありません。人間が何を蒔くとしても、それ  
も刈り取れます。

8 自分の肉に種を蒔く者は、自分の肉から腐敗を刈り取るようになるからです。しかし、何が種をまくのか  
御霊において、御霊から永遠の命を刈り取るのです。

この原則をこれ以上明確に表現することはできません。収穫は、  
それは世の終わりに作られるであろう、その種が小麦だったのか毒麦だったのかを明らかにするだろう（不一致）。  
「義に従って自分のために種をまき、愛に従って刈り取り、自分のために備えなさい。  
新境地：主が来られて正義の雨を降らせるまで、主を求める時が来た  
あなたの上に」（ホセア書 10:12、エルサレム聖書）。

「自分の心に信頼する者は愚かである」（箴言 28:26）。同じことです  
13節から推測できるように、他の人を信頼する人々について言う必要があります。  
ホセア書 10 章：「あなたは悪を耕し、不法を刈り取りました。あなたは嘘の実を食べるでしょう、  
それはあなたが自分の力、そして自分の戦士の数を信頼していたからです。」  
自分のものであれ、他人のものであれ、「人を信頼し、肉に頼る者は呪われる」  
他の男。「永遠なる御方を信頼し、御方に希望を置く者は幸いである。」（エレ  
17:5と7）。

1 - 働きや救いに関して、私たちは自分自身や指導者を信頼できますか？  
(箴 28:26)

R \_\_\_\_\_

永続するものはすべて御霊から来ます。肉体は腐敗しており、  
腐敗。自分の都合だけを相談する人は誰でも、  
肉と心の欲望は、腐敗と死の収穫を刈り取るでしょう。「精神というのは、

「義のための命」(ローマ 8:10、エルサレム聖書)、そして自分の心だけを考える人

御霊によって永遠の栄光を刈り取られるでしょう。「肉に従って生きれば人は死ぬ。しかし、もしそれによって

霊が肉の行いを殺せば、あなたは生きるのです」(ローマ8:13)。素晴らしい!もし

私たちは生き、死にます。そして私たちが死んでも、私たちは生きます。これはイエスの証言です。

自分の命を救いたいと思ったら、それを失うことになります。そして、私のために命を落とした者は誰でもそれを見つけるでしょう。」

(マタイ 16:25)。

これは現在の喜びを失うことにはなりません。継続的な墮落を意味するものではなく、

困窮、何か他のものを手に入れる目的で、望むものが不足していること。いいえ

それは、現在の存在は生きた死、ゆっくりとした苦しみでなければならないことを意味します。

それからは程遠い!これはクリスチャンの生活についての誤った誤った概念です。

それは死を呼ぶことになるだろう。いいえ;キリストのもとに来て御霊を飲む人は皆、「彼の中に、

永遠の命へと湧き出る水の泉である」(ヨハネ4:14)。

2 - 信仰を失うことを恐れて真理を説くのをやめた人はどうなりますか?

命か迫害か? (マタイ 16:25)

R \_\_\_\_\_

永遠の喜びは今や彼のものです。楽しみは毎日続きます。そして

「自分の家が満ち溢れていることに十分に満足し」(詩 36:8)、その泉から水を飲みました。

神ご自身の喜び。望む者はすべてを手に入れよ、心が叫べば

それはただ神によってであり、その中にすべての豊かさが宿るのです。いつか発見できると信じていたら、

しかし今、彼は実際には墓や墓を見ているだけだったことを知っています。

腐敗の墓所。今が本当に生き始めるとき、そして新しいことの喜び

人生は言葉では言い表せないほど輝かしいものです」と彼は歌います。

救い主の優しい声

彼女は感動的に私たちに話しかけます。

愛の博士の話聞いてください。

彼は死者に命を与えます。

人間は決して歌わない、

決して光の中の天使ではない

彼らはもっと甘い音を歌うだろう

イエスの名前よりも。

(P.カストロ、#124)

土曜日

「あなたも自分の肢体を不純物や不正に差し出したのと同じように、今は聖さにつながる義に仕えるように自分の肢体を差し出してください。」(ロマ6:19)。

抜け目ない軍隊は常に最も貴重な敵陣地を破ろうとする

戦略的。このようにして、信者にとって重要な約束が隠されています、サタン

それを歪め、落胆の原因に変えてしまうのです。ふりをしたい人も多いかもしれない

「肉に種を蒔く者は、その肉から腐敗を刈り取るであろう」という言葉は、次のことを意味します。

御霊によって生まれた後も、彼らは苦しみ続けなければなりません。

彼の前世の罪の結果。一部の人は、たとえ

永遠に彼らは古い罪の傷跡を負い、嘆くでしょう。

「罪を犯さなかったら、私はこうなるはずだったはずがない」というような言葉です。

神の恵みとキリスト・イエスによる救いを何と中傷することでしょう。それが自由じゃないですか  
その中でキリストは私たちに自由をします。その勧告には次のように書かれています。

メンバーを不純物、不法行為にさらしてください。今すぐメンバーに奉仕するように勤めてください。

聖さに至る義」(ローマ6:19)。もしそのような方法で正義に苦しむ者がいるなら、

過去の悪い習慣のために常に制限されるべきであることが実証されるでしょう

義の力は罪の力よりも劣っているということです。しかし、神の恵みはとてつ強力で

天のように。

犯罪で終身刑を宣告された人を想像してみてください。した後

数年間刑務所で過ごしましたが、恩赦を受けて釈放されました。しばらくしてから、

私たちは彼の手に手錠でつながれた30キロの鉄球を見つけ、発見しました。

太い鎖で足首を固定するのは困難です。

ある場所から別の場所へ這う。"として?どういう意味ですか?"

- 私たちは彼に尋ねました

驚いた。「彼らはあなたを自由にすることを許さなかったのですか?」。

"そうそう! 「私は自由ですが、このボールを次のように受け取らなければなりません」と彼は私たちに答えます。

自分の過去の犯罪の思い出。」

聖霊による説教はすべて神からの約束です。それらの中の一つ、  
恵みに溢れている、これはこうです。「私の若い頃の罪を思い出さないでください。  
私の罪について:しかしあなたの慈悲に従って、あなたのために私を覚えておいてください  
主よ、幸いです」(詩 25:7)。

神が私たちの罪を赦し、忘れてくださるとき、私たちに次のような力を与えてくださいます。  
私たちが罪を犯さなかったかのようにになれるように、それらから逃げてください。を  
神が私たちに与えてくださった「貴重で非常に大きな約束」は、私たちに「  
神聖な性質に参加し、世界の腐敗から自分自身を解放してください。  
邪悪な欲望から逃れるために」(2ペテロ1:4)。その男は木の木から食べようとして転んだ  
善悪の知識。福音は墮落した民族のこのような救いを示しています。  
罪の暗い記憶がすべて消去されるように。救われた者はやがて知ることになる  
「罪を知らなかった」キリストとともにあるのは、ただ良いことだけです。

肉に種を蒔く者は、私たち皆がそうであるように、肉から腐敗を刈り取ることとなります。  
直接確認する機会。「しかし、あなたは肉に従って生きるのではなく、肉に従って生きます。  
本当に神の御霊があなたがたのうちに宿っているのであれば、御霊に従ってください」(ローマ8:9)。  
霊には、私たちを肉の力とその結果すべてから解放する力があります。  
「キリストは教会を愛し、教会を聖別し、清めるために、教会のためにご自身をささげました。  
水の洗いによって、みことばによって、栄光の教会を自分に提示するために、  
シミもなく、しわもなく、そのようなものはなく、聖であり、非難のないものである」(エペソ 5:25-27)。  
「彼の打ち傷によって、私たちは癒されるのです。」個人の罪ではなく、罪の記憶、  
それはキリストの手、足、わき腹の傷跡に永遠に残るでしょう。  
それらは私たちの完全な救いの印を構成します。

## 13十字架の栄光

---

黄金の詩:そして、善を行うことに疲れないようにしましょう。気を失っていなければ、やがて刈り取ることができるからです。(ガラテヤ 6:9)

瞑想するには次のようにします。「親愛なる同僚の皆さん、忠実で、希望を持ち、英雄的になりましょう。すべての打撃に耐え、信仰によって与えられました。できる限りのことをすれば、主は必ず報いてくださるでしょう。忠実さ。生命の源から、肉体的、精神的、スピリチュアルなエネルギーを引き出します。男性らしさ、女性らしさ、 - 神聖化、浄化、洗練、高貴 - 私たちは受け取ることを約束する。私たちには、唯一のものを見ることに抵抗できる信仰が必要です。それは目に見えないものです。」(MEI - p. 88)

## 日曜日

イエスに目を向けないと、私たちは良いことをするのにすぐに疲れてしまいます。私たちは、良いことを継続的に実践しなければならないと想像するため、休息を失います。激しい。でもそれは私たちがその喜びを十分に理解していないからそうなるのです。主の力、それは私たちを気絶させない強さです。「永遠を望む者は、新しい勢力が鷲のように飛び立つだろう。彼らは走っても疲れません。歩きますが、歩きません。彼らは疲れてしまいます(イザヤ40:31)。

文脈からわかるように、メインのトピックは単に次のことではありません。私たち自身の肉体で誘惑に抵抗し、他の人を助けてください。現時点で必要なのはキリストの教訓を学びましょう。「キリストは、地の義」(イザヤ書 42:4)。彼が治癒した人々の多くは、最低限の感謝ですが、これによって彼は何も変わりませんでした。良いことをしに来た、いいえ他人の評価のために自分自身を差し出すこと。それで、「朝、種を蒔いて、午後は手を休めないでください。なぜなら、これとどちらが良いか分からないからです。それか、あるいは両方が良いかどうかです」(伝道 11:6)。

1 - 時々、ある人々にキリストについて話すのは無駄に思えることがあります。聖書は私たちに何を与えてくれますか。これについて言いますか？(伝道 11:6)

R \_\_\_\_\_

---

どれだけ刈り取るか、何を蒔くかは決まっていない  
そこから収穫します。一部が道端に落ちて壊れてしまったのかもしれない  
根付く前に奪われてしまう。別のものは石だらけの地面に落ちて枯れてしまうかもしれません。  
また、いばらの中に落ちて窒息する人もいるかもしれません。しかし、一つだけ確かなことがある。  
私たちは刈り取ります！明日の種まきがうまくいくかどうか、あるいはそれが何をもたらしたのかはわかりません。  
遅れるのか、それとも両方がそうするのか。しかし、両方とも失敗する可能性はありません。または  
どちらかが繁栄するでしょう...あるいは両方とも！

良いことをすることに飽きないようにするには、それだけで十分ではないでしょうか。地球はできる  
貧しく見えるし、季節も期待できそうにない。最悪の宣告を受ける可能性があるのは、  
収穫に関するデータが得られず、私たちのすべての作業が無駄になったと思いたくなるかもしれません。しかし、そ  
うではありません。「適切な時期に収穫します。」「こうして兄弟たちよ、  
愛する人よ、しっかりと堅固に立ち、常に主の働きに満ち溢れて、知ってください。  
主にあってあなたがたの労苦が無駄にならないように」(1コリント15:58)。

## 月曜日

ですから、時間があるうちに、すべての人に、特に忠実な人たちに良いことをしましょう。(ガラテヤ 6:10)

これにより、使徒が物質的な助けについて言及していると結論付けることができます。  
信仰のない人たちに御言葉を宣べ伝えるように私たちに思い出させるのは意味がありません。  
特に説教する必要があるということです。しかし、自然な傾向があります - 理解してください  
精神的なものは対照的に、自然なもの - 慈善活動を対象者に限定すること  
「それに値する」と考えられています。「受ける資格のない貧しい人々」についてよく聞きます。  
別物"。しかし、私たちは皆、神のほんの小さな祝福さえ受けるに値しません。それは、  
それでも、私たちに絶えず与えてください。「そして、あなたが自分に良くしてくれる人たちに良いことをするなら、  
どのようなご褒美があるでしょうか？罪人も同じことをします。そして、貸したら  
再び受け取りたいと思っている人たちに、あなたはどんな報いを与えますか。また、  
罪人は罪人に貸して、再び同じ額を受け取ります。大好きなので  
あなたの敵、そして善を行い、何も期待せずに貸してください、そしてあなたの

そうすればあなた方は至高者の子供となるでしょう。なぜなら、神は恩知らずな者にも親切だからです。悪です」(ルカ6:33-35)。

1 - 私たちはすべての人に良いことをすべきですが、主に誰を助けるべきでしょうか? (ガル。6:10)

R \_\_\_\_\_

---

私たちは他人に善を行うことは喜ばしい特権であり、義務ではないと考えるべきです。できれば避けるべき重い義務。不快なことについては決して言及しません。「機会」という言葉。怪我をする機会があったとは誰も言いません。お金を失う。それどころか、勝つチャンスがあったと言う。何らかの金額、または私たちが脅かす危険から逃れた。こうあるべきです。困っている人たちへの慈悲を考えてください。

しかし、チャンスは探らなければなりません。男たちは苦労して探しているお金を稼ぐ機会。使徒は私たちに平等に求めるよう勧めている。誰かを助ける方法の機会。キリストはそうになさったのです。「私がやっていたのは、良い」。彼は国中を歩いて旅し、誰かのために何か良いことをする機会を探しました。彼らを見つけた。彼は「神が彼とともにおられたから」(使徒10:38)善を行いました。彼の名前はインマヌエルとは「神が私たちと共におられる」という意味です。彼は毎日私たちと共におられるので、世界の終わりにも、神は私たちとともにいて、私たちに良いことをしてくれるでしょう。私たちも他の人にできることです。

11 わたしがどれほど大きな手紙であなたに書いたかを見てください。

この手紙を書いたときに使徒パウロが燃え上がった熱意を、次のことから見ることができます。彼の習慣に反して、彼はペンを取り上げて手紙を書き始めたという事実、またはその一部を彼自身の筆跡と手書きで。第4章から推測できるように、パウロはいくつかの視力の問題を抱えていました。これにより彼は仕事をすることができなくなり、さもなければ仕事ができなくなっていたらう。彼の内に宿る神の力によらなければ、それは阻止されなかった。常に必要。それを見守る人がいた。その状況を利用した人もいた。

パウロの名で教会に偽の手紙を書き、教会を動揺させた。

兄弟たち（テサロニケ第二 2:2）。

2 - パウロの時代には、あたかも彼から来たかのように偽の手紙を書いた人もいました。あなた  
これは今日のエレン・グールド・ホワイトでも起こる可能性があると思っています。

聖書？アポックを読んでください。 22:18、コメント：

R \_\_\_\_\_

---

しかし、テサロニケの人々に宛てた第二の手紙の中で、彼はどうすればそれを知ることができるかを彼らに示しました。  
手紙が彼から来たかどうかに関係なく、手紙の本文を書いた人は誰でも、彼は  
彼は挨拶文と署名さえも自分の手で印刷しました。この機会に、いいえ  
しかし、緊急性が高かったため、おそらく彼自身がこの手紙を書いたでしょう。  
全体。

## 火曜日

肉体的に良い外見を見せたいと願う人たちはみな、キリストの十字架のせいで迫害されないように、あなたたちに  
割礼を強制します。（ガラテヤ 6:12）

神を欺くことは不可能であり、自分自身や他人を欺くことには意味がありません。  
「永遠なる者は人間が見ているものを見ない。男は目の前にあるものを見つめるが、  
主は心をご覧になるのです」（サムエル16:7）。偽兄弟たちの割礼  
ガラテヤの人々に、正義ではなく独善を信頼するよう説得したかった  
信仰によって。彼らは「知識と真理の形式」として律法しか持っていませんでした（ロマ 4:13）。  
2:20）。彼らは自分たちの働きによって、肉のために「便利な」種まきをすることができました。1つ  
そこには現実がなかったため、空の種まきです。そう思われるかもしれない  
キリストの十字架のために迫害を受けずに義人となったのです。

1 - 牧師が目標を達成するためにバプテスマを授けるとき、  
これは光栄ですが、彼らは過去の指導者と同じ間違いを犯しているのでしょうか？（ガラテヤ 6:12）

R \_\_\_\_\_

---

13というのは、割礼を受けている人でもまだ律法を守っていないからです。しかし  
彼らは、あなたの肉体を誇るために、あなたが割礼を受けることを望んでいます。

彼らは法律をまったく守らなかった。肉は御霊の法則に反対し、「生きている者は」  
肉によると、彼らは神を喜ばせることができないのです」（ローマ8:8）。しかし彼らは手に入れようとした  
多くの人が理論と呼ぶように、彼らが「私たちの信仰」と呼ぶものに改宗する  
彼らがサポートする個人。キリストはこう言われました。「偽善的な律法学者とパリサイ人たちよ、あなたたちは災いです！  
あなたは改宗者を作るために陸と海を渡って来るからです。そして一度勝てばそれを実行する  
あなたの二倍は地獄の子だ」（マタイ 23:15）。そのようなマスターは、  
彼の「改宗者」の肉体。たまたま一定数の人が参加した場合  
「私たちの宗派」にとって、その年に比べて大きな「恩恵」が「あった」  
過去;そして彼らは幸せを感じます。男性にとっては数と見た目がとても重要ですが、  
しかし神には何もありません。

14しかし、私が誇るべきことは、私たちの主イエス・キリストの十字架以外にはありません。それによって、世界は  
私に対して十字架につけられ、私も世に対して十字架につけられました。

なぜ十字架に栄光があるのでしょうか？なぜなら、彼女を通して世界は十字架につけられず、そして私たちは  
私たちは世界5. この書簡は、この「プレゼント」のリリースで始まりのように終わります。  
悪い世紀だ。」十字架だけがこの解放を実現します。十字架は屈辱の象徴です。  
したがって、私たちはそれを誇りに思います。

2 - 私たちが「栄光」できる唯一のものは何ですか? (ガラテヤ 6:14)

R \_\_\_\_\_

神は十字架上で現われます。「賢者は自分の知恵や自分の知識を誇ってはならない。  
勇敢な人も、富を持っている人も勇気を出してください」（エレミヤ9:23）。なぜ自慢してはいけないのですか？  
あなたの知恵は賢明ですか？なぜなら、あなたの知恵があなた自身のものである限り、それは愚かなことだからです。「あ  
この世の知恵は神にとって愚かなことである」（1コリント3:19）。誰も持っていない  
誇るべき知恵もない。神が与えてくださる知恵は、謙虚さをもたらすものではなく、謙虚さをもたらすものです。  
虚栄心。

権力については何と云うのでしょうか？「すべての肉は草である」（イザヤ書 40:6）。「それは確かに虚栄心だ  
生きるすべての人を完成させます」（詩 39:5）。「男たちはただ息をするだけで  
貧しい人も金持ちと同じように。これらをすべて秤に乗せて重さを量ると、次の重さよりも軽くなります。  
ブロー」。しかし、「力は神から出たものです」（詩 62:9、11）。

富に関して言えば、それを望むのは「不確実性」です（1テモテ6:17）。「人間は苦勞する  
彼らが行く；彼は誰の為にあるかも知らずに富を蓄えるのです」（詩39:6）。「目を向けなければならないのは、  
何も無い富とは何でしょうか？彼らは鷲のような翼を作り、天に向かって飛んでいくからです。」  
23:5）。キリストのうちにのみ、計り知れない永遠の富があるのです。

したがって、人間には誇るべきものはまったくありません。人間とは何か  
富も知恵も権力もすべて欠けている人がいるのでしょうか？人間が存在するもの、あるいは人間が持っているものすべて、  
主から来ます。

## 水曜日

しかし、誇る者は、このことを誇るべきである。彼はわたしを理解し、わたしを知っていること、わたしは地上に優しさと裁  
きと義を行使する主であるということ。わたしはこれらのことを喜んでいるからである、と主は言われる。（エレ 9:24）

前の聖句をガラテヤ 6:14 と関連付けてください。同じ精神が両方にインスピレーションを与えた  
したがって、これらの文章が相互に矛盾することはあり得ません。ある場所で次のように書かれていました  
私たちは主についての知識だけを誇る必要があります。もう一つは、何も無いということ  
キリストの十字架以外に栄光はありません。つまり、結論は、キリストの十字架において、  
私たちは神の知識を見出します。神が永遠の命であることを知ること（ヨハネ 17:3）、  
キリストの十字架の外に人間の命はありません。したがって、私たちはもう一度次のことを確認します。  
神について知り得るすべてのことが十字架上で明らかになります。十字架の外には何も無い  
神についての知識。

これは、十字架が被造物全体に現れていることを示しています。永遠の力と  
神の神性、神について私たちが知ることのできるすべては、次の事柄の中に見ることができます。  
創造されたものであり、十字架は神の力です（1コリント1:18）。神は弱さから強さを生み出します。  
人を死を通して救い、死んだ者も安らぐことができるようにする  
希望を持って。これほど貧しく、弱く、罪深く、これほど墮落し、価値の低い人間はいない

---

それは十字架において栄光を得ることができないためです。彼が置かれているこの状況において、十字架はまさに彼に触れ、それは恥と墮落の象徴だからです。それは彼の内にある神の力を明らかにします、そして彼の中にあります永遠の栄光の理由。

1 - パウロは、救われた私たちにとって十字架の言葉は次のように述べています。

\_\_\_\_\_ですが、次のような方のために  
滅びなさい \_\_\_\_\_ (1コリント1:18)

十字架は十字架につけられます。十字架は私たちを世界から隔てます。私たちが神と団結させてください、神に栄光あれ！  
この世の友情は神に対する敵対です。「世界と友達になりたい人は、もし  
神の敵となるのです」(ヤコブの手紙 4:4)。キリストは十字架上で敵意を滅ぼされました(エペソ 4:3)。  
2:15 と 16)。「そして世界とその欲望は過ぎ去る。しかし、神の御心を行う者は、  
永遠に残ります」(1ヨハネ2:17)。だから、世界を通り過ぎさせましょう。

私はこの世を去り、キリストに従います。

世界は過ぎ去ってしまうからです。

でも優しい神の愛は

それは何世紀にもわたって続くでしょう。

ああ、何という計り知れない愛でしょう！

何という慈悲、何という優しさでしょう！

おお、満ち溢れる恵みよ、

不死性に満ちています！

(V. メンドーサ、#266)

イエスは、「わたしが地から引き上げられるとき、わたしはすべての人々をわたしのものに引き寄せます」(ヨハネ12:32)と言われました。

私がこれと言ったのは、彼がどのような死に方をするかをほのめかすためです。

死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順です。したがって、神も彼を最高の者に高め、イエスはあらゆる名に勝る名を与えられたのです」(ピリピ 2:8,9)。

彼は死を経て、天国の陛下の玉座の右に昇りました。それは地から天まで引き上げられた十字架。だから、私たちに栄光をもたらすのは十字架だけであり、唯一のものなのです。私たちが自慢できること。世界に対する侮辱と恥辱を意味する十字架が、私たちがこの世に置き、天上の場所でキリストとともに座らせてください。「力のため」にやれ。それは私たちの中で働いているのです、それは宇宙全体を維持しているのと同じものです。

## 木曜日

なぜなら、キリスト・イエスにおいては割礼も無割礼も何の徳もなく、むしろ新しく造られたものだからです。(ガラテヤ 6:15)

救いは人間から来るものではなく、人間の状態がどのようなものであれ、またどのようなものであろうとすること。割礼を受けていない状態では彼は道に迷っており、割礼を受けても何も得られません。救い。十字架だけが救う力を持っています。唯一の価値は新しいクリーチャー、またはいくつかのバージョンでは、「新しい創造物」と訳されています。「誰かがキリストのうちにあるなら、それは新しいことです」「生き物」(IIコリント5:17)。そして死を通してのみ、私たちは神と一つになれるのです。キリスト・イエスに入るバプテスマを受けた人は皆、彼の死にもバプテスマを受けました。」6:3)。

1- もし私たちがキリストのうちにあるとしたら、私たちは何でしょうか？(コリント第二 5:17)

R \_\_\_\_\_

---

木の上で十字架につけられた。

マンソ・コルデイロ、あなたは私のために死んでくれます。

だから悲しくて泣いている魂は

主よ、あなたのために心配そうにため息をつきます。

(M. マヴィラード、#95)

十字架は新たな創造を生みます。私たちはここに、このことに栄光を帰すべきもう一つの理由を見出します。とき  
天地創造は初めに神の手を離れた、「夜明けの星々はすべて  
神の子らはみな賛美し、喜んだ」（ヨブ記38:7）。

十字架のサイン。これまでに検討したテキストを列挙します。

- (1)キリストの十字架は私たちが栄光を帰すべき唯一のもので。
- (2)誇る者は神を知っている場合にのみそうすべきです。
- (3)神は知恵ある者に恥をかかせるために世界で最も弱い者を選んだので、  
彼以外には誰も誇ることができないということ。
- (4)神は創造されたものの中に現れます。神の力を表す創造物は十字架も提示します。なぜなら、キリストの十  
字架は神の力であり、神はそれを通してご自身を明らかにされるからです。

上記のことから何がわかるでしょうか?世界とその中の万物を創造した力は、神を信頼する者を救う力と同じで  
あるということ。それは十字架の力です。

したがって、救いがもたらされる唯一の力である十字架の力は、創造し、  
創作活動を続けています。しかし、神が何かを創造するとき、それは「非常に良いもの」です。それで、  
キリストよ、その十字架の上に「新たな創造」があります。「なぜなら、私たちは彼の作品であり、  
キリスト・イエスは良い行いをしてくださったのであり、神は私たちがその良い行いの中を歩むようにあらかじめ用意して  
くださったのです」（エペソ2:10）。私たちがこの新しい創造物を見つけるのは十字架上です。なぜならその力は「初め  
に神が天と地を創造した」からです。それは地球がそうならないようにする力です  
呪いの下で崩壊する。季節の移り変わりをもたらす力。の時間  
種まきと収穫。それは最終的には地球全体を新しくするでしょう。「咲きますよ  
彼は大いに喜び、喜び歌います。レバノンの栄光は彼に与えられるであろう、  
カーメルとシャロンの美しさ。誰もが永遠の栄光、私たちの神の美しさを目にするでしょう。」  
(イザヤ 35:2)。

「エホバの業は偉大であり、それを喜ぶ人々はそれを熟考します。素晴らしさ  
そして彼の働きの威厳、彼の正義は永遠に存続します。その驚異には次のようなものがあります  
記念碑を残した。慈しみ深く憐れみ深いエホバ！」（詩 111:2-4、聖書  
エルサレム）。

ここで私たちは、神の素晴らしい業が神の義を明らかにするのと同じくらい明らかであることがわかります。恵みと慈悲。これは、彼の働きがキリストの十字架を明らかにしていることのさらなる証拠です。そこには無限の愛と慈悲が集中しています。

「彼の驚異について、彼は記念碑を残しました。」なぜ男性にそうしたいのですか彼の驚異的な業績を思い出して宣言しますか？忘れないように、でも信じられるように主の救い。神のご意志は、人間が神の御業について絶えず瞑想することである。それは十字架の力を知るためです。このように、神が天を創造したとき、地球を6日で破壊する、「7日目に神は自分が行った働きを終え、地球で休んだ」彼が創造の中で行ったことすべての7日目。そして神は七日目を祝福し、神聖なものとされたのは、彼が創造の中で行ったすべての働きを離れて休んだからである」（創世記 2:2 と 3）。

2 - かつて、天使が神の子たちを認識できるように与えられたしるし  
ドアには血がついていましたが、今日、神と神の民との間のしるしは何でしょうか？（エゼキエル書 20:20）

R \_\_\_\_\_

---

## 金曜日

「天は神の栄光を宣言し、大空は神の手の働きを宣言する。」  
(詩 19:1)。

十字架は、私たちに神の力を示すことによって、神についての知識を与えてくれます。クリエイター。十字架を通して私たちは世界に対して十字架につけられ、世界も私たちに十字架につけられます。十字架を通して私たちは聖化されます。聖化は神の業であり、人間の業ではありません。あなたの神聖な力によって、この偉大な業を完成させることができます。初めに神安息日を創造的な仕事の冠として神聖化し、創造的な仕事が行われる証拠としてそれは完全であり、完璧の印でした。したがって、7日目の土曜日が十字架の真のしるしであることがわかります。それは創造の記念であり、救いは創造です :創造  
十字架を通して。十字架の上で、私たちは神の完全で完全な働きを発見します。私たちはそれらに覆われています。キリストとともに十字架につけられるということは、放棄することを意味します完全に自分自身に、自分が何者でもないことを認識し、信頼する  
無条件にキリストにあって、私たちは主のうちに安息を見出します。彼の中に私たちは次のことを見出します。

土曜日。十字架は私たちを原点、「最初からあったもの」に連れ戻します。

(ヨハネ第一 1:1)。7日目の休息は、完璧な状態であることを示すものにすぎません。

神の十字架上の働き - 創造と同じ - 私たちは罪からの安息を見出します。

「しかし、安息日を守るのは難しいことです。自分のビジネスをどうするか？」 「安息日を守ったら、生計を立てることができなくなります。」 「大人気ないんだよ！誰にも決してできない

十字架につけられることが楽しいことであるかのように振る舞う。「キリストもご自身を喜ばせなかった

同じです」(ロマ 15:3)。イザヤ書 53 章を読んでください。キリストは決して善良な人ではなかった

十字架につけられたときはなおさらです。十字架は死を意味しますが、同時に

人生への参入を意味します。キリストの傷には香油があり、祝福がある。

彼が負った呪い、彼が苦しんだ死の中での命。誰がそんなこと言えるだろうか

永遠の命についてはキリストを信頼しますが、永遠の命についてはキリストを信頼することを拒否します。

この世界での人生は数年、数か月、あるいは数日でしょうか？

もう一度、心から言いましょう。

世界が十字架につけられた私たちの主イエス・キリストの十字架を除いては

私も、そして私も世界へ。」これを本当に言うことができれば、次のことがわかります。

艱難や苦難はとても軽いので、あなたはそれらを誇りに思うことができます。

十字架の栄光。十字架によってすべてが維持されるのです。「すべてのものは神の中にある」

(コロサイ 1:17)そして、神は十字架につけられた者の形以外には存在しません。そうでなかったら

十字架を通して、普遍的な死が起こるでしょう。誰も息ができなかった、一人も

植物は成長しますが、十字架を通さない限り、天からは一筋の光も輝きません。

さて、「天は神の栄光を宣言し、大空はその働きを宣言する」

彼の手から」(詩 19:1)。これらは神がなされたことの一部です。残念ではありません

言葉では言い表すことができないほど、天の驚くべき栄光を描く筆はありません。それでも、

その栄光は、上で述べた行為が示すように、キリストの十字架の栄光にほかなりません。神の力は被造物に現れており、十字架は神の力です。

神の栄光は神の力であり、「神の力の比類のない偉大さ」です。

「信じる者」はイエス・キリストの復活に示されました(エペソ1:19,20)。「キリスト

彼は父の栄光のために死人の中からよみがえられたのです」(ローマ6:4)。それは彼が死を経験したからであり、

したがって、キリストは栄光と栄誉の冠を授けられました(ヘブライ 2:9)。

1 - イエスは誰の栄光のために死からよみがえりましたか? (ロマ 6:4)

R \_\_\_\_\_

---

こうして私たちは、数え切れないほどの星の輝きが色彩とともに見えてくるのです。  
多様であり、虹の栄光、太陽の沈む黄金の雲の栄光、  
海の栄光、花の咲く野原、緑の牧草地の栄光、春の栄光、そして  
成熟したときの収穫、芽が出て完璧な実を結ぶものの栄光、その栄光全体  
キリストが天に持っておられるものと、その日に聖徒たちに明らかにされなければならないすべてのもの  
「義人は父の王国で太陽のように燃える」というのが十字架の栄光です。として  
他に何か栄光をもたらすことを考えられるだろうか？

16 そして、この規則に従って歩むすべての人に、平和と慈悲を。  
彼らの上に、そして神のイスラエルの上に。

栄光の法則 統治されたい人にとって、何と素晴らしいルールでしょう。言及されています  
クラスが2つあるの？不可能です、書簡全体がすべてが一つであることを示しているからです  
キリスト・イエスにおいて。「そして、あなたはすべての君主とすべての頭である彼の中で完全です。  
権力[帝国]。キリストにあって、あなたも割礼を受けずに割礼を受けました。  
私たちが割礼によって罪の体を取り除くとき、  
キリスト、バプテスマによって主とともに埋葬されたあなたも、洗礼によって主とともに育てられました。  
彼を死者の中から蘇らせた神の力への信仰。罪のうちに死んだあなた方のために、  
彼らは彼の肉体に割礼を受けていないことによって、彼にキリストと共に命を与え、彼のすべてを赦した。  
罪」(コロサイ2:10-13)。

「わたしたちは真の割礼であり、神の御霊に従って礼拝し、キリスト・イエスにあって満足し、肉に信頼を置かないわたしたちです。」(ピリピ3:3)。

2 - パウロによれば、真の割礼、つまりバプテスマとは誰でしょうか？

R \_\_\_\_\_

---

割礼は神の真のイスラエルのすべての人を構成するということです。  
罪に対する勝利、そして「イスラエル」は勝者を意味します。私たちはもはや「排除」されていません

イスラエルの市民権を持ち、約束の協定を知らない私たちは、もはや「見知らぬ人」ではありません。

見知らぬ人ではなく、聖徒たちと同じ国民、神の家族の一員、

使徒と預言者の基礎の上に建てられ、主な石です。

「角度よ、イエス・キリスト」(エフェソス 2:12,19,20)。このようにして、私たちは

「東からも西からも群衆が来て、アブラハム、イサク、ヤコブと一緒に座る」

天の御国に」(マタイ 8:11)。

土曜日

これからは誰にも邪魔されません。私の体には主イエスの跡が刻まれているからです。兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたの霊とともにありますように。アーメン！(ガラテヤ 6:17 と 18)

「しるし」と訳されているものは、ギリシャ語のスティグマの複数形です。それは暗示します

恥と屈辱。過去には犯罪を犯した者だけでなく、

逃亡しようとして捕らえられた奴隷は、次のような汚名を着せられた。

彼らが誰に属しているかを示すマークやサインを体に付けること。

これがキリストの十字架のしるしです。パウロはそれらを受け取りました。彼は十字架につけられていました

キリスト、そして彼の爪の跡を残しました。それらは彼の体にマークされていました。

彼らは彼を僕として、主イエスの奴隷としてマークしました。だから誰もいない

彼は人の召使ではなかった。彼が忠誠を負ったのはただ彼を産んでくださったキリストに対してだけだった

購入した。彼が人や肉に仕えるのを見ることを誰も期待してはなりません。

神のしるしを付けていたので、他に仕えることはできませんでした。誰もいない

キリストにある彼の自由を妨げたり、虐待したりすべきではない。

神はご自分に属する人々を安全に守ってください。

これらのブランドを扱っていますか？そうすれば、あなたはそれらを誇ることができます。これをする場合は、しないでください

あなたはいたずらに誇ることも、思い上がることもありません。

十字架にはどれほどの栄光があることでしょう。天国の栄光はすべて、この価値の低い物体の中にあります。いいえ

十字架の姿において、しかし十字架そのものにおいて。世界はこれを栄光とは認めません。しかし

また、神の御子を認識しませんでした。また、彼は聖霊を認識しません。

キリストが見える。

神が私たちの目を開いて栄光を見て、私たちが主を認識できるようにしてくださいように  
価値。十字架が私たちを栄光に高めるために、私たちがキリストとともに十字架につけられることに同意できますように。キリストの十字架  
に救いがあります。私たちが墮落しないようにするのは神の力であり、  
それは私たちを地上から天国へと引き上げてくれるからです。十字架の上には同じ神が新たに創造されました  
「大きな意味で」良いと言えます。彼女の中には父の栄光のすべてがあり、栄光のすべてがある。  
永遠の時代の。したがって、神が私たちが他のことを誇ることを許しませんように  
私たちの主イエス・キリストの十字架を除けば、それによって世界は私たちに十字架につけられ、そして  
私たちを世界へ。

私のために苦しみ、死にたいと願った方がいました。  
私の魂は救ってください。十字架の血塗られた道が繰り返され、  
私の罪が洗い流されますように。

十字架の上で、十字架の上で、私の罪は立ち往生しました！

彼は私のためにどれだけ苦しみたかったことでしょう！

善良なイエスは苦しみながら十字架に向かいました。

そして彼の体で私の欠点を引き受けてくれました。

(エリサ・ペレス、#90)